

令和4年度

岡谷市教育要覧



岡谷市教育委員会

岡谷市幸町8番1号

TEL (0266) 23-4811 番

FAX (0266) 24-2755 番

岡谷市ホームページ <http://www.city.okaya.lg.jp>

岡谷市民憲章

緑と湖につつまれた美しい郷土、ここに生きるわたくしたち岡谷市民は、先人の努力をうけつぎ、明るく豊かな近代都市をめざして、この憲章をかかげ力強く前進します。

わたくしたちは、

あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。

自然を保護し、公害のない美しい環境のまちをつくります。

心身をきたえ、明るい健康のまちをつくります。

教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

仕事に誇りをもち、豊かな産業のまちをつくります。

(昭和46年7月1日制定)

人権尊重都市宣言

わたくしたちは誰もが等しく基本的人権が保障され、人間らしく幸せに生活したいと願っています。

市民憲章では「あたたかい心でまじわり、住みよい人間尊重のまちをつくります。」と掲げ、全市民が人権意識を高めるための努力をしています。

しかし、わたくしたちの周りには、さまざまな人権問題が存在していることも事実です。今こそ、人権の尊重は、市民一人ひとりの課題として受けとめ、明るく住みよいまちづくりのために努めなければなりません。

よって、わたくしたちは、基本的人権を正しく理解し、あらゆる人権侵害をなくすことを誓い、ここに岡谷市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

(平成8年3月21日宣言)

おかや子育て憲章

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

明るく元気で健やかな子どもに育てます。

命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。

自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。

行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。

力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

(平成14年4月1日制定)

岡谷市のおいたち

縄文時代

この地に私達の祖先の縄文人が住むようになったのは、今からおよそ1万年前、縄文時代の最も早い時期にさかのぼります。豊かな湖と山野に囲まれ、東西文化の接点という交流の要衝として、また和田峠の黒曜石の集散地として縄文時代全般にわたって、大きなムラが営まれました。

弥生時代

諏訪地方では最も早く稲作農耕の技術が伝わり、大小の沢、湧水地、天竜川縁辺に大きなムラが発達し、たくさんの玉類を身に付けた王者が存在するほど発展します。

古墳・奈良・平安朝時代

やがて小地域ごとにクニを治めるような有力な豪族が生まれます。律令体制が整い、国の統治が全国に及ぶ頃になると、信濃国の諏訪郡役所が長地一帯に設けられ、長大な掘立建物をもつ役所を中心にマチが発展しました。また、官牧の岡屋牧が定められ、この頃、信濃の駒の産地の一つとして、朝廷に馬を献上していました。

中・近世

鎌倉時代、諏訪の武士はその誉れが高く、重臣として活躍をします。南北朝時代には、諏訪上下両社とも南朝方として宗良親王を奉じ、全郡あげて天下に呼号しました。足利幕府が弱体化し、戦国時代となると、それまで統治していた諏訪氏が滅ぼされ武田氏の領国となります。関ヶ原の戦い以後、諏訪氏が旧領に復帰して明治まで高島藩の藩政が行われました。そして江戸時代は、綿打業とその糸を使った小倉織が盛んになり、諏訪の名物となって岡谷も栄えます。

明治維新以後

明治4年11月、信濃国は大きく長野・筑摩の2県に分割され、この地は、筑摩県官下となって、郡県政治が行われることになりました。当時現市域は17村に分かれていました。

明治7年筑摩権令の合併勸奨指導のもとに平野村(7か村)、湊村(2か村)、川岸村(5か村)、長地村(3か村)が誕生し、明治9年には、筑摩県は長野県に統合されました。産業の近代化がすすめられる中で、この地は器械製糸業を積極的に取り入れ、大正から昭和初期には世界の一大製糸業地として発展します。

市制施行

昭和11年4月、平野村は全国一の大村から一躍、市制を施行しました。これは製糸業の隆盛とともに人口が増加し、また工業都市への転換が図られるなど、まちが飛躍的に発展を遂げたからでした。

産業の変遷 — 製糸業から精密機械工業へ —

明治以前の諏訪地域は、産業構造の約9割を農業が占めていましたが、盆地のため耕地面積が少なく、気候特性から年間を通じて耕作できる期間が短いため、「農閑余業」として綿打ちや小倉織などが盛んに行われていました。また、稲作のできない中山間地では桑を植え、養蚕が行われ、牛首による生糸生産も行われていました。

安政6(1859)年6月に横浜が開港すると、ヨーロッパの生糸需要に呼応して、輸出が始まりました。その割合は万延元(1860)年には、わが国の総輸出品額の66%にも上り、横浜港開港から昭和9(1934)年までの75年間、生糸は輸出総額の第1位を占めていました。

明治に入ると、政府は「殖産興業」政策を打ち出し、新しい技術を海外から取り入れ、近代的産業を興すこととなります。こうした中、明治8(1875)年に平野村(現岡谷市)で、イタリア式繰糸法とフランス式繰糸法を折衷した「諏訪式繰糸機」が武居代次郎らによって開発されます。この「諏訪式繰糸機」は、多条繰糸機や自動繰糸機が普及する昭和初期に至るまでの長きにわたって使われ、諏訪地域は日本一の生糸生産量を誇りました。

大正初期頃までの輸出生糸のほとんどは諏訪式繰糸機によって生産され、外貨獲得に大きく貢献し、わが国の近代化の礎を築きました。さらに、その後も岡谷の人間がかかわる中で開発され、実用化された多条繰糸機や自動繰糸機により、生糸の生産量や品質は飛躍的に向上しました。岡谷が「世界一の製糸工業地帯」となった背景には、器械製糸業の積極的な導入に加え、製糸に必要な水が諏訪湖、天竜川をはじめとして豊富にあったこと、繭保存に適する乾燥気候だったこと、原料繭を近隣地域から得やすかったこと、燃料である薪や亜炭などが得られたこと、優れた経営者や技術者がいたこと、繭・生糸商人や金融機関の支えがあったことなどの理由が考えられ、これらのうちどれか一つ欠けても「絲都岡谷」は実現しませんでした。なかでも10~15ミクロンという繊細な繭糸を継ぎ足し、40~50ミクロンという生糸をつくる根気のいる仕事を延々と続けてきた大勢の工女さんなくして岡谷の製糸を語ることはできません。

こうした中、大正3(1914)年に第一次世界大戦が起こると、戦場となったヨーロッパが大打撃を受ける一方、戦場とならなかったアメリカは戦後、いわゆる戦争景気に湧き、絹の需用が大きく伸びました。そのため、生糸の最大供給国であった日本の生糸のほとんどがアメリカに輸出され、わが国も好景気に沸き、当地域の製糸業も全盛期を迎えます。

しかし、昭和4(1929)年に発生した世界恐慌により、アメリカへの生糸輸出が滞り、昭和5(1930)年にはわが国も不景気に転じます。そのため製糸工場の多くが休業・倒産に追い込まれ、養蚕や製糸業は急激に衰退しました。

昭和12(1937)年に第二次世界大戦が勃発すると、戦火を逃れるため都会から航空機や計器メーカーなどの軍需工業が疎開をしてきました。その背景には、製糸業の衰退に伴う遊休工場があり、経営者や労働者がいたことが影響していると言え、こうして岡谷は軍需工業地帯へと変貌しました。

戦後は、この地域に根付き発展した疎開企業をはじめ、元々地域にあった企業や、それらの下請け企業が核となり、機械工業の基礎を形成します。なかでも、ミクロン単位の繭糸を絶え間なく繰り続ける精密加工としての製糸技術の蓄積に加え、きれいな水や空気、乾燥気候など製糸業が必要としたものと同様の条件がこの地に備わっていたことから、精密機械工業が飛躍的に発展します。岡谷は諏訪湖を中心に高い山々に囲まれたまちであり、精密機械で有名なアルプスの国々に例えられ、「東洋のスイス」と呼ばれるようになり、国内でも有数の精密工業都市へと発展しました。

現在では、高度な超精密加工技術を有する企業が立地し、全国屈指の企業集積地として、その技術は様々な分野で高く評価されています。

目 次

1. 教育行政	
(1) 第2期 教育大綱	1
(2) 岡谷市教育の基本目標	2
① 第5次岡谷市総合計画	2
② おかや子育て憲章	4
(3) 市理事者・市教育委員会・関係市議会議員	6
① 市 理 事 者	6
② 市 教 育 委 員 会	6
③ 関 係 市 議 会 議 員	6
(4) 教育委員会機構	7
(5) 事 務 分 掌	8
(6) 教育委員会事務局職員数	10
2. 教育委員会所管予算	
(1) 令和4年度岡谷市一般会計当初予算	11
(2) 令和4年度教育委員会費歳出項目別当初予算	12
(3) 教育費の年度別推移	13
3. 教育総務課	
(1) 令和4年度学校教育基本方針	14
(2) 市内小中学校等	15
① 市立小中学校	15
② 学校教職員数	16
③ 児童・生徒数及び学級数	17
④ 保育園等・幼稚園・認定こども園	18
⑤ 30人規模学級（35人学級）導入経過	20
⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み	20
⑦ 人口及び児童生徒数の年比較	23
⑧ 中学校卒業者の進路状況	24
⑨ 小中学校通学区域	25
⑩ グランドデザイン	25
⑪ 学校給食実施状況	37
⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師	38
(3) 学 校 施 設	39
① 学校建物保有面積	39
② 学校敷地保有面積	39
③ 学校建物棟別保有面積（主要棟）	40

④ 学 校 水 泳 プ ー ル	41
⑤ 小中学校施設等主要整備状況	42
⑥ 小中学校コンピュータ整備状況	43
(4) 専 門 委 員 会 等	44
① 岡 谷 市 就 学 支 援 委 員 会	44
② 岡 谷 市 い じ め 問 題 対 策 連 絡 協 議 会	44
③ 岡 谷 市 い じ め 問 題 対 策 調 査 委 員 会	44
④ 岡 谷 市 子 ど も 教 育 支 援 チ ー ム	45
⑤ 岡 谷 市 小 中 学 校 子 ど も の 自 立 支 援 委 員 会	45
⑥ 岡 谷 市 い じ め 防 止 対 策 推 進 委 員 会	45
⑦ 岡 谷 市 小 中 学 校 生 徒 指 導 推 進 委 員 会	45
⑧ 岡 谷 市 小 中 学 校 情 報 教 育 委 員 会	46
⑨ 岡 谷 市 学 校 図 書 館 教 育 推 進 委 員 会	46
⑩ 岡 谷 市 学 力 向 上 推 進 委 員 会	46
⑪ 岡 谷 市 外 国 語 活 動 推 進 委 員 会	46
⑫ 岡 谷 市 道 徳 教 育 推 進 委 員 会	46
⑬ お か や 絹 結 プ ロ グ ラ ム 推 進 委 員 会	46
(5) 学 校 評 議 員	47
(6) 岡 谷 市 通 学 路 安 全 対 策 会 議	47
(7) 子 ど も 総 合 相 談 セ ン タ ー ・ カ ウ ン セ リ ン グ 体 制	48
① 子 ど も 総 合 相 談 セ ン タ ー	49
② 分 室	49
③ フ レ ン ド リ ー 教 室 ・ 中 学 校 中 間 教 室	50
④ 心 の 教 室	50
⑤ ス ク ー ル ソ ー シ ャ ル ワ ー カ ー	50
⑥ ス ク ー ル カ ウ ン セ ラ ー (専 門 カ ウ ン セ ラ ー)	51
⑦ 就 学 支 援 ・ 特 別 支 援 教 育 ・ 幼 保 小 連 携	51
(8) 岡 谷 ス タ ン ダ ー ド カ リ キ ュ ラ ム	51
(9) 学 童 ク ラ ブ 運 営 事 業	52
(10) 放 課 後 子 ど も の 居 場 所 づ く り 事 業	54
(11) 岡 谷 子 ど も 未 来 塾 事 業	54
(12) 高 等 学 校 ・ 専 修 学 校 ・ 専 門 学 校 等	55
① 高 等 学 校	55
② 専 修 学 校 ・ 専 門 学 校	55
③ 各 種 学 校	55
(13) 教 員 住 宅	56
(14) 奨 学 金 制 度	57
① 岡 谷 市 育 英 基 金	57
② 公 益 信 託 山 田 徳 郎 奨 学 基 金	58

4. 生涯学習課	
(1) 令和4年度生涯学習基本方針	59
(2) 生涯学習推進・公民館	60
① 重点目標	60
② 令和4年度重点施策	60
③ 岡谷市社会教育委員の会議	60
④ おかや子育て憲章理念の普及	61
⑤ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）	61
⑥ 生涯学習人材バンク「おかやマイナビスタッフ」活用事業	61
⑦ 人権教育	61
⑧ 生涯学習館・公民館の講座等（令和4年度）	62
⑨ 施設	64
⑩ 利用案内	65
⑪ 利用状況（令和3年度）	66
(3) 青少年	67
① 重点目標	67
② 令和4年度重点施策	67
③ 主な事業	67
(4) 図書館	72
① 重点目標	72
② 令和4年度重点施策	72
③ 施設	72
④ 利用案内	72
⑤ 蔵書冊数等	73
⑥ 利用状況（令和3年度）	74
⑦ 令和4年度事業概要	75
(5) 美術考古館	78
① 重点目標	78
② 令和4年度重点施策	78
③ 施設	78
④ 利用案内	78
⑤ 資料	79
⑥ 利用状況（令和3年度）	81
⑦ 令和4年度主要事業	82
(6) 文化財	83
① 重点目標	83
② 令和4年度重点施策	83
③ 岡谷市文化財保護審議会委員	83
④ 施設	83
⑤ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財	84

5. スポーツ振興課

(1) 令和4年度スポーツ振興基本方針	95
(2) スポーツ施設	96
① 市営岡谷球場	96
② 岡谷市営庭球場	96
③ 岡谷市民湖畔広場	96
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	96
⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	97
⑥ 岡谷市学校体育施設	97
⑦ 岡谷市民総合体育館	98
⑧ 岡谷市民水泳プール	99
⑨ 岡谷市やまびこアリーナ	99
⑩ 岡谷市営陸上競技場	99
⑪ 岡谷射撃場	99
(3) 令和4年度スポーツ事業	100
① 岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業	100
② 岡谷市スポーツ協会支援関連事業	101
③ スポーツ少年団事業	102
④ その他スポーツ大会	102
(4) スポーツ関係団体等	103
① 岡谷市スポーツ推進委員	103
② スポーツ団体	103
(5) 令和4年度スポーツ教室	103
① スポーツ教室	103
② おかや小学生体育塾	104
③ ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室	104
④ おかやファミリースポーツプログラム	104
⑤ スケート教室	104
(6) スポーツ施設の月別利用状況(令和3年度)	105
① 市営岡谷球場	105
② 岡谷市営庭球場	105
③ 岡谷市民湖畔広場	105
④ 岡谷市民川岸スポーツ広場	106
⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター	106
⑥ 岡谷市学校体育施設	106
⑦ 岡谷市民総合体育館	107
⑧ 岡谷市民水泳プール	107
※参考：令和3年度 無料利用者数	108

1. 教育行政

(1) 第2期 教育大綱 (概要版) (2019-2023)

岡谷市「教育の理念」

平成31年2月制定

岡谷市・岡谷市教育委員会

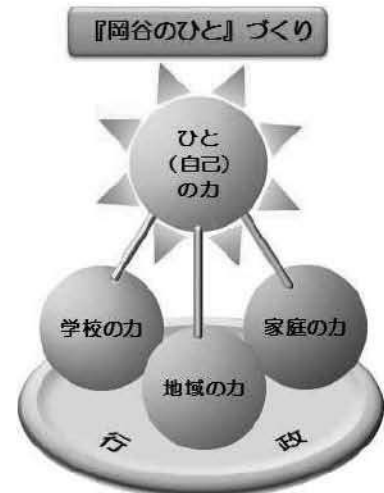
自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり

(めざす教育の姿)

子どもたちには、一人ひとりの人生の礎となる、確かな学びと成長の支えを実現し、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、共生社会を生き抜く力と創造性溢れる、豊かな感性、人間性を育みます。

また、生涯を通じて学び続け、スポーツに親しむ環境づくりを進めるとともに、地域に根ざす『ひと、もの、こと、こころ』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

更に、主体的に取り組み、分かり合えるひと（自己）の力を育み、支えることができるよう、魅力と活力ある学校の力、共生社会を支える地域の力、人づくりの根幹を担う家庭の力の充実を図り、互いに連携しながら、行政との協働により、『岡谷のひとづくり』を推進します。



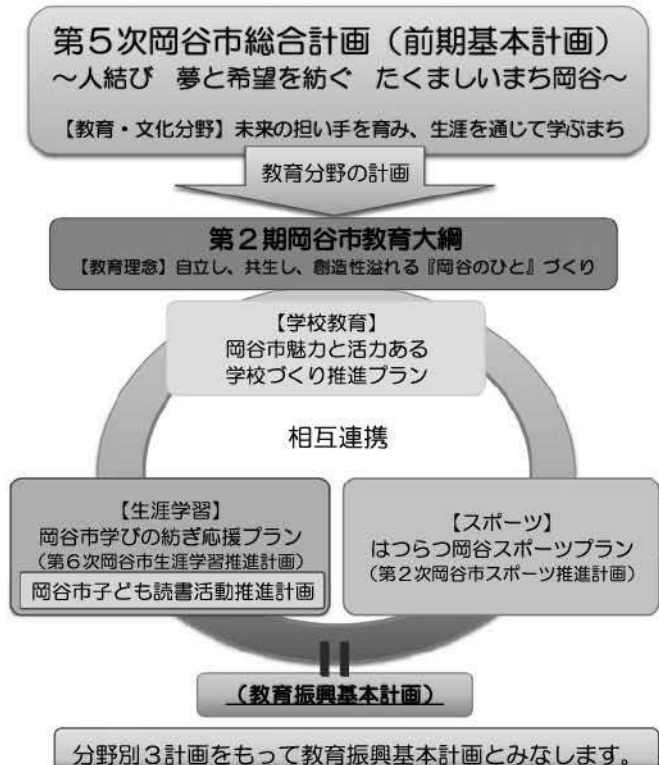
(教育の分野別スローガン)

学校教育	生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり
生涯学習	歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり
スポーツ	親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

教育の分野別重点項目

学校教育	<ol style="list-style-type: none">1 未来を切り拓く確かな学力の定着2 地域に根ざしたふるさと学習の推進3 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実4 笑顔で安心して学べる教育環境の整備
生涯学習	<ol style="list-style-type: none">1 生涯を通じた学びの推進2 青少年の健全育成3 読書の推進4 家庭・地域の教育力向上
スポーツ	<ol style="list-style-type: none">1 市民ひとり1スポーツの実現2 競技力の向上3 子どものスポーツ機会の充実4 スポーツ環境の整備・充実

教育に関する施策展開



(2) 岡谷市教育の基本目標

－未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち－

本市は将来都市像を「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」と定め、この実現に向けて6つの都市づくりの柱をかかげております。

この都市づくりの柱の一であり、教育の基本目標となる「未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち」の推進に努めます。

また、前期基本計画においては、「たくましい産業の創造」、「岡谷ブランドの発信」、「安全・安心の伸展」と並んで子育て支援を重点プロジェクトとして位置付け、市民総参加による「輝く子どもの育成」に向けた取り組みを推進します。

- ① 第5次岡谷市総合計画 (基本構想2019年～2028年)
(前期基本計画2019年～2023年)

－学校教育の推進－

1 未来切り拓く確かな学力の定着

急激な社会変化やグローバル社会に向けて、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、複雑化、多様化する社会に対応するための「学びに向かう力」、「知識・技能を活用する力」、「思考力・判断力・表現力」、「コミュニケーション能力」などの育成を図ります。

2 地域に根ざしたふるさと学習の推進

ものづくりに代表される、ふるさと「岡谷」のさまざまな地域資源を活かした、岡谷ならではの普遍的な学習スタイル「岡谷スタンダードカリキュラム」の展開により、岡谷の『ひと・もの・こと・ところ』に誇りと自信を持ち、郷土を愛する心を醸成します。また、「岡谷版コミュニティスクール」の展開により、地域に息づき、根付く魅力と活力ある学校づくりを進めるとともに、将来の夢や希望が描け、郷土を担う子どもの育成に向けたキャリア教育を推進します。

3 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

自立と共生につながる豊かな心を育むため、道徳教育などの充実を図り、自他の生命の尊重、自己有用感や自尊感情、他者への思いやり困難を乗り越える力を育みます。また、いじめや不登校や発達障がいなど、さまざまな支援が必要な児童生徒の教育的ニーズに対応するため、子ども総合相談センターの充実を図ります。

あらゆる学びと育ちの基盤となり、生涯豊かに生き抜く力の重要な要素である、健全な心身の発達を促す、運動習慣や生活習慣の定着を図ります。

4 笑顔で安心して学べる教育活動環境の整備

安全で安心して学べる質の高い教育環境の充実を図るため、学校施設の老朽化対策を計画的に推進します。また、子どもたちにとってよりよい学習環境となるよう、学校施設の適正規模・適正配置を検討します。

子どもたちがさまざまな危機を予測し、みずからの安全をみずから守るための能力の育成に努めるとともに、学校安全について、家庭や地域と連携、協働した取り組みを推進します。

－生涯学習の推進－

5 生涯を通じた学びの推進

生涯学習に関する情報の発信により、市民の学習意欲の促進と、市民ニーズに応じた講座や時代の変化に応じた知識、技能を獲得する機会の充実に努めます。

また、生涯学習の指導者の発掘、確保に努めるとともに、学習グループや各種団体の活動を支援します。

6 青少年の健全育成

家庭や学校、地域の団体と連携し、青少年が自主的、主体的に地域活動に参加できるようになるために、多様な体験活動や団体活動の機会を提供します。

7 読書の推進

子どもから大人まで広く市民が読書に親しみの持てる環境を整えます。特に、子どもたちの読書習慣の定着を図るため、市立岡谷図書館と学校等施設との連携や、ボランティア団体などとの協働により、子どもの発達段階に応じた読書の機会提供と普及啓発に取り組みます。

8 家庭・地域の教育力向上

子どもたちが人間性豊かに育つことができるよう、家庭、学校、地域と連携して、保護者を応援するための学習講座の開催や、親同士が交流できる機会を提供し、家庭と地域の教育力向上の支援に努めます。

－スポーツの振興－

9 市民ひとり1スポーツの実現

生涯にわたって運動・スポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら、幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実に努め、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

10 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、スポーツ指導者の養成を推進します。

11 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の活動の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムを充実し、基礎体力の向上を目指します。また、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりとなるように、多様なスポーツ教室を提供します。

12 スポーツ環境の整備・充実

市民一人ひとりが安全で快適なスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全・安心な環境を整備します。

② おかや子育て憲章

【憲章制定の趣旨】

わたくしたち岡谷市民は、これまで常に時代を先取りする進取の気性に富んだ人材を育て、まちの発展に寄与してきました。

緑と湖に恵まれた美しい郷土岡谷の未来を担う子どもたちが、心身ともに健やかに成長することは、市民すべての願いです。

大人が、子育てに夢と希望をもち、子どもを愛し、心の自立を促し、生きる力を育み、子どもたちの育つ環境を整え、協力し合いながら互いに支え合う市民総参加による子育てのまちづくりを推進するため、この憲章を定めます。

【憲章本文】

わたくしたち岡谷市民は、未来を担う子どもたちの健全な成長を願い、子どもの心の自立を支えるため、市民総参加による子育てのまちづくりを進めます。

わたくしたちは、

- 明るく元気で健やかな子どもに育てます。
- 命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。
- 自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
- 行動に責任を持ち、ひとり立ちのできる子どもに育てます。
- 力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。

平成 14 年 4 月 1 日制定

【憲章実践の共通指針】

子どもの生きる力を育むには、家庭・地域・学校が「子育て憲章」を共通の指針として、それぞれの役割を果たし、機能を発揮し合うことが大切です。家庭・地域・学校の連携した取り組みによってこそ、子どもはより強く、より大きく成長します。

家庭 《子育ての原点は家庭です》

- ・ 子どもは家族みんなで楽しく過ごすことを願い、心をつなぎ合うコミュニケーションを求めています。
- ・ 子どもが家庭で身に付けた**基本的な生活習慣**は、生涯にわたって子どもの心に生き続けます。
- ・ 子育ては家族みんなが参加・協力してバランスが保たれます。子どもが、**心身ともに調和のとれた成長**を続けるよう支えましょう。
- ・ 家庭を支える親の**尽くす姿**は、子どもの心に届き、**家族みんなで作る生活の価値**に気づかせます。

地域 《地域の子どもは地域で育てます》

- ・ 子どもたちに、地域での**自然体験や遊び**を経験させ、**子どもの豊かな心の育ち**を支えましょう。
- ・ 子どもたちに、地域の**伝統・文化**を伝える体験の場と機会を提供し、**地域への愛着心**を育てましょう。

- ・ 子どもたちに、異世代・異年齢交流ができる地域活動に参加させ、**地域の人や友だちとかかわる力や、思いやりの心**を育てましょう。
- ・ 子どもは地域の財産です。子ども会活動や地域子育てミニ集会などを通して、**地域一体となつての子育ての実践**に努めましょう。

学校 《基礎・基本の定着を図ります》

- ・ 学校は、特色ある教育課程の具現を通して、子どもの個性伸長と、調和のある全人的な成長を助け、**人としての自立への育ち**を支えましょう。
- ・ 共に学び合う学習活動を通して、子どもに**基礎的・基本的学力の定着**と、心に響く**学びの喜び**を得させましょう。
- ・ 共同社会としての学校生活を通して、子どもに思いやりの心や協調性・社会性などの**人間関係づくりの力・規範意識**を育てましょう。
- ・ 総合的な学習の時間を通して、子どもに**活動的・協同的・課題解決的な学びの体験**をさせ、**生きる力の育ち**を支えましょう。

お父さん、お母さんへ

- ・ 子育ては、親にとって**人生の一大事業**です。
- ・ 子どもは、親の愛を実感することで**心を安定させ、強くたくましく成長**します。
- ・ 子どもの願いに耳を傾け、その願いを支える**親子の会話の機会**をもち続けましょう。
- ・ 親からの正しいしつけが、**子どもへの最大の贈り物**です。社会的ルールや善悪の判断、思いやりの心は、人とかかわりや遊びの中で身につき育ちます。
- ・ 子どもに、家族の一員としての役割分担をもたせ、**実感**を伴った生活体験をさせることによって、**人としての自立の心**を育てましょう。

(3) 市理事者・市教育委員会・関係市議会議員

① 市理事者

(令和4年5月1日現在)

職名	氏名	就任年月日	任期	備考
市長	今井竜五	平19. 9. 29	令5. 9. 28	
副市長	小口道生	令2. 4. 1	令6. 3. 31	
教育長	岩本博行	平28. 4. 1	令7. 3. 31	新教育長就任 平28. 4. 1

② 市教育委員会

(令和4年5月1日現在)

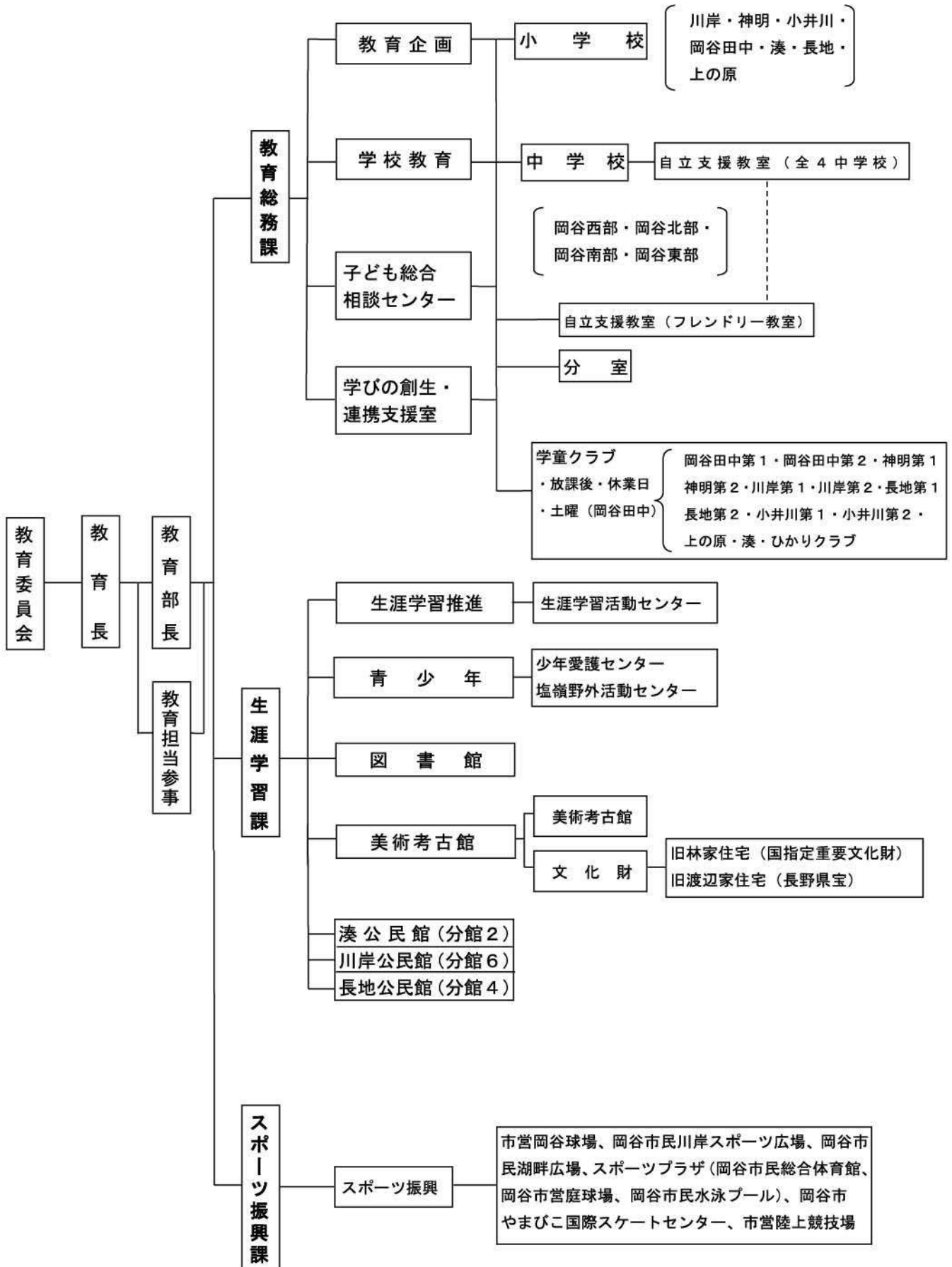
職名	氏名	就任年月日	任期	備考
教育長	岩本博行	平26. 8. 11	令7. 3. 31	新教育長就任 平28. 4. 1
職務代理者	草間吉幸	平19. 3. 10	令5. 3. 9	職務代理者就任 平28. 4. 1
委員	太田博久	平27. 3. 1	令5. 2. 28	
委員	高木千奈美	平27. 12. 1	令5. 11. 30	
委員	藤森一俊	平28. 10. 1	令6. 9. 30	
委員	小平陽子	平30. 3. 11	令8. 3. 10	

③ 関係市議会議員

(令和4年5月1日現在)

職名	氏名	備考
議長	小松 壮	議長就任 令3. 5. 17
副議長	今井 康 善	副議長就任 "
総務委員会	委員長	田村 みどり 委員長就任 令3. 5. 18
	副委員長	武井 友 則 副委員長就任 "
	委員	小松 壮
	"	渡辺 太郎
	"	早出 一 真
	"	笠原 征 三 郎

(4) 教育委員会機構



(5) 事務分掌

区 分		事 務 分 掌
教 育 総 務 課	教育企画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育委員会の会議 2. 教育委員会規則の制定及び改廃 3. 事務局、学校、その他の教育等機関の職員の人事 4. 教育委員会の施策の企画及び調整 5. 法第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況点検及び評価等 6. 教育財産の管理 7. 学校その他の教育等機関の設置、管理、廃止 8. 教育委員会所属職員の厚生及び福利 9. 教育に係る調査及び基幹統計 10. 公印の管理 11. 文書の收受及び保管 12. 教員住宅 13. 校長及び教職員の服務並びに研修 14. 育英事業 15. P T A 等 16. 事務局、部及び課の庶務
	学校教育	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導及び進路指導 2. 学力向上 3. 教科書その他教材の取扱い 4. 通学区域の設定及び変更 5. 学齢児童、生徒の就学並びに入学及び転学 6. 児童生徒の保健、衛生及び安全 7. 学校給食 8. 学校施設の整備及び営繕 9. 学童クラブの管理運営 10. 放課後子どもの居場所づくり事業の運営 11. その他学校教育
	子ども総合 相談センター (分室・フレンドリー教室)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育支援主事及び子ども教育支援相談員の統括 2. 就学支援に関する総合調整 3. 学校・家庭・関係機関との連携 4. 学校諸問題に関する総合的な教育・相談支援 5. 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会 6. 岡谷市いじめ問題対策調査委員会 7. 岡谷市子ども教育支援チーム 8. その他教育委員会が特に必要と認めること
	学びの創生・ 連携支援室	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育 I C T を活用した豊かな学びの推進に関すること。 2. 教職員の資質向上、授業改善及び児童生徒の学力向上の推進に関すること。 3. 幼保小中の連携及び小中一貫教育の検討に関すること。 4. 岡谷スタンダードカリキュラムを基盤としたふるさと学習の推進に関すること。 5. 学校生活における指導上の問題その他学校教育に係る専門的事項の支援に関すること。 6. その他教育委員会が特に必要と認めること。

生 涯 学 習 課	生涯学習推進	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生涯学習の総合計画及び推進 2. 社会教育の振興 3. 社会教育委員の会議及び研修 4. 社会教育施設の整備及び監督管理 5. 人権教育 6. 生涯学習に係る学級、講座、講演会等の企画実施 7. 社会教育団体及び学習グループの育成 8. 学習ボランティアの育成 9. 公民館等の連絡調整 10. 生涯学習館の管理 11. 所管する公印の管理 12. 課の庶務 	
	青少年	<ol style="list-style-type: none"> 1. 青少年育成関係団体事務の総合調整 2. 青少年育成関係団体及び地区組織等の育成 3. 青少年及び指導者の研修 4. 少年愛護センター 5. 青少年教育並びに青少年の総合対策、企画及び調査 6. 青少年問題協議会 7. 成人式（仮称） 8. 塩嶺野外活動センターの管理運営 	
	図書館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 図書館の管理 2. 図書館活動の総合的企画及び調査 3. 図書館資料の収集、整理及び保存 4. 図書館資料の利用のための相談、閲覧及び貸出し 5. 図書館関係機関、関係団体、読書団体との連携及び調整 6. 公印の管理 	
	美術考古館	美術考古館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 美術考古館の管理 2. 美術考古館活動の総合的企画及び調査等 3. 美術品及び考古等に係る資料の収集、保管並びに調査、研究 4. 美術考古館資料等の公開、利用及び活用並びに教育普及活動 5. 公印の管理
		文化財	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文化財の保護及び調査 2. 旧林家住宅の管理 3. 旧渡辺家住宅の管理 4. その他文化財に関すること
	湊公民館 川岸公民館 長地公民館	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学級、講座、講演会等の企画実施 2. 社会教育団体及び学習グループの育成 3. 分館活動の育成指導 4. 公民館図書室 5. 公民館の管理運営 6. 公印の管理 7. その他各公民館との連携 	
ス ポ ー ツ 振 興 課	スポーツ振興	<ol style="list-style-type: none"> 1. スポーツの振興及び指導 2. 各種スポーツ大会の計画及び運営 3. スポーツ関係団体 4. 市営岡谷球場、岡谷市民川岸スポーツ広場、岡谷市民湖畔広場、スポーツプラザ（岡谷市民総合体育館、岡谷市営庭球場、岡谷市民水泳プール）、岡谷市やまびこ国際スケートセンター、市営陸上競技場 5. 学校体育施設の開放 6. 岡谷市やまびこアリーナの財産管理 7. 課の庶務 	

(6) 教育委員会事務局職員数

(令和4年4月1日現在)

	教育長	部長	参事	課長	副参事	室長	統括主幹	主幹	主査	主任	主事	事務員	会計	合計
教育長	1													1
教育部長		1												1
教育担当部長			1											1
教育総務課				(1)										0
教育企画								1	2					3
学校教育 子ども総合 相談センター					1			1	3		1		14(2)	20
学びの創生・ 連携支援室						(1)	1			1			5(3)	7
()													2	2
生涯学習課				1										1
生涯学習推進								1	1			1	1	4
青少年								1	2				1	4
図書館								1	1		1		6	9
美術考古館													1	1
【美術考古館】								1(1)					1	2
【文化財】								1(1)	1					2
【湊公民館】				(1)										0
【川岸公民館】				(1)					1					1
【長地公民館】				(1)					1					1
スポーツ振興課				1										1
スポーツ振興								1	1	1	1			4
合 計	1	1	1	2	1	0	1	8	13	2	3	1	31	65

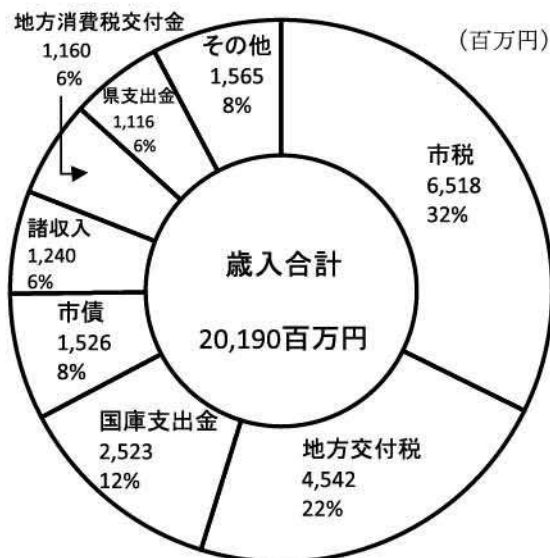
() 内は兼務者で外数
 学校教育の () は学びの創生・連携支援室の兼務者
 子ども総合相談センターの () は子ども課の兼務者
 「会計」は会計年度任用職員(専門職)

2. 教育委員会所管予算

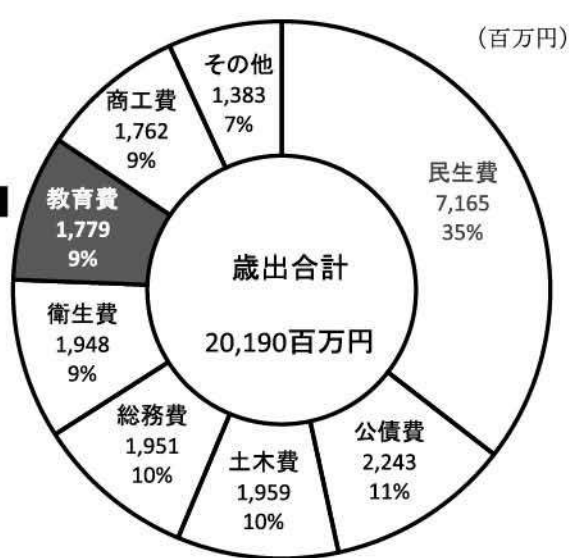
(1) 令和4年度岡谷市一般会計当初予算

歳入・歳出予算 201億9,000万円
(前年 198億1,000万円)

【歳入予算額構成比率】



【歳出予算額構成比率】



	R 4	R 3	増減
民生費	7,165	7,085	80
公債費	2,243	2,376	△ 133
土木費	1,959	2,044	△ 85
総務費	1,951	1,840	111
衛生費	1,948	1,635	313
教育費	1,779	1,570	209
商工費	1,762	2,065	△ 303
その他	1,383	1,195	188
合計	20,190	19,810	380

	R 4	R 3	増減
教育費	1,779	1,570	209
教育総務費	370	362	8
小学校費	440	432	8
中学校費	248	263	△ 15
社会教育費	348	287	61
保健体育費	373	226	147

「岡谷市教育大綱 教育理念」

☆自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり☆

令和4年度 教育委員会関係主要事業予算

新規 ◎学びの創生・連携支援室設置事業	5,370 千円
新規 ◎学校・家庭双方向通信アプリ導入事業	1,512 千円
新規 ◎おかや小学生夏休みわくわくサマースクール事業	186 千円
繰越 ◎安全で快適な学習環境整備事業 (学校トイレ洋式化)	11,000 千円
新規 ◎おかや子育て憲章制定20周年記念事業	665 千円
新規 ◎二十歳の祝賀式開催事業	1,132 千円
新規 ◎学びを活かす岡谷学「コレカラ岡谷」事業	66 千円
新規 ◎市町村と県による協働電子図書館事業	マンパワー事業
新規 ◎図書資料デジタル化事業	330 千円
新規 ◎公民館施設避難所環境改善事業	45,600 千円
拡充 ◎スポーツきっかけづくり事業	3,113 千円
繰越 ○通学路交通安全対策事業 (土木費 計上)	16,000 千円

(2) 令和4年度教育委員会費歳出項目別当初予算

(単位 千円)

項 目	予 算 額	比率(%)	項 目	予 算 額	比率(%)
1. 教育総務費	370,208	20.8%	(5) 生涯学習活動センター費	47,357	
(1) 教育委員会費	4,959		(6) 図書館費	65,360	
(2) 事務局費	266,642		(7) 文化財保護費	27,911	
(3) 教員住宅費	2,680		(8) 塩嶺野外活動センター費	5,262	
(4) 幼稚園費	95,927		5. 保健体育費	372,942	21.0%
2. 小学校費	439,924	24.7%	(1) 保健体育総務費	1,007	
(1) 学校管理費	417,473		(2) スポーツ施設費	354,930	
(2) 教育振興費	22,451		(3) スポーツ振興費	17,005	
3. 中学校費	248,335	14.0%			
(1) 学校管理費	222,089				
(2) 教育振興費	26,246				
4. 社会教育費	347,966	19.6%			
(1) 社会教育総務費	6,997				
(2) 放課後子ども健全育成費	69,505				
(3) 公民館費	86,314				
(4) 美術考古館費	39,260				
				1,779,375	100.0%

(3) 教育費の年度別推移

(単位 千円)

年度	当初予算			最終予算		
	一般会計(A)	教育費(B)	比率(B/A)	一般会計(C)	教育費(D)	比率(D/C)
平成元	14,389,000	2,168,603	15.07%	16,366,635	2,203,498	13.46%
平成2	14,453,000	1,898,352	13.13%	17,119,360	1,932,889	11.29%
平成3	16,061,000	2,140,124	13.32%	18,090,724	2,165,157	11.97%
平成4	17,855,000	2,347,761	13.15%	19,745,317	2,364,645	11.98%
平成5	18,576,000	1,906,554	10.26%	21,800,770	1,911,279	8.77%
平成6	20,577,000	1,953,454	9.49%	23,250,264	2,212,756	9.52%
平成7	19,055,000	2,013,162	10.57%	21,180,773	2,090,644	9.87%
平成8	19,195,000	2,296,892	11.97%	23,087,050	2,355,758	10.20%
平成9	24,289,000	2,721,028	11.20%	24,918,813	2,457,550	9.86%
平成10	21,712,000	2,745,935	12.65%	25,381,263	2,853,430	11.24%
平成11	21,534,000	2,183,794	10.14%	24,418,762	2,285,557	9.36%
平成12	21,690,000	2,240,401	10.33%	23,446,224	2,337,230	9.97%
平成13	22,005,000	2,052,788	9.33%	25,089,840	2,128,769	8.48%
平成14	20,820,000	1,983,194	9.53%	25,714,524	2,044,159	7.95%
平成15	23,005,000	2,068,565	8.99%	24,480,365	2,155,178	8.80%
平成16	23,315,000	2,138,048	9.17%	23,944,826	2,279,376	9.52%
平成17	20,935,000	2,167,384	10.35%	22,638,527	2,276,964	10.06%
平成18	19,023,000	1,745,782	9.18%	20,826,798	1,744,625	8.38%
平成19	18,518,000	1,708,261	9.22%	19,489,332	1,715,757	8.80%
平成20	18,655,000	1,614,361	8.65%	20,995,488	1,725,447	8.22%
平成21	18,726,000	1,422,281	7.60%	21,194,892	1,913,727	9.03%
平成22	19,600,000	1,402,813	7.16%	21,615,156	2,098,213	9.71%
平成23	20,240,000	1,641,597	8.11%	22,122,348	2,561,311	11.58%
平成24	20,233,000	1,471,587	7.27%	21,170,830	2,309,364	10.91%
平成25	21,090,000	1,409,364	6.68%	25,480,473	1,948,413	7.65%
平成26	21,352,000	1,487,939	6.97%	24,556,693	1,639,907	6.68%
平成27	20,903,000	2,305,990	11.03%	22,474,002	2,327,267	10.36%
平成28	21,148,000	2,484,659	11.75%	22,054,696	2,502,235	11.35%
平成29	19,710,000	1,511,000	7.67%	20,711,587	1,556,031	7.51%
平成30	19,288,000	1,418,693	7.36%	20,665,713	2,054,916	9.94%
令和元	19,620,000	1,556,306	7.93%	21,826,424	2,479,030	11.36%
令和2	20,230,000	1,588,903	7.85%	29,384,924	2,939,885	10.00%
令和3	19,810,000	1,570,081	7.93%	26,419,550	2,387,250	9.04%
令和4	20,190,000	1,779,375	8.81%			

3. 教育総務課

(1) 令和4年度 学校教育基本方針

■ 『学校教育スローガン』

生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり

おかや子育て憲章及び岡谷市教育大綱に掲げた教育理念のもと、少子高齢化、グローバル化が進む現代社会の中で、一人ひとりの個性、人格、人権を尊重しながら、個々の能力、適性に応じた教育を推進し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

更に、知識を基盤としながら、思考力・判断力・表現力などの知識を活かす能力を高め、自ら主体的に学び、たくましく生き抜くことのできる力を養います。



■ 「学校教育 4つの重点」

1 未来を切り拓く確かな学力の定着

- 基礎基本の学力の定着と思考力・判断力・表現力及び学びに向かう力の醸成
- グローバル社会に対応する人材の育成
- ICTを活用した学習の研究・実践

2 地域に根ざしたふるさと学習の推進

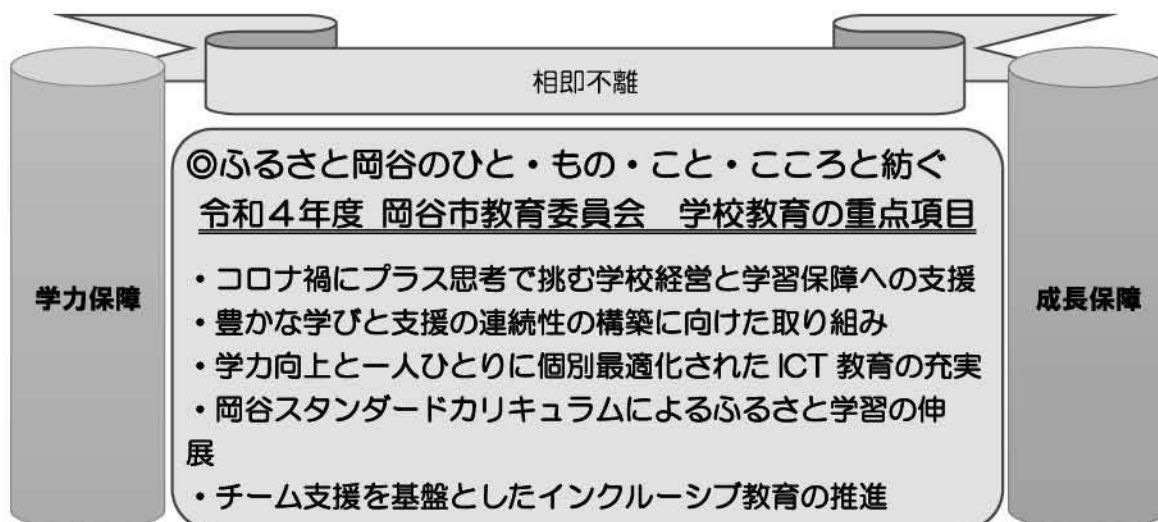
- 岡谷スタンダードカリキュラムの推進
- 地域に開かれた学校づくりの推進
- 家庭教育の支援

3 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実

- 人権教育・道徳教育の充実
- 特別支援教育の充実
- 困難な悩みを抱える児童生徒への支援
- 高等学校以上の教育との連携
- 体力向上と健康教育の推進

4 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

- 安全・安心の教育 検討
- 学校施設・設備の充実（学校施設の長寿命化計画の推進）



(2) 市内小中学校等

① 市立小中学校

学校名	所在地	電話番号	創立年月日	学校長氏名
川岸小学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番2号	TEL 22-2663 FAX 22-2653	明7.1.	小口貴一郎
神明小学校	〒394-0004 岡谷市神明町一丁目9番40号	TEL 22-2243 FAX 22-2159	昭42.4.1	中澤俊喜
小井川小学校	〒394-0023 岡谷市東銀座一丁目1番4号	TEL 22-2234 FAX 22-2641	明6.4.	小林博
岡谷田中小学校	〒394-0031 岡谷市田中町三丁目5番17号	TEL 22-2425 FAX 22-2851	平28.4.1	五味隆
湊小学校	〒394-0044 岡谷市湊三丁目6番1号	TEL 22-2728 FAX 22-2529	明6.4.	福永佐枝子
長地小学校	〒394-0086 岡谷市長地源一丁目1番3号	TEL 27-8792 FAX 27-8598	明5.11	櫻井洋
上の原小学校	〒394-0089 岡谷市長地出早二丁目6番1号	TEL 28-1187 FAX 28-1742	昭48.4.1	金井直樹
岡谷西部中学校	〒394-0047 岡谷市川岸中一丁目1番1号	TEL 22-3461 FAX 22-3409	昭22.4.1	松澤和憲
岡谷北部中学校	〒394-0002 岡谷市赤羽二丁目1番24号	TEL 22-3203 FAX 22-3197	昭22.4.1	牛山高彦
岡谷南部中学校	〒394-0044 岡谷市湊二丁目1番8号	TEL 22-3243 FAX 22-3241	昭22.4.1	守屋守
岡谷東部中学校	〒394-0083 岡谷市長地柴宮一丁目9番13号	TEL 27-8644 FAX 27-8595	昭22.4.8	山田典史

② 学校教職員数

(令和4年5月1日現在)

区分	県費											市費											合計		
	校	教	教諭		養護教諭	養護助教諭	栄養教諭	講師	事務職員	スクールサポートスタッフ	栄養職員	小計	事務職員	スクールサポートスタッフ	栄養職員	給食調理員	図書館司書	業務員	特別支援教育支援員	心の教室相談員	自立支援教室自立支援員	部活動指導員		小計	
			男	女																					
小学校	川岸小	1	1	6	9	1			6	1	1		26	1		1	4	1		3				10	36
	(兼務者)				(1)								(1)											(1)	(1)
	神明小	1	1	8	9		1		4	1	1		26	1		1	4	1	1	3				11	37
	(兼務者)				(1)				(1)				(2)											(2)	(2)
	小井川小	1	1	7	7	1		1	6	1	1		26	1			5	1	1	2				10	36
	(兼務者)			(1)					(1)				(2)											(2)	(2)
	岡谷田中小	1	1	7	10	1			2	1	1		24	1		1	4	1	1	3				11	35
	(兼務者)								(1)				(1)											(1)	(1)
	湊小	1	1	3	5	1			1	1			13		1	1	3	1	1	1				8	21
	(兼務者)																								
長地小	1	1	7	15	1	1		5	1	1		33	1		1	5	1	1	5				14	47	
(兼務者)			(1)					(1)				(2)											(2)	(2)	
上の原小	1	1	5	4	1			1	1	1		15			1	3	1	1	2				8	23	
(兼務者)				(1)				(1)				(2)											(2)	(2)	
小計	7	7	43	59	6	2	1	25	7	6	0	163	5	1	6	28	7	6	19	0	0	0	72	235	
中学校	岡谷西部中	1	1	9	7		1	1	5	1		26		1		3	1	1	4	1	1	2	14	40	
	(兼務者)																								
	岡谷北部中	1	1	11	5	1			7	1	1	28	1		1	4	1	1	3	1	1	2	15	43	
	(兼務者)								(1)			(1)											(1)	(1)	
	岡谷南部中	1	1	8	7	1			4	1		23		1	1	3	1	1	1	1	1	3	13	36	
(兼務者)																									
岡谷東部中	1	1	12	15	1		1	5	1	1	38	1			5	1	1	6	1	1	1	17	55		
(兼務者)																									
小計	4	4	40	34	3	1	2	21	4	2	0	115	2	2	2	15	4	4	14	4	4	8	59	174	
合計	11	11	83	93	9	3	3	46	11	8	0	278	7	3	8	43	11	10	33	4	4	8	131	409	

※()は兼務者で上段の本務者には含まれない

③ 児童・生徒数及び学級数

・小学校

(令和4年5月1日現在)

		川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計	1学級当たり児童数
1年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	24.8
	男	22	26	20	25	7	40	18	158	
	女	30	24	23	28	7	44	9	165	
	計	52	50	43	53	14	84	27	323	
2年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	23.5
	男	22	22	22	23	11	40	11	151	
	女	27	25	18	31	6	38	10	155	
	計	49	47	40	54	17	78	21	306	
3年	学級数	2	2	2	2	1	2	1	12	27.7
	男	35	25	22	27	7	33	21	170	
	女	24	20	34	27	11	37	9	162	
	計	59	45	56	54	18	70	30	332	
4年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	25.7
	男	28	31	21	32	5	38	14	169	
	女	27	25	24	30	1	44	14	165	
	計	55	56	45	62	6	82	28	334	
5年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	24.5
	男	17	24	28	27	9	34	15	154	
	女	24	31	24	21	5	44	15	164	
	計	41	55	52	48	14	78	30	318	
6年	学級数	2	2	2	2	1	3	1	13	27.1
	男	31	16	20	29	6	40	18	160	
	女	28	31	23	33	11	53	13	192	
	計	59	47	43	62	17	93	31	352	
特別支援	学級数	4	3	3	3	1	5	2	21	5.3
	男	15	14	11	16	4	25	9	94	
	女	5	5	2	1	1	2	2	18	
	計	20	19	13	17	5	27	11	112	
合計	学級数	16	15	15	15	7	22	8	98	21.2
	男	170	158	144	179	49	250	106	1,056	
	女	165	161	148	171	42	262	72	1,021	
	計	335	319	292	350	91	512	178	2,077	

・中学校

		西部	北部	南部	東部	計	1学級当たり生徒数
1年	学級数	2	4	3	4	13	27.3
	男	20	45	34	67	166	
	女	23	61	39	66	189	
	計	43	106	73	133	355	
2年	学級数	2	3	2	5	12	31.9
	男	28	50	34	79	191	
	女	27	52	32	81	192	
	計	55	102	66	160	383	
3年	学級数	2	3	3	5	13	28.8
	男	30	40	47	95	212	
	女	23	55	32	52	162	
	計	53	95	79	147	374	
特別支援	学級数	4	4	2	5	15	5.7
	男	16	17	7	22	62	
	女	4	7	2	11	24	
	計	20	24	9	33	86	
合計	学級数	10	14	10	19	53	22.6
	男	94	152	122	263	631	
	女	77	175	105	210	567	
	計	171	327	227	473	1,198	

・小中学校合計

男	1,687	女	1,588	計	3,275
---	-------	---	-------	---	-------

④ 保育園等・幼稚園・認定こども園

・保育園等

<保育園等一覧表>

保 育 園 名	所 在 地	定 員	電 話 番 号
小 口 保 育 園	岡谷市銀座一丁目4-18	110人	22-2489
今 井 保 育 園	岡谷市長地6189番地1	90	22-2935
あ や め 保 育 園	岡谷市湖畔一丁目10-3	120	22-2680
川 岸 保 育 園	岡谷市川岸中二丁目7-14	90	22-3829
夏 明 保 育 園	岡谷市川岸西一丁目18-16	60	22-3861
成 田 保 育 園	岡谷市成田町二丁目10-6	90	22-2464
み な と 保 育 園	岡谷市湊三丁目6-50	90	22-3566
長 地 保 育 園	岡谷市長地鎮一丁目7-29	150	27-4194
若草保育園（休園中）	岡谷市加茂町三丁目8-28	90	23-4811 (子ども課)
西 堀 保 育 園	岡谷市堀ノ内一丁目6-4	120	22-7670
神 明 保 育 園	岡谷市神明町四丁目4-11	120	22-4555
横 川 保 育 園	岡谷市長地出早三丁目4-16	90	28-1180
つ る み ね 保 育 園	岡谷市川岸上三丁目14-13	90	22-2911
聖ヨゼフ保育園岡谷（私立）	岡谷市山下町一丁目1-37	80	24-1477
ひまわり保育園（私立）	岡谷市長地権現町二丁目8-30	60	27-2816
信学会東堀保育園（私立）	岡谷市長地御所二丁目1563番地	150	27-9366
きらり岡谷市民病院園（私立）	岡谷市本町四丁目11-33撫子寮1階	19	23-6656
計		1,619	

※信学会東堀保育園は1号認定定員を含む。

<保育園職員数>

(令和4年4月1日現在)

区 分	園長	保育士	補助 保育士	長時間保育 補助員	栄養士	補助 調理員	補助 相談員	合計
保育園名								
小口	1	5	10	4	0	3	0	23
今井	1	5	7	3	0	3	0	19
あやめ	1	9	17	5	1	5	1	39
川岸	1	6	10	3	1	4	1	26
夏明	1	2	1	0	0	1	0	5
成田	1	4	8	3	0	3	0	19
みなと	1	4	7	3	1	3	1	20
長地	1	7	12	6	1	5	0	32
西堀	1	6	10	4	1	4	0	26
神明	1	5	13	4	1	5	0	29
横川	1	5	10	3	0	4	0	23
つるみね	1	2	3	0	0	1	0	7
育休、子ども課 付、総務課付	0	12	0	0	0	0	0	12
合 計	12	72	108	38	6	41	3	280

<保育園等入所児童数>

(令和4年4月1日現在)

保育園名	定員	当月初日 入所人員	前月初日 入所人員	当月初日入所人員の年齢別内訳					
				0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
小口	110	67	65	1	8	11	20	15	12
今井	90	46	50	1	4	9	8	11	13
あやめ	120	132	124	1	15	17	32	29	38
川岸	90	88	92		7	15	25	19	22
夏明	60	8	10				2	4	2
成田	90	48	57	2	6	9	10	14	7
みなと	90	48	60		5	12	9	5	17
長地	150	106	102	1	12	12	25	25	31
(若草)	90								
西堀	120	96	97	2	7	10	26	27	24
神明	120	114	111 (2)		11	17	32	27	27
横川	90	78	75		10	11	18	20	19
つるみね	90	16	22				5	5	6
公立合計	1,310	847	865 (2)	8	85	123	212	201	218
(立正)									
東堀保育	120	122	135 (1)	2	9	18	31	31	31
聖ヨゼフ	80	72 (1)	82 (1)	1	12	11	16	14 (1)	18
ひまわり	60	66	72 (2)	1	10	9	14	16	16
きらり岡谷	19	8	16	3	3	2			
私立2,3号合計	279	268 (1)	305 (4)	7	34	40	61	61 (1)	65
東堀教育	30	11	14				5	3	3
聖母	70	70 (12)	66 (12)				26 (6)	18 (3)	26 (3)
ヤコブ	50	51 (15)	71 (18)				13 (5)	23 (6)	15 (4)
瑞穂	105	9 (4)	6 (1)				5 (4)	3	1
1号合計	255	141 (31)	157 (31)				49 (15)	47 (9)	45 (7)
私立合計	534	409 (32)	462 (35)	7	34	40	110 (15)	108 (10)	110 (7)
総計	1,844	1,256 (32)	1,327 (37)	15	119	163	322 (15)	309 (10)	328 (7)

※ () 内は、うち市外からの広域入所児童

・幼稚園

<私立幼稚園>

(令和4年5月1日現在)

園名	設置別	学級数	園児数			定員	教職員数	園長名	所在地 (電話番号)
			男	女	計				
ヤコブ幼稚園	私立	3	26	28	54	60	19	有浦明子	岡谷市字上ノ原262番地2 (22-2618) (山崎学園24-0134)
聖母幼稚園	私立	3	37	33	70	70	13	有浦明子	岡谷市大栄町二丁目3番26号 (22-5090) (山崎学園24-0134)
瑞穂幼稚園	私立	3	2	7	9	105	6	佐藤梓奈	岡谷市中央町一丁目8番13号 (22-3806)

※市外からの入所児童含む

・認定こども園

<私立認定こども園>

(令和4年4月1日現在)

園名	設置別	学級数	園児数			定員	教職員数	園長名	所在地 (電話番号)
			男	女	計				
信学会東堀保育園	私立	8	71	62	133	150	34	酒井重明	岡谷市長地御所二丁目1563番地 (27-9366)

⑤ 30人規模学級（35人学級）導入経過

年度	学年	実施校	備考
14	小1	川岸小 神明小	全額県費負担
15	小1～小3	川岸小 神明小 長地小	
16	小1～小3	川岸小 神明小 小井川小 長地小	県費・市費負担により実施
	小4	長地小	
17	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
	小5	長地小	県費・市費負担により実施
18	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
	小5～小6	川岸小 神明小 長地小	県費・市費負担により実施
19	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
	小5～小6	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
20	小1～小4	川岸小 神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	全額県費負担
	小5～小6	神明小 小井川小 田中小 長地小 上の原小	県費・市費負担により実施
21	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
22	小1～小6	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小	全額県費負担
23	小1～中1	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷南部中	全額県費負担
24	小1～中2	川岸小 神明小 岡谷小 小井川小 田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
25	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 岡谷田中小 長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
26	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷東部中	全額県費負担
27	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷小 田中小 長地小 上の原小 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
28	小1～中3	川岸小 神明小 岡谷田中小 長地小 上の原小 岡谷西部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
29	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 岡谷田中小 長地小 上の原小 岡谷西部中 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
30	小1～中3	川岸小 神明小 小井川小 岡谷田中小 長地小 上の原小 岡谷西部中 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
元	小1～中3	神明小 小井川小 長地小 岡谷西部中 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
2	小1～中3	神明小 小井川小 長地小 岡谷西部中 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
3	小1～中3	小井川小 長地小 岡谷西部中 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担
4	小1～中3	長地小 岡谷北部中 岡谷南部中 岡谷東部中	全額県費負担

⑥ 学校別年度別児童生徒数及び学級数見込み（令和4年5月1日現在）

- * 各学年の「児童生徒数」には、特別支援は含まない。
- * 次年度以降の特別支援学級の学級数は、令和4年度を参考とした推測数。

川岸小学校（特別支援学級：4学級（知障2、情障2））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	52	2	34	1	45	2	38	2	36	2	29	1	39	2
2学年	49	2	52	2	34	1	45	2	38	2	36	2	29	1
3学年	59	2	49	2	52	2	34	1	45	2	38	2	36	2
4学年	55	2	59	2	49	2	52	2	34	1	45	2	38	2
5学年	41	2	55	2	59	2	49	2	52	2	34	1	45	2
6学年	59	2	41	2	55	2	59	2	49	2	52	2	34	1
特別支援学級	20	4	13	3	13	3	13	3	13	3	13	3	13	3
計	335	16	303	14	307	14	290	14	267	14	247	13	234	13

神明小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	50	2	48	2	47	2	50	2	37	2	39	2	40	2
2学年	47	2	50	2	48	2	47	2	50	2	37	2	39	2
3学年	45	2	47	2	50	2	48	2	47	2	50	2	37	2
4学年	56	2	45	2	47	2	50	2	48	2	47	2	50	2
5学年	55	2	56	2	45	2	47	2	50	2	48	2	47	2
6学年	47	2	55	2	56	2	45	2	47	2	50	2	48	2
特別支援学級	19	3	19	3	17	3	17	3	17	3	17	3	17	3
計	319	15	320	15	310	15	304	15	296	15	288	15	278	15

小井川小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	43	2	46	2	38	2	45	2	40	2	44	2	33	1
2学年	40	2	43	2	46	2	38	2	45	2	40	2	44	2
3学年	56	2	40	2	43	2	46	2	38	2	45	2	40	2
4学年	45	2	56	2	40	2	43	2	46	2	38	2	45	2
5学年	52	2	45	2	56	2	40	2	43	2	46	2	38	2
6学年	43	2	52	2	45	2	56	2	40	2	43	2	46	2
特別支援学級	13	3	13	3	13	3	13	3	12	3	12	3	12	3
計	292	15	295	15	281	15	281	15	264	15	268	15	258	14

岡谷田中小学校（特別支援学級：3学級（知障1、情障2））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	53	2	53	2	47	2	52	2	49	2	46	2	47	2
2学年	54	2	53	2	53	2	47	2	52	2	49	2	46	2
3学年	54	2	54	2	53	2	53	2	47	2	52	2	49	2
4学年	62	2	54	2	54	2	53	2	53	2	47	2	52	2
5学年	48	2	62	2	54	2	54	2	53	2	53	2	47	2
6学年	62	2	48	2	62	2	54	2	54	2	53	2	53	2
特別支援学級	17	3	15	3	15	3	15	3	14	3	14	3	14	3
計	350	15	339	15	338	15	328	15	322	15	314	15	308	15

湊小学校（特別支援学級：1学級（情障））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	14	1	16	1	6	1	13	1	11	1	10	1	10	1
2学年	17	1	14	1	16	1	6	1	13	1	11	1	10	1
3学年	18	1	17	1	14	1	16	1	6	1	13	1	11	1
4学年	6	1	18	1	17	1	14	1	16	1	6	1	13	1
5学年	14	1	6	1	18	1	17	1	14	1	16	1	6	1
6学年	17	1	14	1	6	1	18	1	17	1	14	1	16	1
特別支援学級	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
計	91	7	90	7	82	7	89	7	82	7	75	7	71	7

長地小学校（特別支援学級：5学級（知障1、情障4））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	84	3	87	3	88	3	82	3	69	2	81	3	77	3
2学年	78	3	84	3	87	3	88	3	82	3	69	2	81	3
3学年	70	2	78	3	84	3	87	3	88	3	82	3	69	2
4学年	82	3	70	2	78	3	84	3	87	3	88	3	82	3
5学年	78	3	82	3	70	2	78	3	84	3	87	3	88	3
6学年	93	3	78	3	82	3	70	2	78	3	84	3	87	3
特別支援学級	27	5	27	5	27	5	27	5	27	5	27	5	27	5
計	512	22	506	22	516	22	516	22	515	22	518	22	511	22

上の原小学校（特別支援学級：2学級（知障1、情障1））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
1学年	27	1	28	1	21	1	23	1	27	1	13	1	19	1
2学年	21	1	27	1	28	1	21	1	23	1	27	1	13	1
3学年	30	1	21	1	27	1	28	1	21	1	23	1	27	1
4学年	28	1	30	1	21	1	27	1	28	1	21	1	23	1
5学年	30	1	28	1	30	1	21	1	27	1	28	1	21	1
6学年	31	1	30	1	28	1	30	1	21	1	27	1	28	1
特別支援学級	11	2	11	2	11	2	8	2	8	2	8	2	8	2
計	178	8	175	8	166	8	158	8	155	8	147	8	139	8

7小学校合計

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数	児童数 (人)	学級数
川岸小	335	16	303	14	307	14	290	14	267	14	247	13	234	13
神明小	319	15	320	15	310	15	304	15	296	15	288	15	278	15
小井川小	292	15	295	15	281	15	281	15	264	15	268	15	258	14
岡谷田中小	350	15	339	15	338	15	328	15	322	15	314	15	308	15
湊小	91	7	90	7	82	7	89	7	82	7	75	7	71	7
長地小	512	22	506	22	516	22	516	22	515	22	518	22	511	22
上の原小	178	8	175	8	166	8	158	8	155	8	147	8	139	8
計	2,077	98	2,028	96	2,000	96	1,966	96	1,901	96	1,857	95	1,799	94

岡谷西部中学校（特別支援学級：4学級（知障2、情障2））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	43	2	58	2	39	2	53	2	55	2	47	2	49	2
2学年	55	2	43	2	58	2	39	2	53	2	55	2	47	2
3学年	53	2	55	2	43	2	58	2	39	2	53	2	55	2
特別支援学級	20	4	18	4	16	4	16	4	14	4	14	4	14	4
計	171	10	174	10	156	10	166	10	161	10	169	10	165	10

岡谷北部中学校（特別支援学級：4学級（知障1、情障3））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	106	4	71	3	80	3	92	3	75	3	69	2	65	2
2学年	102	3	106	4	71	3	80	3	92	3	75	3	69	2
3学年	95	3	102	3	106	4	71	3	80	3	92	3	75	3
特別支援学級	24	4	22	4	22	4	21	4	21	4	20	4	20	3
計	327	14	301	14	279	14	264	13	268	13	256	12	229	10

岡谷南部中学校（特別支援学級：2学級（知障1、情障1））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	73	3	77	3	60	2	66	2	64	2	68	2	64	2
2学年	66	2	73	3	77	3	60	2	66	2	64	2	68	2
3学年	79	3	66	2	73	3	77	3	60	2	66	2	64	2
特別支援学級	9	2	9	2	9	2	9	2	9	2	9	2	9	2
計	227	10	225	10	219	10	212	9	199	8	207	8	205	8

岡谷東部中学校（特別支援学級：5学級（知障1、情障4））

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
1学年	133	4	125	4	128	4	113	4	118	4	105	3	119	4
2学年	160	5	133	4	125	4	128	4	113	4	118	4	105	3
3学年	147	5	160	5	133	4	125	4	128	4	113	4	118	4
特別支援学級	33	5	28	5	28	5	28	5	28	5	26	5	26	5
計	473	19	446	18	414	17	394	17	387	17	362	16	368	16

4中学校合計

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
岡谷西部中	171	10	174	10	156	10	166	10	161	10	169	10	165	10
岡谷北部中	327	14	301	14	279	14	264	13	268	13	256	12	229	10
岡谷南部中	227	10	225	10	219	10	212	9	199	8	207	8	205	8
岡谷東部中	473	19	446	18	414	17	394	17	387	17	362	16	368	16
計	1,198	53	1,146	52	1,068	51	1,036	49	1,015	48	994	46	967	44

	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数	生徒数 (人)	学級数
小学校計	2,077	98	2,028	96	2,000	96	1,966	96	1,901	96	1,857	95	1,799	94
中学校計	1,198	53	1,146	52	1,068	51	1,036	49	1,015	48	994	46	967	44
合計	3,275	151	3,174	148	3,068	147	3,002	145	2,916	144	2,851	141	2,766	138

⑦ 人口及び児童生徒数の年比較

(毎年5月1日現在)

年度	人口(A)	増減指数 昭和40年を 100とした場合	小 学 校			中 学 校		
			児童数(B)	人口対比(B /A)	増減指数	生徒数(C)	人口対比(C /A)	増減指数
	人	%	人	%	%	人	%	%
40	56,005	100.0	4,612	8.23	100.0	2,679	4.78	100.0
60	61,197	109.3	5,968	9.75	129.4	3,164	5.17	118.1
61	61,501	109.8	5,658	9.20	122.7	3,182	5.17	118.8
62	61,188	109.3	5,248	8.58	113.8	3,192	5.22	119.1
63	60,834	108.6	4,938	8.12	107.1	3,065	5.04	114.4
元	60,282	107.6	4,637	7.69	100.5	2,967	4.92	110.8
2	60,359	107.8	4,351	7.21	94.3	2,768	4.59	103.3
3	59,599	106.4	4,141	6.95	89.8	2,696	4.52	100.6
4	59,456	106.2	3,996	6.72	86.6	2,476	4.16	92.4
5	58,944	105.2	3,841	6.52	83.3	2,344	3.98	87.5
6	58,705	104.8	3,738	6.37	81.0	2,088	3.56	77.9
7	58,367	104.2	3,561	6.10	77.2	2,006	3.44	74.9
8	57,725	103.1	3,458	5.99	75.0	1,878	3.25	70.1
9	57,220	102.2	3,303	5.77	71.6	1,884	3.29	70.3
10	57,070	101.9	3,172	5.56	68.8	1,812	3.18	67.6
11	56,960	101.7	3,144	5.52	68.2	1,808	3.17	67.5
12	56,837	101.5	3,087	5.43	66.9	1,701	2.99	63.5
13	56,290	100.5	3,082	5.48	66.8	1,635	2.90	61.0
14	55,932	99.9	3,084	5.51	66.9	1,557	2.78	58.1
15	55,613	99.3	3,049	5.48	66.1	1,529	2.75	57.1
16	55,424	99.0	3,096	5.59	67.1	1,508	2.72	56.3
17	54,986	98.2	3,097	5.63	67.2	1,516	2.76	56.6
18	54,380	97.1	3,105	5.71	67.3	1,486	2.73	55.5
19	53,877	96.2	3,112	5.78	67.5	1,507	2.80	56.3
20	53,616	95.7	3,093	5.77	67.1	1,495	2.79	55.8
21	53,271	95.1	3,120	5.86	67.6	1,521	2.86	56.8
22	52,772	94.2	2,992	5.67	64.9	1,528	2.90	57.0
23	52,556	93.8	2,898	5.51	62.8	1,555	2.96	58.0
24	52,041	92.9	2,856	5.49	61.9	1,524	2.93	56.9
25	51,376	91.7	2,833	5.51	61.4	1,505	2.93	56.2
26	50,845	90.8	2,760	5.43	59.8	1,441	2.83	53.8
27	50,341	89.9	2,671	5.31	57.9	1,464	2.91	54.6
28	49,824	89.0	2,682	5.38	58.2	1,350	2.71	50.4
29	49,413	88.2	2,609	5.28	56.6	1,308	2.65	48.8
30	48,826	87.2	2,490	5.10	54.0	1,223	2.50	45.7
元	48,440	86.5	2,351	4.85	51.0	1,287	2.66	48.0
2	47,947	85.6	2,278	4.75	49.4	1,278	2.67	47.7
3	47,322	84.5	2,149	4.54	46.6	1,279	2.70	47.7
4	46,712	83.4	2,077	4.45	45.0	1,198	2.56	44.7

⑧ 中学校卒業者の進路状況

(令和4年3月卒業者)

学 校 名	男 女 別	進学者(就職進学者を含む)								専修学校 高等課程	専修学校 一般課程	各種学校	訓練施設等	公共職業 職者	左 記 以 外 者	卒 業 者 総 数	
		高等学校			高等 学校 別 科	高等 専 門 学 校	盲 聾 学 高 等 部	養 護 校 別 科	本 科								別 科
		全 日 制	定 時 制	通 信 制													
岡谷西部	男	34	1	1				1								37	
	女	34	2	2												38	
	計	68	3	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	75	
岡谷北部	男	64		2											1	67	
	女	60		1				1							1	63	
	計	124	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	130	
岡谷南部	男	42		2												44	
	女	42														42	
	計	84	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	86	
岡谷東部	男	74		2		1									1	78	
	女	82	1	4											2	89	
	計	156	1	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	167	
計	男	214	1	7	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	226	
	女	218	3	7	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	232	
	計	432	4	14	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	5	458	

⑨ 小中学校通学区域

学 校 名	通 学 区 域	
小 学 校	川 岸	川岸地区全部
	神 明	今井 1. 4~12. 16 町内、今井 3 町内国道下、間下全部、 小井川 12. 13. 15. 16. 17 国道下、18. 22. 23. 24. 26. 27. 28 町内、 今井神明台、今井塩嶺、樋沢
	小 井 川	小井川 1~11. 14. 19. 20. 21. 25. 29 町内 小口全部、西堀全部
	岡谷田中	下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、新屋敷全部
	湊	湊地区全部
	長 地	中屋全部、中村 1~6. 8. 9 町内、東堀全部
	上 の 原	横川全部、中村 7 町内、今井 2. 13. 14. 15 町内、今井 3 町内国道上 小井川 17 町内国道上
中 学 校	西 部	川岸地区全部
	北 部	今井全部、間下全部、小口全部、小井川 3. 4. 10~29 町内、樋沢
	南 部	湊地区全部、下浜全部、小尾口全部、上浜全部、岡谷全部、 新屋敷全部
	東 部	長地地区全部、西堀全部、小井川 1. 2. 5~9 町内

⑩ グランドデザイン

小 学 校

・川 岸 小 学 校	・ P26
・神 明 小 学 校	・ P27
・小 井 川 小 学 校	・ P28
・岡 谷 田 中 小 学 校	・ P29
・湊 小 学 校	・ P30
・長 地 小 学 校	・ P31
・上 の 原 小 学 校	・ P32

中 学 校

・岡 谷 西 部 中 学 校	・ P33
・岡 谷 北 部 中 学 校	・ P34
・岡 谷 南 部 中 学 校	・ P35
・岡 谷 東 部 中 学 校	・ P36

令和4年度 川岸小学校グラウンドデザイン

学校教育目標 『たくましい子ども』

岡谷市子育て憲章（岡谷市のめざす子ども）
 ・明るく、元気で、健やかな子ども
 ・命を大切に、感謝の心と思いやりある子ども
 ・自ら求め、ねばり強くやり抜く子ども
 ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子ども
 ・力を合わせて人のために尽くし、郷土を愛する子ども

～地域でめざす子どもの姿～
 よく遊び、よく学び、仲間を大切にたくましく
 未来を切り拓く基礎力を身につけ、ふるさととの
 よさを知り、自他の命を大切に、夢をもって将
 来に渡って社会に貢献しようとする子ども。

全校研究テーマ

『主体的な学び』をつなぐ学校・教師・子どもたち

一人一公開と日常の授業の相互参観・リフレクション

か：体と心をきたえ明るく元気な子

重点目標1

遊びひたろう！
 体いっぱい

子どもも先生も遊びひたり
 育む生きるエネルギー

- 子どもと思ひ切り遊ぼう
 ・休み時間や学級の時間
- 日々の運動の継続
 ・体育の授業での運動量の確保
 ・跳び箱・マツト月間（11月）
 ・休み時間の確保
 （時には担任も一緒に遊ぼう！）
 ・徒歩での登下校（体調不良時以外）
- 「げんろく」（体育集会）の充実
 ・季節ごとの運動チャレンジ
 ・ストレッチ、マラソン、縄跳び、鬼ごっこ、いろいろリレーなど
 ・おなかやキャズ・プログラム（1・2年）
- 児童会との連携
 ・体育集会（ガスガツ、アゲアゲ運動）
 ・命の学習（性教育など保健学習）
 ・感染対策、歯磨き指導
 ・食育（健康と感謝の心）

わ：私もあなたも大切にする子

重点目標2

心を開こう！
 あいさつで

支え支えられ、仲間と共に
 伸びていく私の実感

- さわやかなあいさつの継続
 ・職員間、先生と子ども、子ども同士、外部の方々へ
- 「さん」をつけて相手を尊重
 ・道徳、人権教育の充実
- 児童会との連携
 ・あいさつ運動、川岸まつり
 ・姉妹学級交流、なかよし集会
- ボランティア活動
 ・えがおにじいろタイルの充実
- 学級独自のくらし文化づくり
 ・掲示板・コラ*企画等学びの交流
 ・地域の方々との交流・発信
- 歌声を響かせる 朝の歌・合唱部
- 児童理解・研修
 ・アセス、個別相談、カンパシ*
 ・継続的な情報モラル教育

すべての子どもが安心して
 自分らしく学べる場づくり

個性を尊重した学級経営
 インクルーシブ教育

特別支援教育の充実
 特性に応じた支援

心の相談の充実
 S C、子と親の相談

スマイル教室の運営
 心の安定・充電・原級との橋渡し

き：気づき、考え、意欲的に学ぶ子

重点目標3

つながり合おう！
 よく聴いて

子どもと共に創る
 授業をめざす

- 子どもの思い、考えを掘り所に
 ・授業スタンダードの確認（4月）
 ・「ねらい・めりはり・見とどけ」
 ・子どもの「問い」から学習課題設定
 ・考えの真意を問合う学び深め
 ・学びの確かめ・振り返り
 ・授業のユニバーサルデザイン化
 （MIM）を活用した学習推進
- 岡谷スタンダードカリキュラムの活用
 ○ICT教育の日常化
 ・ねらいをもった情報機器の利用
 ・タブレット活用の日常化と情報モラル学習の継続・充実
 ・双方向遠隔学習の実践チャレンジ
 ○基礎学力の定着
 ・読書タイム・スタッピングタイム充実
 ・連携した家庭学習（自学ノート等）
 ○授業交換・教科担任制（学年間から）
 ・理科、社会、図工、家庭科、道徳等

し：しっかりと働き、責任を果たす子

重点目標4

やり抜こう！
 心を込めて

役割を果たす
 気持ちよさを味わう

- 役割分担で成り立ち学校生活
 ・学級、学年、委員会での係・当番活動等の意義づけ
 ・活動の見返りと感謝の伝え合い
- 自ら気づき動く活動と感謝の心
 ・窓閉め、落ち葉掃き、雪かき
 ・「ありがとうBOX」の活用
 ○心も磨く清掃
 ・清掃前の黙想と無言清掃
 ○栽培活動・飼育活動
 ・花、作物、動物との暮らし
 ・育てた花や作物の展示
- キャリア教育の推進
 ・働くことの責任と喜びを味わう
 ・自ら創る児童会活動
 ・ふれ合い参観日「お仕事紹介」

地域に学び
 地域を思い

地域を元気にする学校

- PTA活動
 ・家庭生活の充実
 ・家庭教育の充実
 ・PTA作業、読書会
 親子リ、お仕事を紹介
 地区行事
- 川岸コミュニティ
 イスクー
 （小中合同）
 ・学校運営協議会
 ・ふれあいバトロール
 ・とちっ子ひろば
 （遊びが、アイト）
 ・自然の玉手箱
 ・とももそだち
 ボランティア
 ・読み聞かせ
 ・学校評議員会
- 150周年実行委

- 西部中学校
 ・子ども・職員交流
 ・合同授業等研修
 ・健全育成会議
- つつけヶ丘学園
 ・連絡会交流
- 各幼稚園・保育園
 ・相互参観連絡会
- 市教委・具教委

「心通わせ

学び合い 支え合い」 子どもも先生も伸びる学校

◎思いに寄り添う
 （いじめ・危険の芽を摘む・縦連相・研修の充実）

◎信頼を積み重ねる
 （互いの授業に学び合い、研修参加、授業力向上のための働き方改革）

◎協働で向かう
 （地域に根ざす（参加・交流）

◎地域に根ざす
 （参加・交流）

1. 令和4年度 岡谷市立神明小学校 グラントデザイン

おかや子育て憲章 ～子どもの心の自立を支えるために 市民総参加による 子育てのまちづくり～
 ○明るく元気で健やかな子どもに育てます。 ○命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子どもに育てます。 ○自ら求め、粘り強くやり抜く子どもに育てます。
 ○行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子どもに育てます。 ○力を合わせ人のために尽くし、郷土を愛する子どもに育てます。
 岡谷市教育大綱 学校教育のスローガン「生き抜く力と創造力、知的好奇心溢れる心豊かなひとづくり」

〔学校教育目標〕 つむぐ～「絆」「学び」「夢」～

〔願う子ども像〕

【絆をつむぐ子ども】相手の側に立ち、もの・ひと・こととのかかわりを深めていく子ども
 【学びをつむぐ子ども】学んでいく一つ一つがつながり合い、自分を豊かにしていく子ども
 【夢をつむぐ子ども】自分の可能性を信じて、今を精一杯に生き、未来に向かって歩む子ども

〔めざす学校像〕

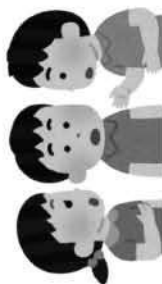
子どもが主人公の学校
 子どもが主人公…主体的に、協働的に、創造的に学んでいくことのできる学校

〔本年度の重点目標・具体的方策〕

1 絆をつむぐ子ども

【神明小3つの上手】

- ① 聴き上手
相手の話を最後までしっかりと聴きます。
- ② 伝え上手
自分の言葉で、思ったことを伝えます。
- ③ あいさつ上手
「ありがとう」「おはよう」「ごめんね」「さようなら」あいさつを大事にします。



2 学びをつむぐ子ども

【子どもと共に創る授業】

- ◇学力向上の柱
柱1：くらしを創り、学びをつむぐ夢のある学校…子どもが夢や願いを実現する「つむぎの時間」の実践を基盤に
柱2：子どもが主人公の学び…子どもが自分ごとと学習問題を解決していく日常の問題解決的な学習
柱3：一人ひとりが主体的に家庭学習・読書ができる実践力

- ◇研修：学び続ける教師…岡谷市全体講師：松木健一先生
本校中心講師：奈須正裕先生に学ぶ年4回の研修会を柱にした授業研究
- ふるさと岡谷に学ぶ学習の推進（岡谷スタウンダードカリキュラム）
○本物に学ぶつむぎの時間の充実 ○ふるさと教材のカリキュラムに基づく授業実践
○地域の産業から学ぶキャリア教育の推進

3 夢をつむぐ子ども

【笑顔で安心して学べる教育環境】

- ◇どの子にも担任のつもりでかわる支援
○チーム支援・チームでの対応 ○職務を自覚し、心をひとつにする非連行為防止研修
○危機管理意識の日常化 ○いじめ相談子ども会議 ○子どもの丸ごとを受け止める生徒指導
- ◇インクルーシブ教育システムの構築準備
○子どもの特性に応じた支援体制の構築（特支4 学級を核に）○幼保小中の連続的な支援 ○児童との個別懇談
○ピジョントレニング、ソーシャルスキルトレーニングの取組 ○ユニバーサルデザインの充実

地域に根ざした特色ある 学校創りの推進

コミュニティクール…
「アワー・プラン」を核に



- <スマイルサポート>
○「神明っ子えがお見守りたい」
<スタディーサポート>
○教科学習、つむぎの時間、クラブの講師
○日常的な学習支援
<ライブラリーサポート>
○読み聞かせボランティア
<グリーンサポート>
○フラワーロード○環境整備
<グリーンスクールサポート>
○神明っ子 はばたき ラボ
○放課後子どもの居場所づくり事業

2022 岡谷市立小井川小学校 グランドデザイン



【岡谷子育て憲章】

- わたくしたちは
- ・明るく元気で健やかな子どもに育てます。
 - ・命を大切に感謝の心とおもいやりのある子どもを育てます。
 - ・自ら求め粘り強くやり抜く子どもに育てます。
 - ・行動に責任を持ち独り立ちのできる子どもに育てます。
 - ・力を合わせ人のために尽くし郷土を愛する子どもに育てます。

【魅力ある岡谷の学校づくり】

- 岡谷スタンダードカリキュラムの推進
- ・地域に根ざした特色ある学校づくりの推進
- ・岡谷市読書5カ年計画
- ふるさと「岡谷」に学ぶ学習の充実
- ・確かな学力保障と成長保障を図る授業の充実
- ・「自立と共生」につながる教育活動の充実

本校の児童のよさ

- ◆優しく素直な子ども
- ◆何事も一生懸命取り組む子ども
- ◆明るい挨拶ができる子ども
- ◆やるべきことは誠実に取り組める子ども

本校の児童への期待

- ◆自ら課題を持ち、粘り強く追究してほしい
- ◆相手を意識し自分の思いや考えを伝えてほしい

これから生きるために必要な力

- ◆予測困難な時代を自ら切り拓いていく力
- ◆改定された学習指導要領を踏まえて培う3つの学力
- ◆多様性を認め合い、知性と清らかな人間性を併せ持つ人間力

小井川小学校を取り巻く環境

- ◆文化や伝統が息づく歴史ある岡谷市の中心地にある学校
- ◆学校支援ボランティアや地域の方の献身的な支え
- えがおまもり隊 ラムラム広場
- 読み聞かせサークルどんぐり
- 放課後子ども教室おいかわっこ
- ◆協力的で理解ある保護者の姿勢

幼保小連携

幼少期を踏まえた

目指す子ども像の共有

小井川小 学校目標

『自ら求めてうごく子ども』

- 1 子どもたちが がんばれる学校
- 2 子どもたちが 満足感や達成感を得られる学校
- 3 学ぶことが楽しいと思える学校

小中連携

幼少期を踏まえた

目指す子ども像の共有

一部教科担任制の導入

小井川小のあいことば

かかわる力・かんがえる力・かわる力

ICT活用

本年度の指導の重点 ～学力向上のために～

信州型UDの推進(3年目)

- ◆『合理的配慮』を意識した授業改善
 - ・全職員で関わることで深まる個の児童理解
 - ・個の児童理解に伴う支援・指導が学級全体に広がる「合理的配慮」を視点とした研修及び実践
- ◆「多層指導モデルMIM」の実施
 - ・「読み」を学習の根幹と捉えた指導方法を活用した効果的な指導の推進と客観的な児童の評価
- ◆手厚い合理的配慮が可能な教師集団づくり
 - ・児童観や授業観を磨き、学び続ける職員集団

評価

- 学校自己評価「授業が分かる」ABの割合 80%
- 学校自己評価「友達と話したり一緒に考えたり…」ABの割合 80%
- CRTテスト平均以上
- 学校自己評価「自分のいいところが増えた」ABの割合 80%
- 学校自己評価「友達と仲良く生活している」ABの割合 80%
- 学校自己評価「元気に遊んだり運動したり…」ABの割合 80%
- 学校自己評価「学校が楽しい」ABの割合 80%
- 学校評議員の評価 児童の姿のよさ小井川小らしさの

教師による毎日の授業の振り返り

自己肯定感の高揚

令和4年度 岡谷市立岡谷田中小学校 グランドデザイン

《校長の願い》

- 子どもが育つ学校
- 教師が育つ学校
- 地域が育つ学校

おかや子育て憲章

- ・明るく元気で、健やかな子ども
- ・命を大切に、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、粘り強くやりぬく子ども
- ・行動に責任を持ち、ひとりだちのできる子ども
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子ども

《保護者・地域の願い》

- 魅力と活力ある地域の学校
- 学校運営への協力と生きがいの創造
- ふるさと岡谷を支える地域人材の育成

統合時 建学の願い

「新たな時代を創造する子ども」友と共に 遊び・学び・鍛える

学校教育目標

深める学び あられる笑顔 響く歌声

本年度の指導の重点

学力保障

自己の学びを自覚する子

<知識・技能>

- ・スキルアップタイムの充実
- ・多層指導モデルMIMの実践

<思考・判断・表現>

- ・対話的な学習の推進
- ・一時間の振り返りと次時の課題把握

<学びに向かう力>

- ・岡谷スタンダードカリキュラムの実践
- ・効果的な家庭学習の推進
- ・スキルアップ講座の開講

成長保障

関わり支え合える子

<自己理解>

- ・キャリアパスポートの積み重ね

<豊かでしなやかな心>

- ・道徳教育、人権教育の充実
- ・男女共通呼称「～さん」の促進

<社会性の向上>

- ・モラルアップタイムの実践
- ・双方向の集会活動の工夫
- ・あやめギャラリーを通じた地域との交流

【学力保障と成長保障を支える環境整備】

- ・子どもを受容する教師の目
- ・ユニバーサルデザイン化の促進
- ・GIGA スクール構想の具体化と充実

子どもと共に育つ教師

確かな授業力の獲得

- ・公開授業研究会の開催
- ・同僚性に基づいた研究会の充実
- ・豊かで確かな教材研究力の獲得

チーム支援体制の強化

- ・学級担任単年度制
- ・一部教科担任制（3学年以上）
- ・学級担任交替日

学級だよりの充実

- ・開かれた学級経営と情報の発信
- ・エピソードから子どもを捉える教師の確かな目

保護者・地域との協働

安心と安全の見守り

- ・登下校の見守り
- ・学校評議員、民生児童委員、各区育成会等との情報共有と連携

学校支援体制の整備

- ・学習支援ボランティアの拡充
- ・PTAとコミュニティスクールの連携
- ・生涯学習の場としての学校づくり

学校評価

- ・学校だよりの発信
- ・学校経営に対する評価と改善への提言
- ・学校運営への参画

地域に根ざし、地域と共に伸びる学校

岡谷市子育て憲章

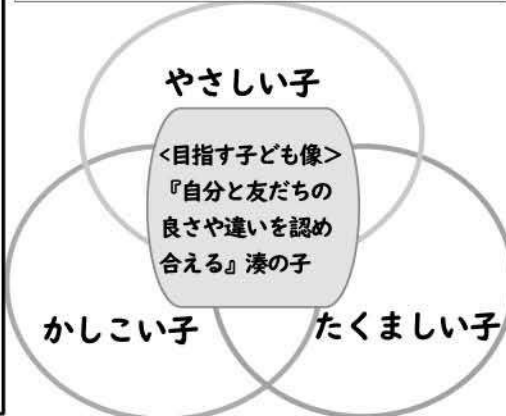
(岡谷市のめざす子ども像)

- ・明るく、元気で、健やかな子ども
- ・命を大切に、感謝の心と思いやりのある子ども
- ・自ら求め、ねばり強くやり抜く子ども
- ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子ども
- ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子ども

岡谷市教育大綱

【自立し、共生し創造性溢れる『岡谷のひと』づくり】

学校教育目標



子どもの様子

- ・落ち着いて学校生活をおくる。
- ・自分の役割に責任をもって取り組む。
- ・学年を超えた温かな交流をする。
- ・人間関係を広げられず、関わりに消極的な子がいる。
- ・自己表現が苦手な子がいる。

地域全体でめざす子どもの姿

- ・湊地域のよさを知り、将来にわたって地域のために貢献しようとする子ども
- ・将来「平成18年の豪雨災害を忘れない」『春四之柱』を30年後も湊地域で曳いている大人

目指す学校像

みんな かよし ともだち 湊小学校

温かな学級を基盤とした授業づくりを根幹とする『自分と友だちの良さや違いを認め合える』湊の子の育成

重点目標

<p>やさしい子</p> <p>自己有用感を育む子</p> <p>・ 思いを聴く</p>	<p>かしこい子</p> <p>対話により学びを深める子</p> <p>・ 思いを聴き合う</p>	<p>たくましい子</p> <p>自己肯定感を育む子</p> <p>・ 思いを伝える</p>
--	---	--

具体的な方策

<p>○思いやりを育む異学年交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縦割り活動、児童会企画、湖の子集会連学年交流、わかたけ学級との交流、聴く力の育成 <p>○自分の居場所がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標をもつ、係や委員会等での役割 <p>○心をつなぐあいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級指導、児童会企画、おはよう日 <p>○様々な立場を認め合う教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小中との交流や連携、道徳教育、思い合い月間、福祉授業 * 教師の力量を高める研修 ・特別支援教育についての理解を深める研修 	<p>○主体的に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問いがあり、対話が生まれる子ども主体の授業づくり、授業のユニバーサルデザイン化、わからないと言える学級 <p>○探究的に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと学習（岡谷スタンダードカリキュラム活用）、話す・聴く・考える活用する力の育成 <p>○自律して学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題をもった自主学習の推進 ・タブレットの活用、チャレンジタイム * 教師の力量を高める研修 ・授業改善に向けての研修 ・ICT研修、交換授業、相互授業参観 	<p>○人間関係力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温かな学級づくり、SSST（スクールソーシャルスキルトレーニング）の活用、ネットモラル、伝える力の育成 <p>○心身の健康維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体づくり（全校集会、マラソン等）外遊びの励行（学級、異学年交流等）体力アップ、なかよしアンケート <p>○豊かな心の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動、リコーダー演奏 * 教師の力量を高める研修 ・自己理解（QUアセス）、SSST、自己肯定感を高める言葉かけ、学級づくりについて研修
--	--	---

目指す教師像

- ・子どもへのまなざしは温かく深く確かにし、子どもの良さを認め、伸ばす。 児童理解
- ・安心して自分らしく学ぶことができる温かな学級づくりを基盤として、子どもと共に創る授業を実践する。研修・授業改善 信頼・使命感
- ・良さや違いを生かしてチームとして力を合わせ、教職員としての自覚をもって子どもと向き合う。

家庭との連携

- ・あいさつの日常化、おはよう日における安全指導
- ・家族内の対話UP、自己肯定感を高める言葉かけ「ありがとう たすかったよ うれしいな」
- ・学校と連携した家庭学習（学習の手引きの活用）
- ・早寝、早起き、朝ごはん推進、日々の健康管理
- ・家庭読書の推進

地域との連携

- ・あいさつの地域拡大（おはよう日）
- ・おはよう日における安全指導
- ・ボランティア、地域の人材、関係団体
- ・地域での異学年交流の推進（あそぼう日）
- ・大人との対話、子ども主体の地域行事
- ・体力upプログラム

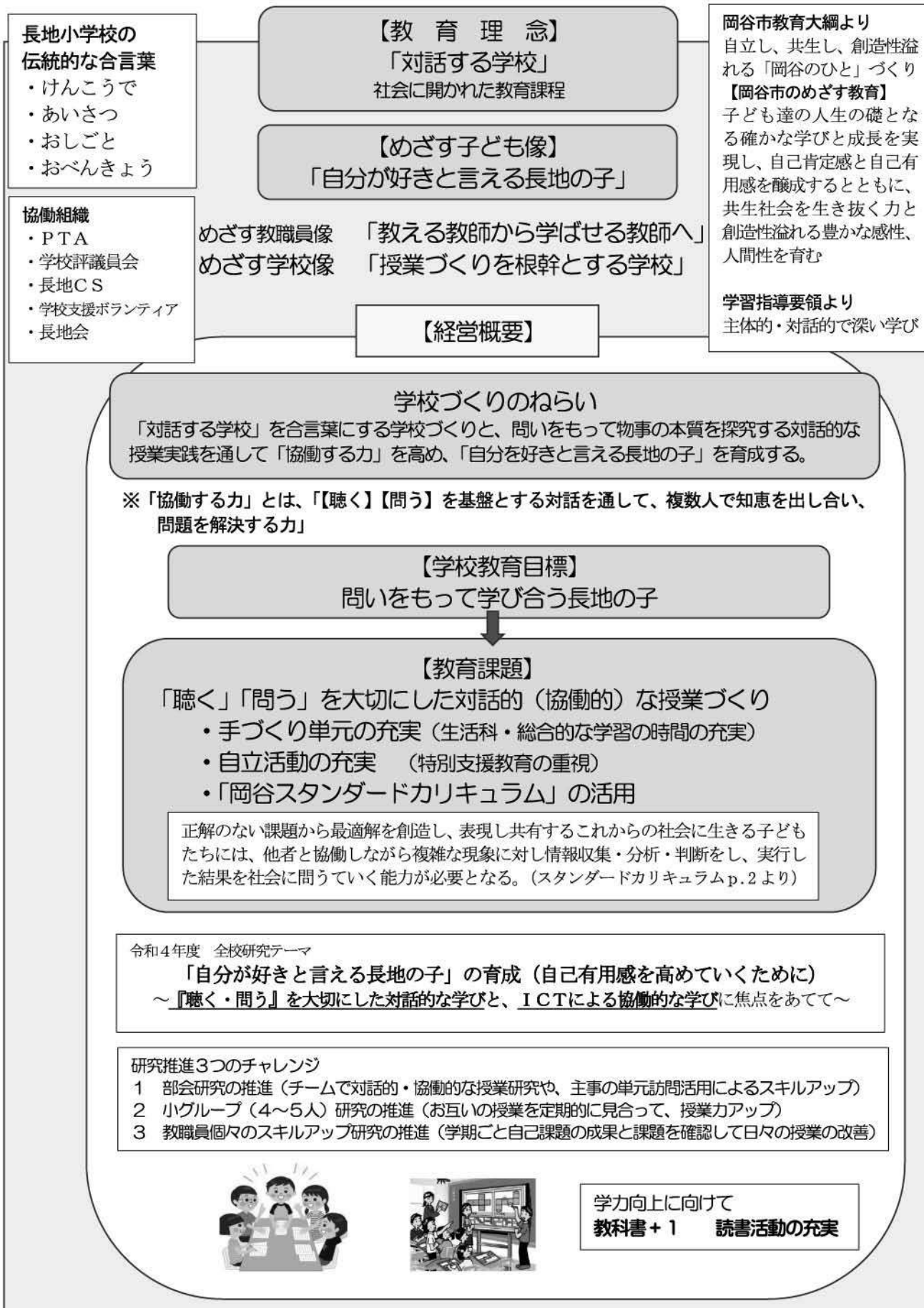
湊コミュニティスクール

地域で学ぶ良さを実感し、あいさつを通して地域を元気にする

みんな かよし ともだち

湊小学校

R4年度 岡谷市立長地小学校グランドデザイン





学校経営の方針

- ・笑顔とあいさつにあふれ、
明るく楽しい学校
- ・安全・安心な学校
- ・自己有用感を育む授業・活動
- ・保護者・地域と共に歩む学校

教育理念

校是「誠・明・健」

- 誠なる子＝みんななかよし
- 明なる子＝すすんで学ぶ
- 健なる子＝心も体も健やかに

基本姿勢「かけがえのない命を守る」

岡谷市教育大綱

自立し、共生し、創造性溢れる「岡谷のひと」づくり

岡谷子育て憲章

- ・明るく元気で
健やかな子ども
- ・命を大切にし、感謝の心と
思いやりのある子ども
- ・自ら求め
粘り強くやりぬく子ども
- ・行動に責任をもち、
ひとり立ちのできる子ども
- ・力を合わせ人のために
尽くし郷土を愛する子ども

学校教育目標

- ① 誠実で思いやりのある人間関係を子どもとともにつくろう
- ② 自ら問いをもち追究していく学びを子どもとともにつくろう
- ③ 心身ともに健康で安全意識の高い生活を子どもとともにつくろう

本年度の重点目標

学年を越えた交流を行うようにしよう。	もの・ひと・こととの出会いを通して問いが生まれる単元、授業をつくるようにしよう。	災害・交通事故・火災等の危険について正確に知る学習を行うようにしよう。
--------------------	--	-------------------------------------

本年度の重点活動

<ul style="list-style-type: none"> ・学級の核となる活動を位置づけた求心力のある学級経営を行う。 ・異年齢縦割りのグループを編成し、集会や日々の活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・問いが生まれる出会いを生むために、教師自身が体験する教材研究を行う。 ・子どもの素直な反応を取り上げられるように、つぶやきを拾い集める工夫をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「命を守る学習」を継続しながら学んだことを整理し自覚できるための記録を行う。 ・子どもの安心につながるための面談の時間と場所の確保をする。
---	---	---

学校教育目標への教職員のアプローチ

1 教師のあり方

清明たれ ひとりを大事に
子どもとともに伸びる
人権感覚を磨く 研修に励む
チームで事に当たる

2 授業づくり、授業改善

カリキュラムマネジメント
岡谷スタンダードカリキュラム
「教える」から「学びのコーディネート」へ
学びを支える環境作り
特別支援教育の視点を生かす
家庭学習と明の時間の活性化
教科担任制（授業交換）の実施

3 生徒指導、児童理解

報・連・相を確実に
不登校支援を多面的に
教育相談、支援会議、ケース会議の充実
チェックリスト、アンケートの活用

学びの中で期待する児童の姿

1 健全な成長過程にある姿

元気に遊ぶ 笑顔であいさつ
健康を維持しようとする
常に安全に注意する

2 学びに向かう姿

「なぜ」「やってみよう」
「できそうだ」「そうか」「できた」
などの言葉を発しながら学ぶ
粘り強く学ぶ 繰り返し学ぶ
友だちと協力して学ぶ
学びを生かそうとする

3 困難を乗り越える姿

落ち着いて相手の話が聞ける
嫌なときにはNOと言える
困ったときにはSOSが出せる
相手の立場を考えて協力できる

子どもとともに創る学校
健全な成長と学力向上との実現

学校を支えてくださる保護者・地域の方からいただく力

- 1 上の原コミュニティスクール
- 2 PTAによる支援
- 3 岡谷スタンダードカリキュラム
- 4 開かれた教育課程に対する協力・支援

令和4年度 岡谷西部中学校グランドデザイン

岡谷子育て憲章
 ・明るく元気で、健やかな子ども
 ・命を大切にし、感謝の心と思いやりのある子ども
 ・自ら求め、粘り強くやり抜く子
 ・行動に責任をもち、ひとりだちのできる子
 ・力を合わせて人のためにつくし、郷土を愛する子

学校長の願い
 広い視野に立つてものごとを考え、自身と地域に誇りをもてる生徒が育つ学校

学校教育目標【自立を育み共に生きる】

<自立>
 自他を大事に、自ら考え、判断し、責任をもって行動する生徒

<共生>
 多様性を認め合い、他者の考えに学び、自分の考えを広げたり、深めたりする生徒

<③自己有用感の向上>

学級会の充実
 生徒主体の学年行事
 学級(学年)学友会

学友会の充実
 <スローガン>
 友笑(ゆうしょう)
 ～主役は君だ 心を笑顔に～

「自立の時間」の充実
 短学活の充実

自治的活動の充実

○生徒主体の部活動
 ○地域における諸活動



<②学ぶ楽しさの実感>

「主体的・対話的で、深い学び」をめざす授業づくり

<授業づくりテーマ>
 一人ひとりの「声」が響き合う授業をつくらう！
 ～つたえる・つながる・ふりかえる～

- ・「ひとりになる」
- ・「一つになる」
- ・自身の学びを振り返る

課題を明確にして主体的に取り組む家庭学習

ICT・図書館の活用の充実

西中エバ-ルデザインの共有

<①人権教育の充実 ～一人ひとりの命と尊厳の尊重～>

人権教育旬間プロジェクト(6～7月)、いじめ根絶子ども会議、SSST、SOS教育、防災安全教育(反射タスキ)、情報モラル教育の充実、「生徒理解」に基づく生徒指導

各種調査分析、生徒の実態からの本校のよさと課題 (R3年度 本校全校生徒独自調査より)

本校のよさ	・人の役に立つ人間になりたいと思う。 ⇕ 92.8%	・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。 ⇕ 76.8%
本校の課題	・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある。 34.7%	・自分によいところがあると思う。 65.2%
		・総合的な学習では、課題を立て情報収集・整理・発表等の活動をしている。 ⇕ 75.4%
		・自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動をしている。 44.9%

目指す教職員像 <学校教育目標の具現に向けて、同一歩調で力強く推進できるための教職員集団>
 ・生徒理解が出発点 ・自身を省察し学び続ける ・チームで取り組む ・ワークイノベーションを大事にする

職場環境の改善

○働き方改革…澁刺と生徒と共に活動するため、生徒の学びの質を高めるために時間を生み出す。
 ○分担を明確に、のり代を厚く…個々の役割を明確化すると共に助け合いを当たり前とする職場。

地域との連携

- ・地域にある組織との連携：
 学校評議員 三沢区 区長会 民生児童委員 同窓会 他
- ・花咲く丘プロジェクト推進に関わる協力団体：
 PTA、歴代 PTA 等

小学校との連携

- ・川岸コミュニティスクールの運営
 学校運営委員会(小中合同)
 - 安全部
 - 健全育成部
 - 学校支援部
- ・川岸小との職員連携
 小中学びの連携 合同職員会(6月、1月) 学びの連続性 健全育成大会の開催(7月)

家庭との連携

- ・学校評価、お便りの活用
- ・PTA 活動の充実

外部機関との連携

- ・市子ども総合相談センター
- ・医療機関 ・SSW 等

令和4年度 岡谷北部中学校グランドデザイン



令和4年度 岡谷南部中学校 学校教育目標を具現化するためのグランドデザイン

学校教育目標
ひとりひとりが誠実を貫く

めざす生徒の 具体像	主体的で対話的な学びのなかで、自分の言葉で語れる生徒 自分の心と語りながら他と関わり、自己を高めていく生徒 自分の姿を通して、地域とつながり、ふるさと岡谷を愛する生徒
望む教師の 具体像	自己課題を明確にし、授業改善に取り組みながら、学び続けていく教師 生徒のよさを認め励ます、生徒の心に寄り添う豊かな教育力を持った教師 地域と願いを共有しながら、地域と一体となって教育課題に取り組む教師

今年度めざす生徒像
自分を語れる人になる

Key Word
すべての根幹は授業
魅力ある授業、わかる授業、力のつく授業をめざします

- ①すべての生徒が自分らしく学ぶことができる授業づくり
 - ・ユニバーサルデザインによる授業実践
- ②ICTの特性や強みを生かした授業づくり
 - ・GIGAスクール構想を意識した授業改善
- ③協働的に学ぶ学習指導の工夫
 - ・小グループでの学び合いの場の設定
- ④自ら学ぶ姿勢を育成する
家庭学習のあり方検討

Key Word
地域とつながる

生徒の姿を地域に発信し、地域とともに生徒を育てます

①姿で示す積極的な地域貢献

- ・地域の方と触れあい、人と関わる力や社会で生きる力を高める
- ・地域と学校とのWin-Winの関係づくり
- ・岡谷スタンダードカリキュラムの推進
- ・コミュニティスクールの活性化
- ・ユネスコスクールとの連携

②「3つの姿」を意識した生徒会活動の充実

岡谷南部中学校	あいさつをする姿
伝統の姿	歌声を響かせる姿
	清掃に取り組む姿

『誠実』とは『自分の姿』を通して『貫く』ことができる

自分の心と語れる

Key Word
自己肯定感を育む

- 認め合い、支え合うことができる集団作りをめざします
- ①すべての生徒への居場所づくり
 - ・「ひとりを大切にする」チーム支援体制
 - ・中間教室・相談室・外部機関との連携
 - ・生徒主体の「いじめ根絶運動」
 - ②特別支援教育の充実 ～確かな生徒理解～
 - ・困った生徒はいない 困っている生徒
 - ・インクルーシブ教育システムの構築
 - ③道徳教育の充実 ～自分の心と語る～
 - ・「考え、議論する」ことで、生き方を学ぶ

岡谷市教育委員会 4つの重点項目

- 1 未来を切り拓く確かな学力の定着
- 2 地域に根ざしたふるさと学習の推進
- 3 自立と共生につながる豊かな心と健やかな体を育む教育活動の充実
- 4 笑顔で安心して学べる教育環境の整備

地域の願い

ふるさと岡谷を愛し、やがて岡谷を支える大人へと成長してほしい。

夢や目標をもって、明るく元気にたくましく生きてほしい。

学力を確実に身につけ、進路希望の実現をめざしてほしい。

令和4年度 岡谷東部中学校グランドデザイン

岡谷市教育大綱 「自立し、共生し、創造性溢れる『岡谷のひと』づくり」

学校教育目標

未来を拓き、共に自立する生徒

未来を拓く生徒(たくましく)

自分の将来像を思い描き、その実現のために、今何をすべきか考え実践できる生徒

共に育つ生徒(やさしく)

自分も相手も、互いに恕(思いやり)の心)を実践し、「阿留辺幾夜宇和(あるべきようわ)」の探求を通し、共に育つ生徒

自立する生徒(正しく)

正しい判断力のもと、自らの自覚と責任において行動し、自立できる生徒

令和4年度 学校経営の重点 ～ 誇りを高め、未来を拓く ～
校舎改築を機に、これまでの歩みに学び、東中への誇りを高め、共に未来を拓く
「温かな人間関係でつながり、未来を拓く力を育む学校」

今年度の重点目標

- つなぐキャリア教育 地域と連携し、3年間の積み上げを大切にしたいキャリア教育の推進
- 学力の向上 考える力を伸ばす学習指導や家庭学習への改善
- 清掃・挨拶の充実・響く歌声 校舎への感謝の思いを込めた清掃、相手意識を育む挨拶、仲間と歌う

教育活動の評価の視点として教師・生徒・保護者・地域で共通理解

- ・ねらいの明確化と確実な見届け
- ・チャイムスタートとチャイムエンドの徹底
- ・伝え合う力を伸ばすグループ学習やペア学習
- ・自分で考え計画性をもって取り組む家庭学習やドリル学習
- ・指導力向上を目指す「新星の会」の研修充実

- ・小学校との連携強化による中1ギャップの軽減
- ・SC、心の相談員や関係諸機関との密接な連携
- ・保護者・本人との連絡・相談の継続
- ・不登校・不応対生徒への個別指導体制(個に応じた相談室・学習室・カウンセリング・中間教室等の活用)

- ・自己を見つめ、生き方を考える道徳の実践
- ・ユニバーサルデザインを大切にしたい特別支援教育
- ・岡谷市いじめ根絶子ども会議と連携した人権尊重委員会による人権に関する啓発活動
- ・人権アンケート等によるいじめや問題行動の早期発見と早期対応

- ・東中の歩みに学び新たな伝統を目指して取り組む生徒会活動
- ・清掃、挨拶を向上させる委員会活動の工夫と連携
- ・縦の人間関係を築く力を培う生徒会活動と部活動
- ・「スポーツ文化活動運営委員会」を中心に地域力を活用した部活動の推進

- ・地域とつながったキャリア教育の展開
- ・岡谷スタンダードカリキュラムの研修と活用
- ・地域の題材・人材を活用した総合的な学習の実施
- ・地域とともに進める防災訓練
- ・生徒の活動の成果を地域へ積極的に発信(学校だより、学年だより等)

重点10項目の励行による、学校生活の素地づくり

- ①清掃 ②挨拶 ③合唱 ④黙想 ⑤時間厳守 ⑥読書
- ⑦下駄箱昇降口整頓 ⑧服装・身なり ⑨無言入退場 ⑩資源回収・ゴミ拾い

学力の着実な向上 不登校・不応対生徒への自立支援 伝え合い支え合う学級集団づくり 生徒会活動・部活動の更なる充実 保護者・地域に開かれた学校

<p>生徒のよさと課題</p> <p>学力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友達と関わり合っ て考えを深めるよ さを感じる生徒※ 考える力、計画し 実践する力の向上 	<p>不登校・不応対</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己肯定感の高まり、最後までやり抜く経験の増加 ※閉じた人間関係・孤立傾向の改善 	<p>学級集団づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相手のことを考えて行動できる生徒の増加 ※潜在化しつつあるいじめの防止 	<p>生徒会・部活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意欲的に考え、活動を高める生徒会活動や部活動 ※全ての会員や部員による主体的活動 	<p>地域での姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域のよさを知り未来のあり方を考える生徒、地域行事参加生徒の増加 ※地域行事への参加
--	--	---	--	--

学校自己評価・関係者評価等で検証・フィードバック

⑪ 学校給食実施状況

(令和4年5月1日現在)

	給食人員		給食施設 (㎡)					給食設備										備考				
	児童・生徒数	職員数	計	調理室	倉庫	戸棚	パン・牛乳置場	通路その他	計	消毒保管庫	食器洗浄機	野菜裁断機	球根皮剥機	高速ミキサー	冷蔵庫	冷凍庫	牛乳保冷库		給湯設備	ガス回転釜	焼物機	給食開始年月日
小川	335	36	371	150.0	16.0	19.0	12.0	15.0	127.0	339	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.4~
神明	319	37	356	105.9	8.5	16.5	11.4	7.1	67.6	217	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.42.4~
小井川	292	36	328	72.6	7.8	3.8	9.4	4.0	49.4	147	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.4~
阿谷田中	350	35	385	95.6	8.0	7.5	12.0	6.4	72.5	202	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.2~
湊	91	21	112	60.8	8.1	6.5	4.9	1.7	11.0	93	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.26.4~
長地	512	47	559	155.2	15.4	20.0	11.8	18.3	63.3	284	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.11~
上の原	178	23	201	88.8	11.5	7.1	13.8	3.8	55.0	180	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.48.4~
中	171	40	211	139.4	9.4	10.2	16.1	5.4	149.5	330	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.33.7~
北	327	43	370	116.1	13.0	15.3	14.8	11.2	85.6	256	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.22.12~
南	227	36	263	119.4	11.7	7.5	18.6	3.4	79.4	240	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.36.4~
東	473	55	528	115.2	12.9	18.1	18.7	2.0	55.1	222	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	S.28.11~
計	3,275	409	3,684	1219.0	122.3	131.5	143.5	78.3	815.4	2,510												

◎給食費 ※給食日数が各校違うため、月額は平均値を掲載

年度	小学校 (完全給食)		年度	中学校 (完全給食)		
	月額	単価 (一食分)		月額	一食分の単価	
H24年	4,760.0円	H19年度~ H21年度	255円	5,453.3円	H19年度~ H21年度	290円
H25	4,774.6円	H22年度~ H26年度	280円	5,493.3円	H22年度~ H26年度	320円
H26	4,768.8円			5,473.3円		
H27	4,869.6円			5,561.9円		
H28	4,888.6円			5,500.0円		
H29	4,864.4円			5,493.1円		
H30	4,861.0円			5,534.4円		
R01	4,829.9円	H27年度~	290円	5,465.6円	H27年度~	330円
R02	4,826.4円			5,472.5円		
R03	4,788.5円			5,376.3円		
R04	4,795.4円			5,431.3円		

◎米飯給食

昭和52年4月11日~	週1回
昭和55年10月1日~	週2回
平成3年4月1日~	週2.5回
平成14年4月1日~	週2.75回
平成24年4月1日~	週3回

⑫ 学校医・学校歯科医・学校薬剤師

令和4年4月1日現在

	総合管理医・保健管理医 (内科医)	内科・外科	耳鼻咽喉科	眼科	菌科		薬剤師
川岸小	薩摩林 恭子 (H18.4.1)	木下 真理子 (H26.9.1)	梅垣 油里 (H7.4.1)	春山 洋 (H25.4.1)	大滝 祐吉 (S61.4.1)	百瀬 恵治 (H28.4.1)	日岐 さゆり (R4.4.1)
神明小	今井 清泰 (H14.4.1)	今村 均 (H25.4.1)	梅垣 油里 (H10.4.1)	春山 洋 (H16.4.1)	笠原 恒久 (H6.4.1)	三井 義久 (S58.4.1)	林 力廣 (S57.11.13)
小井川小	小野 博正 (H16.4.1)	朱 尚孝 (H24.4.1)	小口 直彦 (H11.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	名和 孝行 (H25.4.1)	笠原 初雄 (S58.4.1)	小口 裕史 (S62.4.1)
岡谷田中小	向山 茂雄 (H28.4.1)	今井 智彦 (H27.9.1)	梅垣 油里 (H10.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	前川 雅美 (S58.4.1)	林 三雄 (H28.4.1)	高橋 克典 (H20.4.1)
湊小	花岡 淳一 (R2.4.1)		小口 直彦 (H18.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	藤岡 泰正 (S59.4.1)		岡村 淳也 (H28.4.1)
長地小	林 晋一郎 (H17.4.1)	小野 博正 (H29.4.1)	梅垣 油里 (H20.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	太田 宅哉 (H27.4.1)	牛山 尚也 (H6.4.1)	御子柴 美智子 (H23.4.1)
上の原小	牛山 千冬 (H23.4.1)	米山 大 (H23.4.1)	小口 直彦 (H20.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	早出 啓子 (H23.4.1)	林 潤太郎 (H16.4.1)	池波 寛 (H18.4.1)
岡谷西部中	酒井 宏 (H19.4.1)	米山 大 (H27.1.1)	小口 直彦 (H19.4.1)	春山 洋 (H25.4.1)	藤森 恒美 (H6.4.1)	浦野 順 (H11.4.1)	横内 功晴 (H25.6.1)
岡谷北部中	稲村 いづみ (H6.4.1)	片倉 智 (H18.4.1)	小口 直彦 (H18.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	小口 久雄 (S58.4.1)	小口 順司 (H18.4.1)	花岡 孝次 (S54.4.1)
岡谷南部中	笠原 忠夫 (S58.4.1)	秋田 眞吾 (R4.4.1)	梅垣 油里 (H7.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	宮坂 伸 (S57.4.1)	山田 元彦 (S58.4.1)	丸田 哲 (H24.4.1)
岡谷東部中	山崎 正彦 (H8.4.1)	濱 弘毅 (H18.12.1)	小口 直彦 (H19.4.1)	林 秀行 (H27.4.1)	太田 宅哉 (H2.4.1)	林 隆廣 (S58.4.1)	井上 君子 (H21.4.1)

※括弧内は委嘱年月日

- 岡谷市医師会
- 岡谷下諏訪歯科医師会

岡谷市中央町二丁目5番22号
岡谷市幸町4番10号

0266-22-3870
0266-23-8320

(3) 学校施設

① 学校建物保有面積

(令和4年5月1日現在)

区分 学校名		建物保有面積							
		校舎等				屋内運動場			
		木造	非木造	計	一人当り面積	第1	第2	計	一人当り面積
小学校	川岸	86	8,515	8,601	25.7	905	328	1,233	3.7
	神明	195	6,175	6,370	20.0	744	324	1,068	3.3
	小井川	132	6,158	6,290	21.5	278	836	1,114	3.8
	岡谷田中	148	6,102	6,250	17.9	363	1,180	1,543	4.4
	湊	80	3,301	3,381	37.2	873		873	9.6
	長地	115	8,170	8,285	16.2	1,072	294	1,366	2.7
	上の原	10	6,389	6,399	35.9	805		805	4.5
	小計	766	44,810	45,576	21.9	5,040	2,962	8,002	3.9
中学校	西部	233	6,464	6,697	39.2	1,881	640	2,521	14.7
	北部	209	7,806	8,015	24.5	2,390		2,390	7.3
	南部	0	4,897	4,897	21.6	2,401		2,401	10.6
	東部	2,196	6,340	8,536	18.0	897	522	1,419	3.0
	小計	2,638	25,507	28,145	23.5	7,569	1,162	8,731	7.3
合計		3,404	70,317	73,721	22.5	12,609	4,124	16,733	5.1

② 学校敷地保有面積

(令和4年5月1日現在)

		校地総面積	校地内訳			左のうち借用地	校地の一人当り面積
			校舎敷地	屋外運動場	その他実験実習地		
小学校	川岸	17,753	11,003	6,750			53.0
	神明	22,161	11,080	10,481	600		69.5
	小井川	15,589	7,524	7,360	705	245	53.4
	岡谷田中	18,905	9,019	9,200	686	498	54.0
	湊	19,490	10,901	8,589			214.2
	長地	25,026	13,111	11,325	590		48.9
	上の原	24,925	15,735	9,190			140.0
	小計	143,849	78,373	62,895	2,581	743	69.3
中学校	西部	20,568	11,525	9,043			120.3
	北部	27,866	17,422	10,248	196		85.2
	南部	21,479	9,185	12,294			94.6
	東部	29,414	15,308	13,521	585		62.2
	小計	99,327	53,440	45,106	781		82.9
合計		243,176	131,813	108,001	3,362	743	74.3

③ 学校建物棟別保有面積(主要棟)

学校名	校舎名	建築年	構造階	保有面積㎡	合計面積㎡	備考	
小 学 校	川岸小学校	管理教室棟	S54	R3	2,000	9,431	H21耐震改修
		特別教室棟	S56	R2	1,903		
		教室棟中	S55	R3	2,252		H18耐震改修
		教室棟西	S55	R2	1,704		H20耐震改修
		第一体育館	S56	S1	905		H18耐震改修
		第二体育館	S44	S1	328		H18耐震改修
		給食室	S54	R1	339		
	神明小学校	1棟教室棟	S42	S1	821	6,675	H12大規模改修
		2棟教室棟	S42	R2	2,073		H13大規模改修
		3棟教室棟東	S41	R3	1,962		H24耐震・大規模改修
		3棟教室棟西	S51	R3	534		H24大規模改修
		第一体育館	S43	S1	744		H18耐震改修
		第二体育館	S42	W1	324		
		給食室	S42	S1	217		S53増築H12大規模改修
	小井川小学校	教室棟	S45	R4	3,903	6,844	H16耐震改修
		管理教室棟	S46	R2	1,827		H16耐震改修
		西体育館	S37	S1	836		H17耐震改修
		東体育館	S7	W1	278		
	岡谷田中小学校	特別教室棟	S54	R3	1,920	1,920	H24耐震改修
		普通教室棟南	S60	R3	1,727		H24大規模改修H27増改築
		普通教室棟北	S59	R3	2,148		H24大規模改修
		大体育館	S62	R2	1,180		
		小体育館	S60	R1	363		
		給食室	S50	S1	202		H24大規模改修
		学童クラブ棟	H27	W1	91		
	湊小学校	普通教室棟	S48	R2	1,822	3,885	
		特別教室棟	S48	R2	937		
昇降口棟		S48	R1	253	H21耐震改修		
体育館		S48	S1	873			
長地小学校	管理教室棟	S58	R2	1,937	8,755	H23大規模改修	
	教室棟南	S57	R2	1,590		H23大規模改修	
	教室棟中東	S55	R3	1,825		H23大規模改修	
	教室棟中西	S46	R3	1,240		H23耐震改修	
	特別教室棟	S42	S2	513		H17耐震改修	
	小体育館	S57	S1	294			
	大体育館	S58	R2	1,072			
給食室	S55	R1	284				
上の原小学校	普通教室棟南	S48	R2	966	6,084		
	普通教室棟中	S48	R1	473		H18災害復旧改修	
	普通教室棟北	S51	R3	1,571		H18災害復旧改修	
	特別教室棟南	S48	R1	257			
	特別教室棟中	S48	R1	261			
	特別教室棟北	S49	R2	599			
	昇降口棟	S48	R1	493			
	大体育館	S48	S1	805		H18災害復旧改修	
給食室昇降口棟	S48	R1	659				
西部中学校	管理教室棟	H28	R3	2,219	9,411	H28耐震改築	
	昇降口棟	H3	R3	1,984			
	特別教室棟	S62	R3	2,687			
	第一体育館	S63	R3	1,881			
	第二体育館	H29	S1	640		H29耐震改築	
北部中学校	1棟普通教室棟	H17	R2	1,649	9,690		
	2棟特別教室棟	S60	R1	495			
	2棟普通教室棟	S57	R3	1,806			
	3棟特別教室棟	S60	R3	1,171			
	管理教室棟	S59	R3	1,923			
	体育館	S61	R2	2,390		武道場を含む	
	給食室	S57	R1	256			
南部中学校	管理教室棟	H1	R4	4,002	7,781		
	給食室棟	S63	R2	580			
	北校舎	H19	S2	798		H19耐震改築	
	体育館	H5	R2	2,401		武道場を含む	
東部中学校	1棟普通教室棟東	S39	R3	2,015	8,090	R3管理教室棟大規模改修	
	1棟普通教室棟西	S50	R3	917		R3管理教室棟大規模改修	
	2棟普通特別教室棟	S58	R3	2,932			
	特別教室棟	H22	W1	427		H22耐震改築	
	昇降口棟	S50	S1	80		R3管理教室棟大規模改修	
	第一体育館	S40	S1	897		H16耐震改修	
	第二体育館	S47	S1	522		H18耐震改修	
	給食室	S58	R1	222			
	中間教室	H22	S1	37		H22新設	
エレベーター棟	R3	S3	41	R3新設			

④ 学校水泳プール

学 校 名	建 設 年 月 (改修年月)	水 槽	浄 化 槽 (改修年月)	附 属 設 備
小 学 校	川 岸	S44.7 (H16.7) 25m×10m× ^{1.0} _{1.2} m 5 コース (H17.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	神 明	S42.6 (H16.7) 25m×10m× ^{1.0} _{1.2} m 6 コース (H16.7) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H16.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	小井川	S44.7 (S63.6) 25m×10m× ^{1.0} _{1.2} m 5 コース (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H23.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	岡谷田中	S43.6 (S63.6) 25m×10m× ^{1.0} _{1.2} m 5 コース (H19.6) 10m×7.5m×0.7m	砂ろ過式 (H5.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	湊	S43.6 (H元.6) 25m×10m× ^{1.0} _{1.2} m 5 コース (H18.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H6.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	長 地	S42.7 (S61.6) (H16.7) 25m×10m× ^{1.0} _{1.2} m 5 コース (H16.7) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H4.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	上の原	S48.7 (H元.6) 25m×10m× ^{1.0} _{1.2} m 5 コース (H19.6) 15m×5m×0.7m	砂ろ過式 (H19.3)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
中 学 校	西 部	H29.3 25m×11.0m× ^{1.1} _{1.3} m 5 コース	砂ろ過式 (H29.3)	機械室、器具庫、シャワー、 洗眼台
	北 部	S38.7 (H4.5) 25m×13.6m× ^{1.2} _{1.2} m 7 コース	砂ろ過式 (H14.5)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽
	南 部	S38.7 (H13.7) 25m×13.6m× ^{1.2} _{1.2} m 6 コース	砂ろ過式 (H25.6)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台
	東 部	S42.6 (H9.12) 25m×13.6m× ^{1.0} _{1.2} m 7 コース	砂ろ過式 (H9.7)	更衣室、便所、管理室、機械室、 シャワー、洗眼台、消毒槽

⑤ 小中学校施設等主要整備状況（平成26年度～令和3年度）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	
小学校	川岸	体育館非構造部材脱落防止工事	ガス管入替工事 駐車場等改修工事	体育館放送機器修繕工事	受水槽修繕工事 転落防止柵撤去新設工事	エアコン設置工事、特別教室機材収納工事、ト取替工事、プールろ過機修繕工事、地下タンク廃止工事、給食室ボイラー入替・屋外タンク設置工事	防火設備改修工事・電話交換機取替工事、トイレ洋式化工事	プランコ改修工事 職員女子トイレ修繕工事	
	神明	体育館非構造部材脱落防止工事、埋設ガス管改修工事				エアコン設置工事	防火設備改修工事・プール防水補修工事・2階トイレ改修工事		
	小井川	体育館非構造部材脱落防止工事、埋設ガス管改修工事			保健室・校長室・事務室FF式温風暖房機取替工事	エアコン設置工事、門柱補修工事、防犯カメラ設置工事、給食室トイレ改修工事	防火設備改修工事・給水管・受水槽廻り給水管改修工事	バックネット建替工事	
	岡谷田中	小体育館非構造部材脱落防止工事				エアコン設置工事	防火設備改修工事		
	湊	職員玄関改修工事	体育館非構造部材脱落防止工事		給食室グリッド集器破損修繕工事	エアコン設置工事、更衣室改修工事、高窓カバー修繕工事			
	長地	体育館非構造部材脱落防止工事、給食室低圧ボイラー缶体入替工事、埋設ガス管改修工事			プール修繕工事	エアコン設置工事、渡り廊下ドア交換工事、プールろ過機修繕工事	防火設備改修工事・プール底補修工事・北庭埋設ガス管補修工事	大体育館西側外壁漏水防止工事、給食室照明修繕工事、給食室内ガス管修繕工事、灯油管修繕工事、トイレ洋式化工事	
	上原	体育館非構造部材脱落防止工事	埋設ガス管改修工事			給食室給湯器取替工事、給食室トイレ改修工事、受水槽ポンプ修繕工事	エアコン設置工事	配膳室給湯器排気ダクト取替工事	
	西部	体育館非構造部材脱落防止工事	体育館非構造部材脱落防止工事	管理教室棟、第二体育館、プール改築工事 グラウンド整備工事	給食室給湯器入替工事	受水槽内部補強材塗装修繕工事、雨水排水改修工事	エアコン設置工事、西校舎2階流し台電気温水器取替工事、体育館北創窓改修工事	防火設備改修工事・FF式石油暖房機入換工事	
	北部	小体育館非構造部材脱落防止工事、埋設ガス管改修工事、給食室ボイラー取替工事	体育館非構造部材脱落防止工事、埋設ガス管改修工事		外壁補修工事	給食室ボイラー循環ポンプ修繕工事、排水路改修工事、教室FF温風暖房機取替え工事	エアコン設置工事、排水路改修工事、電話交換機取替工事、図書室単体照明修繕工事	防火設備改修工事・図書館連結照明修繕工事・給食室床改修工事	体育館南側屋根・壁漏水補修工事
	南部	体育館非構造部材脱落防止工事	体育館非構造部材脱落防止工事	管理教室棟改修工事	図書室等カーテン設置工事	天井扇設置工事、ガス漏れ火災警報器取付工事	エアコン設置工事、プール防水修繕工事	防火設備改修工事	
東部	体育館非構造部材脱落防止工事	体育館非構造部材脱落防止工事	防火戸改修工事	第1理科室ガス管入替		エアコン設置工事	防火設備改修工事・第3理科室流し台給水管修繕工事・中校舎2F男女トイレ手洗い改修設備工事	グラウンド内ネットフェンス改修工事、管理教室棟大規模改修工事	

⑥ 小中学校コンピュータ整備状況

(令和4年4月1日)

単位：台数

学校名	コンピュータ室 教員用	コンピュータ室 児童用	図書館	職員室 (事務室等)	職員室 (校務共用)	職員室 児童・先生 兼用	GIGAスクール 学習者用端末
メーカー	EPSON	EPSON	EPSON	EPSON	EPSON	富士通	Lenovo
機種	タワー	デスクトップ	ノート	ノート等	タワー	タブレット	タブレット
整備年度	令和元年度						令和2年度
整備方法	リース						購入
川岸小	2	35	1	35	2	44	339
神明小	2	35	1	36	2	44	384
小井川小	2	35	1	33	2	44	311
岡谷田中小	2	35	1	33	2	44	369
湊小	2	25	1	22	2	30	104
長地小	2	36	2	43	2	49	540
上の原小	2	36	1	24	2	43	231
小学校計	14	237	8	226	14	298	2,278
西部中	2	36	1	32	2	45	204
北部中	2	36	1	41	2	47	346
南部中	2	36	1	33	2	45	250
東部中	2	36	1	52	2	49	478
中学校計	8	144	4	158	8	186	1,278
小中学校 合計	22	381	12	384	22	484	3,556

(4) 専門委員会等

① 岡谷市就学支援委員会 (担当：子ども総合相談センター)

1 内容

岡谷市教育委員会の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 就学教育相談及び支援に関すること。
- (2) 就学先及び就学義務猶予等の判断に関すること。
- (3) 就学後の教育支援に関すること。

また、前項に規定するもののほか、児童生徒等の就学及び教育支援に関する事項について、教育委員会に対し、意見を述べることができる。

② 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会 (担当：子ども総合相談センター)

1 内容

いじめの防止等に関係する機関及び団体相互の連絡調整を行い、当該機関及び団体の連携の推進のために必要な事項を協議する。

2 組織

協議会は、委員15人以内をもって組織し、いじめの防止等に関係する行政機関の職員、団体の代表者その他岡谷市教育委員会が必要と認める者のうちから、教育委員会が委嘱し又は任命する。

【委員】児童相談所、警察署、人権擁護委員、民生児童委員、市PTA代表、臨床心理士、スクールソーシャルワーカー、岡谷市子ども教育支援チーム「いじめ・人権部会」チーム員

③ 岡谷市いじめ問題対策調査委員会 (担当：子ども総合相談センター)

1 内容

いじめの防止等の対策を実効的に行うための調査研究や重大事態に係る調査を行う。

2 組織

委員会は、委員5人以内をもって組織し、学識経験者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

【委員】精神科医師、弁護士、臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士

委員会が行う重大事態等における調査体制の強化のため、調査等をサポートする「いじめ問題調査委員」を必要に応じて設置する。

④ 岡谷市子ども教育支援チーム (担当：子ども総合相談センター)

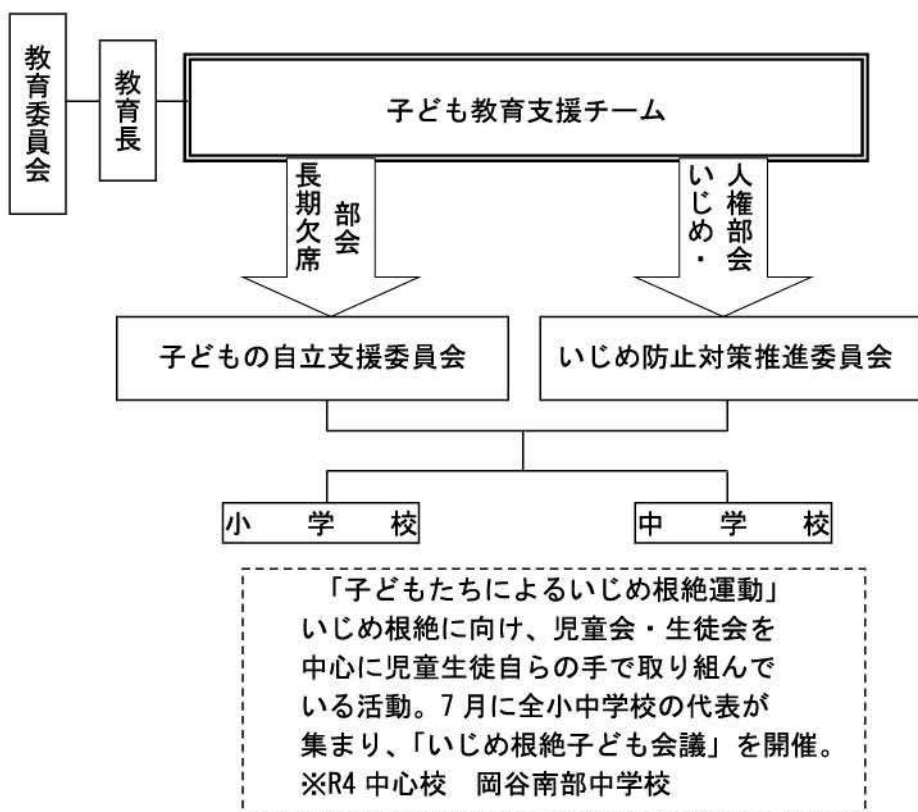
1 目的

長期欠席及びいじめ人権問題を含む児童生徒の教育課題を解決するため、調査研究や支援を行う。

2 内容

- (1) 長期欠席児童生徒の支援に関すること
- (2) いじめ問題への対応に関すること
- (3) 学校諸問題への対応に関すること
- (4) その他児童生徒の教育課題に対する調査研究及び支援に関すること

3 組織図



⑤ 岡谷市小中学校子どもの自立支援委員会

(担当：子ども総合相談センター)

1 内容

- (1) 各校における委員会計画や活動状況の把握
- (2) 学校現場の視点からの教育課題の検証、研修
- (3) 子ども教育支援チームとの連携、実践
- (4) その他、長期欠席児童生徒に係る課題、人間関係力や自己肯定感の高揚等、子どもの自立支援に関すること (Q-U、アセス、ソーシャルスキルトレーニング、NP プログラムなど)

⑥ 岡谷市いじめ防止対策推進委員会

(担当：子ども総合相談センター)

1 委員会の趣旨

小中連携の『いじめ根絶子ども会議』を中核とし、市内の全ての学校で児童生徒活動を継続的に行い、「いじめ根絶」に向けての意識を高める。

また、岡谷市子ども教育支援チームのいじめ・人権部会との連携のもと、本市における基本方針を受け、学校現場の視点から検証し、各校における実践に繋げる。

⑦ 岡谷市小中学校生徒指導推進委員会

(担当：学校教育)

1 目的

岡谷市の小学校、中学校、高等学校、家庭、地域社会が密接な連携を取りながら、相互に協力し合い、生徒指導等についての対策の充実と徹底を図り、児童生徒の健全育成に資する。

2 内容

- (1) 各学校の生徒指導の実態や課題に即した対応と推進、連絡調整、情報交換
- (2) 長期休業中 (夏休み・冬休み・春休み) における生徒指導の申し合わせ事項の検討及びきまりの作成と実践
- (3) 「豊かな心を育てるために」の実践的な活用についての啓発
- (4) 校外指導活動 (地域活動) の推進

- (5) 生徒指導研修に関する活動（年1回）
- (6) 児童生徒の健全育成に関する支援と協力
- (7) 生徒指導関係機関や関係諸団体（警察、民生児童委員、保護司等）、PTA、校長会、高等学校との連携

⑧ 岡谷市小中学校情報教育委員会 （担当：学校教育）

1 内容

- ・児童生徒及び教職員の、情報処理・加工能力を高め情報発信する能力を養うため、情報教育機器の有効な活用のあり方を研究する
- ・情報モラルの育成と小中を見通した市内情報教育年間指導計画を作成する
- ・各校の情報機器利用における問題点を究明し、改善策を提言する

⑨ 岡谷市学校図書館教育推進委員会 （担当：教育企画）

1 内容

読書センターとして、また、学習・情報センターとして機能する学校図書館づくりに積極的に取り組むことにより、学校及び家庭における児童生徒の読書活動の充実を図り「豊かな心」と「自ら学ぶ力」の育成に資する。

- ・児童生徒の読書活動の幅を広げ、読書体験を深めるための活動
- ・読書・学習・情報センターとしての学校図書館づくり
- ・学校図書館でのコンピューター活用にかかわる課題等の検討
- ・読書指導及び学校図書館運営に関する研修・情報交換
- ・岡谷市子ども読書活動推進会議など読書活動に係わる各種団体との連携

⑩ 岡谷市学力向上推進委員会 （担当：学校教育）

1 内容

- ・知識や技能の活用という分野を中心に、学力向上に向けた各学校の取組状況を把握し、教育課題や学習指導の課題を明確化し改善する
- ・分析結果等を基に本年度の学力向上・授業改善の具体的な取組計画を作成する
- ・調査結果に基づいた各校の分析結果から、市全体の分析及び改善の視点を探る

⑪ 岡谷市外国語活動推進委員会 （担当：学校教育）

1 内容

- ・平成23年度より完全実施された小学校外国語活動の授業が、各学校で円滑に推進できるよう、支援活動を行う。
- ・令和2年度より完全実施された小学校3・4年生の外国語活動及び5・6年生の外国語科の授業が、各学校で円滑に推進できるよう支援活動を行う。

⑫ 岡谷市道徳教育推進委員会 （担当：学校教育）

1 内容

- ・各学校において、道徳教育の方針を持ち、道徳教育推進教師を中心に、学校として組織的に道徳教育が推進できるよう、道徳教育改善に向けた取り組みを行う。
- ・道徳の教科化を視野に入れながら、今後の道徳教育の内容等を研究する。

⑬ おかや絹結プログラム推進委員会 （担当：学びの創生・連携支援室）

1 目的

幼保小接続期連携を目的とした、「おかや絹結プログラム」の実践を推進する。

2 組織

（小学校関係）校長会代表、教頭会代表、1学年担任代表、特別支援教育コーディネーター
（保育園・幼稚園関係）公立保育園より各1名

(5) 学校評議員

1 内容

評議員は、学校が保護者や地域住民等の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し一体となって子どもの健やかな成長を図る観点から、校長の求めに応じて学校運営に関し意見を述べ、地域に開かれた特色ある学校づくりの推進に資する。

- ・保護者や地域住民等の意向を把握・反映すること
- ・保護者や地域住民等の協力を得ること
- ・学校運営の状況等を周知するなど学校としての説明責任を果たしていくこと

(6) 岡谷市通学路安全対策会議

1 会議について

市内小中学校の通学路の安全確保に向け、安全対策に係る一連の取り組みを定めた「岡谷市通学路交通安全プログラム」に基づき、関係機関が連携し、継続的な推進を図ることを目的としている。

2 会議の任務

会議は、岡谷市通学路交通安全プログラムの実現に向け、市内小中学校の通学路の安全対策の総合的な検討、協議及び調整を行う。

<具体的な内容>

- ・危険箇所の抽出、合同点検の実施
- ・安全対策の検討
- ・安全対策の実施
- ・PDCAによる改善、充実

3 会議の組織

会議は、教育総務課長を会長に委員25名以内で組織し、教育委員会が任命又は委嘱する。

<メンバー>

【会長】教育総務課長

【副会長】委員から互選（校長会長）

【委員】岡谷市小中学校長会会長

岡谷市小中学校教頭会長

岡谷市小中学校生徒指導推進委員会委員長

保護者代表（PTA連合会会長）

地域住民代表（関係区長）

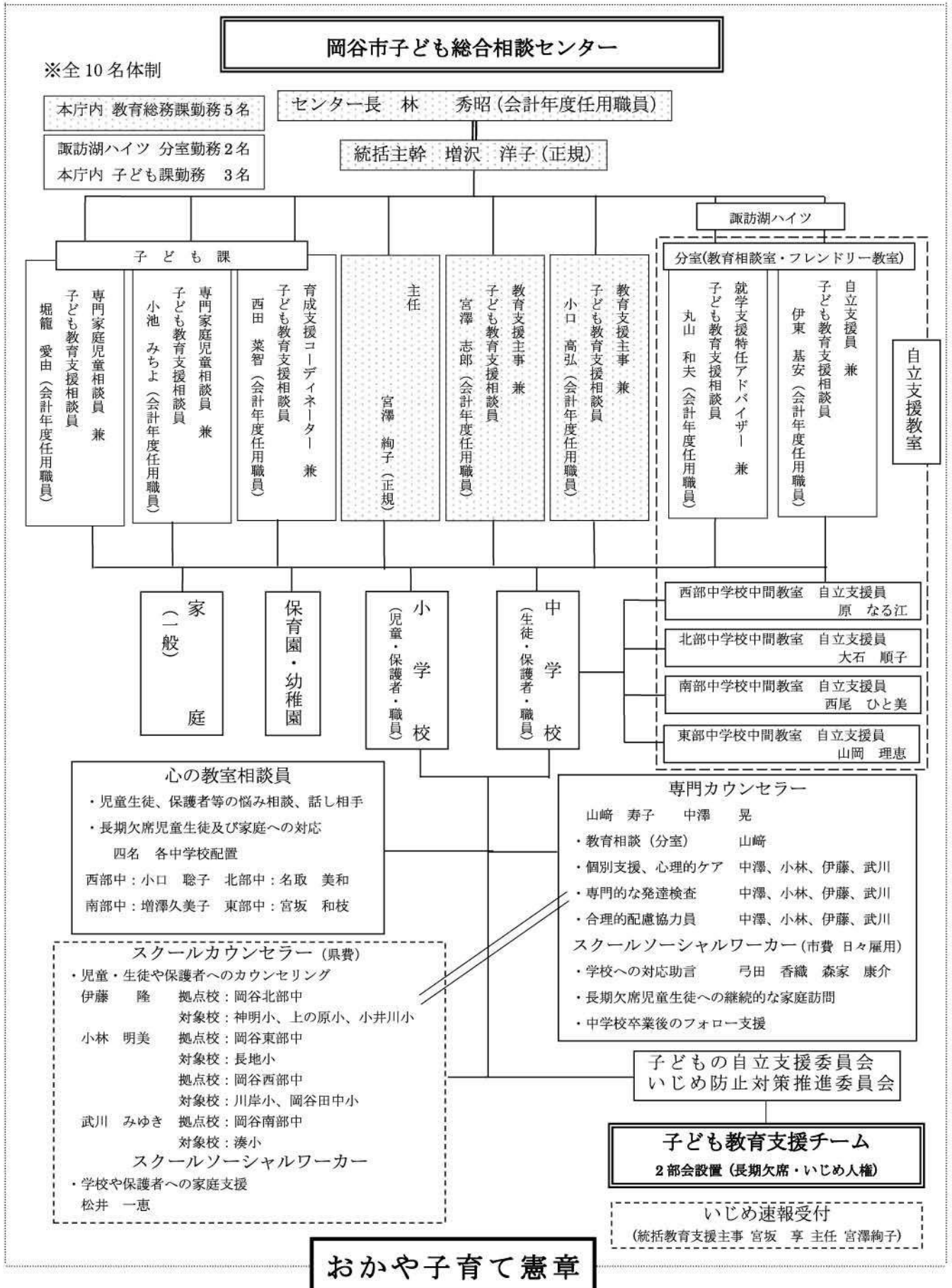
道路管理者（国道事務所、県建設事務所、市土木課）

岡谷警察署

その他市及び市教育委員会の職員

【事務局】教育総務課

(7) 子ども総合相談センター・カウンセリング体制（令和4年度）



① 子ども総合相談センター

子どもが自ら成長しようとする“子どもの育ち”全般に関する相談を総合的に受け付け、各機関と連携し個々の状況に応じた助言や指導を行う。

センター業務の一環として、諏訪湖ハイツの分室にフレンドリー教室、各中学校に中間教室を設置するほか、カウンセリング体制の充実を図り、連携支援に努める。

(1) 場 所 岡谷市役所 2階 教育総務課内

(2) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 8:30～17:00

(3) 業務内容

- ・ 就学支援に関する総合調整に関すること
- ・ 学校、家庭及び関係機関との連携に関すること
- ・ 学校諸問題に関する総合的な教育支援及び相談支援に関すること
- ・ 岡谷市いじめ問題対策連絡協議会に関すること
- ・ 岡谷市いじめ問題対策調査委員会に関すること
- ・ 岡谷市子ども教育支援チームに関すること

(4) 年度別の相談件数

年度	元年度	2年度	3年度
相談実数	701	597	551
相談延べ件数	2,061	1,746	1,837

(5) 令和3年度の相談状況（延べ件数）

相談対象者	乳幼児 園児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
3年度	197	791	781	52	16	1,837
2年度（参考）	199	837	659	34	17	1,746

内容	就学相談	身体障害	発達障害等	虐待	育児・教育
3年度	272	0	22	21	380
2年度（参考）	262	5	31	50	290

内容	長期欠席	問題行動	家庭環境	その他	合計
3年度	368	160	609	5	1,837
2年度（参考）	455	210	437	6	1,746

② 分室

幼児及び児童・生徒の不適応行動は近年ますます複雑化、多様化してきている。教職員や保護者、子どもが抱えている悩みや心配ごとに対して幅広く積極的に相談を受け、ともに考え助言・指導を行う。

子ども総合相談センターの分室として、本庁と連携した相談支援体制を心がける。

(1) 場 所 岡谷市長地権現町 4-11-50 おかや総合福祉センター（諏訪湖ハイツ）内

(2) 業務内容

- ・ 通常相談業務 土・日・祝祭日を除いた 8:30～16:30
- ・ 保育園・幼稚園・学校への訪問、連携支援
- ・ いじめ、長期欠席、生徒指導等の問題に関する調査研究、資料収集
- ・ 専門カウンセラーによる教育相談

毎月 2 回 一人あたり 50 分（予約制）

③ フレンドリー教室・中学校中間教室

学校と家庭を結ぶ中間的な教室で、専任の自立支援員により、学校復帰並びに社会的な自立に向かおうとしている生徒を支援するため、必要な活動や相談等を行う。

(1) 対象者 岡谷市の中学校に在籍し、支援を必要とする長期欠席者及び登校したくてもできない生徒（小学生も相談に応じる）

(2) 場 所 フレンドリー教室…岡谷市長地権現町 4-11-50

おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ)内

中学校中間教室…市内 4 中学校

(3) 開設日時 土・日・祝祭日を除いた 9:00～15:00（各学校と相談）

(4) 年間開設日数 中学校の登校日に準ずる

(5) 通室生の状況（フレンドリー教室、中学校中間教室の総計）

令和 3 年度 通室児童生徒数

学年	小学生	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	合計
岡谷市	1	5	7	15	28
市 外	0	0	0	0	0

令和 3 年度 復帰児童生徒数

学年	小学生	中学 1 年	中学 2 年	中学 3 年	合計
岡谷市	1	0	2	1	4
市 外	0	0	0	0	0

④ 心の教室

生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三者的な存在となり得る相談員を中学校全校に配置し、生徒の悩み相談や自主的生活の支援を行うとともに、小学校への派遣を行う。スクールソーシャルワーカーと連携した家庭訪問事業についても、積極的に展開する。

⑤ スクールソーシャルワーカー

長期欠席児童生徒対策の一環として、家庭環境や対人関係等で複層的な悩みを抱えるケースに対し、粘り強くきめ細かな支援を継続するために、ソーシャルワークの手法を取り入れ、家庭訪問によるアプローチや学校への対応助言を行う。また、スーパーバイザー的な役割に立ち、支援者の連携によるチーム支援を推進する。

⑥ スクールカウンセラー（専門カウンセラー）

臨床心理に関して、高度で専門的な知識と経験を有するスクールカウンセラーを学校に派遣し、児童生徒や保護者へのカウンセリングや教職員への相談と助言を行い、いじめや長期欠席等の問題の解決と予防にあたる。

なお、県費スクールカウンセラー事業の仕組みを生かし、特別支援教育の観点から、市内小・中学校で活動している臨床心理士等に対し、市費で専門カウンセラーを委嘱。域内ネットワークの一層の強化を図り、より多くの視点や関わりを得て合理的配慮の提供につなげ、インクルーシブ教育システム構築に資する。

⑦ 就学支援・特別支援教育・幼保小連携

（１）就学支援

巡回訪問相談、就学教育相談、就学支援委員会・同小委員会、発達検査の実施

（２）特別支援教育

小中学校への特別支援教育支援員の配置（R4 34名）、LD・ADHD等児童のニーズ把握調査、多層指導モデル「MIM」教材の活用推進、副学籍制度の推進

（３）幼保小連携

幼保小園長校長懇談会の開催、子ども発達支援センターとの連携、岡谷市特別教育支援コーディネーター等連絡会の開催、障がい児保育検討委員会への参加と助言、関係機関との連携

令和2年度から園・校関係者による検討を重ね、令和3年度、幼保小接続期連携のためのアプローチ&スタートカリキュラム「おかや絹結プログラム」を策定した。

同プログラムは園校接続期の大切な視点を20のつなぎシートでまとめている。

（８）岡谷スタンダードカリキュラム

岡谷スタンダードカリキュラムは、地域の「ひと、もの、こと、こころ」の資源を活用した学びを推進するため、各校の教科活動において日常的、普遍的に活用することのできる学習コンテンツとして、平成28年度に本市独自に構築した。

諏訪湖をはじめとする豊かな自然、製糸の歴史ともものづくりのまち、武井武雄や小口太郎などの偉人、御柱等々、ふるさと岡谷には豊富な学習素材があり、総合的な学習の時間や理科・科学や社会・歴史などの教科・領域において学習要素に取り入れることで、子どもたちが郷土に誇りを持ち、ふるさと回帰の心を育むことをねらいとしている。

学習コンテンツは、教育総務課配属の主任指導主事が構築し、現在、320（小学校250、中学校70）の学習コンテンツを用意し、各校で実践している。

【実践例】

- ・それいけカニロボちゃん（4年生：総合的な学習の時間）

カニ型多脚ロボットを遠隔操作するプログラミング教育（平成27年度から）

- ・世界に歩みだした日本～製糸王国岡谷と片倉兼太郎～（6年生：社会科）

製糸王として名を馳せた兼太郎の歩みを通して、岡谷の製糸業、日本の近代化を学ぶ。

- ・動いちゃだめよお蚕様（2年生：算数）

学校で育てている蚕の成長する様子を観察しながら、物の長さの測り方を学ぶ。

(9) 学童クラブ運営事業（厚生労働省／放課後児童健全育成事業）

保護者が就労等により昼間家庭にいない児童等を対象に、適切な遊びと生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的として、市内7小学校で13学童クラブを設置・運営する。

本市では、平成18年4月に岡谷市学童クラブ条例を施行し、学校休業日の利用料に加えて学校登校日の利用料を有料化した。また、平成27年度より対象学年を小学6年生まで拡大するとともに、開設時間を延長した。

令和2年度より、川岸小学校学童クラブを2クラブ体制に変更した。

1 入所できる児童等

- (1) 市内小学校の1年生から6年生までの児童
- (2) 長野県諏訪養護学校の小学部の児童及び中学部の生徒
- (3) 市長が特に入所の必要を認めた児童等

2 利用できる保護者の要件

保護者（父母等）及び児童等と同居している65歳未満の親族（祖父母等）が、下記のいずれかに該当する場合（父母が下記に該当しても、65歳未満の同居親族が該当しない場合は利用できない。）

- (1) 昼間、会社等で働いており、家庭で児童等を養育できない場合
- (2) 昼間、自営業に専従しており、家庭で児童等を養育できない場合
- (3) その他（特例として認める場合がある。）
 - ① 病気・身体障がい等により、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ② 家族の介護・看護により、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ③ 妊娠による体調不良、産前・産後の入院などにより、昼間、家庭で児童等を養育できない場合
 - ④ 就学（職業訓練校等）の時間帯と重なり、昼間家庭で児童等を養育できない場合
 - ⑤ ひとり親家庭で、児童等の帰宅時間に保護者が求職活動をしている場合（入所後3ヶ月以内に就職先が決まらない場合は退所）

3 開設日・開設時間

区分	開設日	休み	開設時間
学校 登校日	月曜日～金曜日	・入学式、卒業式の日 ・臨時休校日	下校時～ 午後6時45分
学校 休業日	・土曜日 ・長期休業日（夏休み、年末年始休み、春休み） ・学校の振替休業日、計画休業日	・日曜日 ・国民の祝日 ・お盆（8/13～16） ・年末年始（12/29～1/3）	午前7時45分～ 午後6時45分

4 使用料

階層	区 分	学校登校日 (月額)	学校休業日 (日額)
第1	生活保護世帯(単給世帯を含む。)	0円	0円
第2	前年度分の市町村民税非課税世帯	900円	600円
第3	前年度分の市町村民税非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	0円	0円
第4	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯	2,300円	600円
第5	前年度分の市町村民税所得割非課税世帯かつ母子世帯等である世帯	2,000円	600円
第6	前年度分の市町村民税所得割課税世帯	3,500円	600円

※同じ月に同一世帯で複数児童が同時利用した場合の使用料…2人目は1/2、3人目以降は1/4に減免

5 施設概要、登録児童数

(令和4年4月1日現在)

(1) 学校登校日、学校休業日

単位：人

名称	開設 年月日	施設 面積 (㎡)	職員数		登録児童数		備考
			指導員	補助 指導員	学校 登校日	学校 休業日	
川岸小学校第1学童クラブ	S43.10.1	90.18	1	3	35	53	余裕教室
川岸小学校第2学童クラブ	R2.4.1	84.78	1	2	32	45	
神明小学校第1学童クラブ	S41.12.26	91.09	1	2	47	48	S45 独立施設
神明小学校第2学童クラブ	H27.4.1	63.42	1	2	39	48	余裕教室
小井川小学校第1学童クラブ	S51.9.1	99.37	1	1	32	36	S51 独立施設
小井川小学校第2学童クラブ	H27.4.1	93.50	1	2	39	44	余裕教室
岡谷田中小学校第1学童クラブ	S40.10.24	52.50	1	2	35	39	H28 独立施設
岡谷田中小学校第2学童クラブ	H28.4.1	52.50	1	2	37	51	
湊小学校学童クラブ	H9.7.28	80.65	1	1	21	26	H12 併用施設
長地小学校第1学童クラブ	S44.10.1	86.67	1	3	50	75	H23 独立施設
長地小学校第2学童クラブ	H23.8.19	86.67	1	3	50	70	
上の原小学校学童クラブ	S52.9.6	85.00	1	2	39	50	余裕教室
障がい児学童ひかりクラブ	H14.4.5	56.25	1	1	3	4	H28 独立施設
合 計			13	26	459	589	

※施設面積は学童クラブ室の面積とする。但し、湊小学校学童クラブは併設施設の面積を含む。

(2) 土曜日(岡谷田中小学校第1学童クラブで拠点実施)

単位：人

名称	開設 年月日	施設 面積 (㎡)	職員数		登録児童数	備 考
			指導員	補助 指導員		
土曜学童クラブ	H14.4.6	69.00	1	1	56	
障がい児学童ひかりクラブ	H19.4.7				2	
合 計			1	1	58	

(10) 放課後子どもの居場所づくり事業 (文部科学省/放課後子ども教室推進事業)

市内全7小学校で、全ての児童を対象に、放課後に学校施設を活用して子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の知識や教養を伝える交流活動等を実施することにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに、参画する地域の方々の生き甲斐づくりを推進する。

事業の実施にあたり、各小学校区に地域住民を中心とする運営委員会を設置し、小学校区ごとに、地域の特色を生かした独自の事業内容を企画・運営する。

なお、文部科学省・厚生労働省が推進する「放課後子ども総合プラン」に基づき、子どもたちが多様な体験・活動の機会を得られるよう、学童クラブとの連携による総合的な放課後対策を推進する。

1 開催予定

(令和4年5月31日現在)

小学校区	名称	開設年月日	年間開催予定
川岸小学校	とちっ子ひろば	平成21年12月(モデル校)	17回
神明小学校	神明っ子 はばたき ラボ	平成23年9月	16回
小井川小学校	おいかわっこ	平成23年7月	9回
岡谷田中小学校	あやめ基地	平成22年5月(モデル校)	12回
湊小学校	あそぼう日	平成21年7月(モデル校)	14回
長地小学校	おさっちあ	平成23年6月	10回
上の原小学校	うえのはらっぱ	平成23年6月	15回

(11) 岡谷子ども未来塾事業 (文部科学省/地域未来塾)

市内全4中学校で、苦手教科の解消や勉強の習慣づけをしたい中学2年生を対象に、教員OBや地域住民などが講師となり、パソコン教室の学習支援ソフトを活用して英語・数学の学習サポートを行う。また、小学5年生を対象に加え、市内全7小学校の夏休みに算数の講座を実施し、学習支援を行う。

1 開催予定

(令和4年5月31日現在)

中学校名	年間開催予定
岡谷西部中学校	英語7回、数学7回
岡谷北部中学校	英語7回、数学7回
岡谷南部中学校	英語7回、数学7回
岡谷東部中学校	英語7回、数学7回

岡谷子ども未来塾(5年算数)	年間開催予定
全7小学校	各校で夏休みに2回

(12) 高等学校・専修学校・専門学校等

① 高等学校

1 所在地

学校名	所在地 (電話番号)	創立年月日	学校長氏名
岡谷南高等学校	岡谷市湖畔三丁目3番30号 (0266-23-2355)	昭 15. 10. 30	林 秀 徳
岡谷東高等学校	岡谷市南宮二丁目1番17号 (0266-23-3161)	大 2. 4. 1	佐藤 純也
岡谷工業高等学校	岡谷市神明町二丁目10番3号 (0266-22-2847)	明 45. 4. 11	清 水 哲

2 高等学校生徒数及び学級数 (令和4年5月1日現在)

		岡谷南 高等学校	岡谷東 高等学校	岡谷工業 高等学校	計
1年	学級数	5	3	5	13
	男	94	48	167	309
	女	104	72	13	189
	計	198	120	180	498
2年	学級数	5	3	5	13
	男	107	33	172	312
	女	92	86	14	192
	計	199	119	186	504
3年	学級数	5	3	5	13
	男	107	31	165	303
	女	93	86	9	188
	計	200	117	174	491
合計	学級数	15	9	15	39
	男	308	112	504	924
	女	289	244	36	569
	計	597	356	540	1,493

② 専修学校・専門学校

学校名	所在地	校長名	科目	生徒数	教職員数
上條経理専修学校	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條 重信	商業実務 一般	0	3
岡谷音楽専門学校	岡谷市東銀座一丁目11番2号	林 かずえ	器 楽	4	3
岡谷市看護専門学校	岡谷市2413-1	澤野 伸二	看 護	41	7

③ 各種学校

学校名	所在地	校長名	科目	生徒数	教職員数
岡谷市医師会附属 准看護学院	岡谷市中央町二丁目5番22号	野村 忠利	准看護師 養成	29	5
上條珠算簿記学園	岡谷市東銀座一丁目6番4号	上條 重信	経理事務	65	3

(13) 教員住宅

(令和4年4月1日現在)

住宅番号	建設年度	戸数	所在地	構造	1戸当面積(m ²)
211～237	平成8	1棟21戸	間下	鉄筋コンクリート三階建	単身用21戸 49.99
111～136	平成9	1棟17戸	間下	鉄筋コンクリート三階建	単身用11戸 49.99 世帯用 6戸 69.12

総計戸数 38戸

※令和元年度において、昭和期に建設された戸建ての教員住宅を解体(28戸)・売却(1戸)により処分し、集合住宅タイプの間下教員住宅のみとなり、管理運営を行っている。

【湊小坂教員住宅】

令和元年度に解体された湊小坂教員住宅の跡地は、湊小学校教育の充実発展にご尽力された故花岡和夫先生のご遺族から寄附いただいた土地です。現地には、その功績を讃え、小坂区及び財団法人湊教育振興会が建立した石碑があり、今も湊地区の人たちに親しまれています。

湊小坂教員住宅の跡地の石碑

『花岡和夫先生は明治二十三年一月三日当地に生まれ、幼少期を湊地区で過ごされました。諏訪中学校卒業後志をたて、千葉医学専門学校に学び医学博士となり、千葉市井上病院長、千葉県医師会長、千葉大学医学部講師など医学、医療の面で多大の貢献をされました。亦、千葉県公安委員長ならびに教育委員長などの公職を歴任され、その功績により勲四等瑞宝章を授与されました。

先生には遠く千葉にありながら、自分を育ててくれた郷里の湊小学校教育に深い関心を示され、昭和の初めより昭和五十三年にご逝去なされるまで、グランドピアノや図書の寄贈を続けられました。特に昭和四十八年には多額の資金を寄付され、これを基金として財団法人湊教育振興会が設立されました。この基金は湊小学校教育の充実発展に大きな役割を果たしております。

このたび先生の生家跡地が、教員住宅用地として岡谷市に寄付されるにあたり、この地に生誕の碑を建て永くその遺徳を顕彰致します。』

～石碑背面碑文から抜粋～



(14) 奨学金制度

① 岡谷市育英基金

◎基金の総額 459,486,621円(令和4年3月31日)

◎貸付対象及び要件

- ア. 岡谷市に生活の本拠を有し、引き続き1年以上居住している者又はしていた者であること。
- イ. 成績が優秀で身体が健康であること。
- ウ. 経済的理由により就学が困難と認められること。
- エ. 独立行政法人日本学生支援機構その他の団体から別に学資等の貸与を受けていないこと。

◎貸付内容(平成23年度以降)

ア. 貸付方法 奨学金年4回(4月・7月・10月・1月)に分けて貸付 入学準備金は初回のみ貸付

イ. 貸付金額

(奨学金)		(入学準備金)	
高等学校生・高等専門学校生	月額 30,000円以内	大学	200,000円以内
大学・短期大学生	月額 52,000円以内	大学(医学部)	1,200,000円以内
専修学校生(高等課程)	月額 30,000円以内		
専修学校生(専門課程)	月額 49,000円以内		
大学(医学部)	月額 200,000円以内		

ウ. 利子 無利子による貸与となります。

エ. 償還免除(令和4年度以降)

<高等学校、高等専門学校、専門学校、短大、大学等>

- ・学校を卒業後、岡谷市に居住し、償還期間中に引き続き居住したときは償還の25%を免除する。

<医師を養成する課程(医学部)>

- ・学校を卒業後10年以内に市内の医療機関で医師として従事し、奨学金の貸与期間(※)と同一期間従事した場合は、貸付額の全額の返済を免除する。なお、学校卒業後に市内の医療機関で臨床研修を受けた場合は、臨床研修の期間を「市内の医療機関において従事する期間」に含める。

- ・市内医療機関で医師として従事した期間が貸与期間に満たない場合は、奨学金の貸与期間と市内の医療機関に従事した期間(月数)で按分した額について、貸付額の一部を免除する。

※貸与期間…入学準備金の貸与を受けた場合、奨学金の貸与期間に6か月を加えた期間とする。

◎返済方法

卒業後6ヵ月後から次の期間内に返済

(奨学金)	高等学校生	120ヶ月	高等専門学校生	180ヶ月
	大学生	180ヶ月	短期大学生	96ヶ月
	専修学校生(高等課程)	120ヶ月	専修学校生(専門課程)	168ヶ月
	大学(医学部)	270ヶ月		
(入学準備金)	大学	48ヶ月	大学(医学部)	72ヶ月

◎制度の変遷

・昭和41年度から昭和46年度までの奨学生	年 18,000円(月 1,500円)/人
・昭和47年度から昭和49年度までの奨学生	年 36,000円(月 3,000円)/人
・昭和50年度から昭和57年度までの奨学生(大学生は除く)	年 60,000円(月 5,000円)/人
・昭和51年度から昭和57年度までの大学へ入学する奨学生	年 120,000円(月 10,000円)/人
・昭和58年度からの奨学生(高校生)	年 72,000円(月 6,000円)/人
(大学生)	年 180,000円(月 15,000円)/人
・平成 2年度からの奨学生(高校生)	年 120,000円(月 10,000円)/人
(大学生)	年 240,000円(月 20,000円)/人
・平成11年度からの奨学生(高校生)	年 180,000円(月 15,000円)/人
(大学生)	年 300,000円(月 25,000円)/人
・平成13年度に大学等卒業後、償還期間中に市内に在住していた場合に償還額の25%を償還免除とする制度を創設。	
・平成14年度からの奨学生(高校生等)	年 360,000円(月 30,000円以内)/人
(大学生等)	年 624,000円(月 52,000円以内)/人
・平成23年度に医師を養成する課程を卒業後、市内医療機関に市長が別に定める期間医師として従事した場合に償還免除とする制度を創設。	
・令和4年度に医師を養成する課程を卒業後、10年以内に市内医療機関に従事する意思のあるものに対して、市長が別に定める期間償還猶予するとともに、市内医療機関に従事した場合にその機関に応じて償還免除とする制度に見直した。	

◎貸付状況

(令和4年5月1日現在)

年度	貸付人員			貸付 (見込)額	免除		償還済 人員	償還中 人員	猶予中 人員	貸付中 人員	備考(4年度 から償還開始)
	高校	大学等	合計		免除額	件数					
41~49	96		96	7,326,000			96				
50	13		13	2,370,000			13				
51	8	7	15	4,080,000			15				
52	3	14	17	6,180,000			17				
53	10	8	18	5,520,000			18				
54	8	8	16	5,160,000			16				
55	1	6	7	3,420,000			7				
56	4	5	9	3,372,000			9				
57	14	5	19	5,256,000			19				
58	5	7	12	5,668,000			12				
59	4	9	13	6,444,000			13				
60	4	12	16	7,884,000			16				
61	8	11	19	8,064,000			19				
62	3	4	7	2,808,000			7				
63	1	7	8	5,076,000			8				
元	1	4	5	1,512,000			5				
2	3	11	14	8,520,000			14				
3	2	15	17	10,800,000			17				
4	3	21	24	18,720,000			23	1			
5	1	22	23	16,680,000			23				
6		9	9	6,240,000			9				
7	1	7	8	5,880,000			8				
8		13	13	9,360,000			13				
9		11	11	7,920,000			11				
10	1	3	4	6,360,000			4				
11	1	8	9	6,540,000			9				
12		10	10	7,560,000			10				
13		11	11	8,820,000			11				
14	2	48	50	34,859,000			46	4			
15	5	27	32	45,372,000	156,000	1	26	6			
16		26	26	48,072,000	915,000	4	21	5			
17	1	22	23	51,312,000	429,000	1	18	5			
18	2	12	14	45,036,000	1,619,100	7	8	6			
19		15	15	37,470,000	1,715,000	4	10	5			
20		15	15	33,132,000	1,478,250	7	8	7			
21		21	21	32,412,000	4,634,000	11	13	8			
22	1	26	27	40,935,000	4,630,500	7	16	11			
23		16 (1)	16	44,176,000	4,512,000	8	4	11	1 (1)		
24	1	15 (1)	16	45,888,000	4,146,250	11	7 (1)	9			
25		16	16	43,780,000	1,834,875	6	10	6			
26		20 (2)	20	44,698,000	3,911,200	9	6	12	2 (1)		
27	1	18 (2)	19	44,960,000	5,784,500	16	6	12	1 (1)		
28		14 (1)	14	45,204,000	3,086,730	9	4	8	1 (1)		1
29		13 (1)	13	44,440,000	1,524,000	1		10	2	1 (1)	
30		10	10	36,752,000	9,072,500	20		2	1	7	
元		8 (1)	8	33,906,000	4,471,875	10		3		5 (1)	
2		9 (1)	9	31,896,000	5,308,250	13				9 (1)	
3	1	8	9	26,868,000	1,530,900	5				9	
4	1	12 (1)	13	28,928,000						13 (1)	
計	210	619 (11)	829	1,033,636,000	60,759,930	150	645 (1)	131	8 (4)	44 (4)	1

()は大学(医学部)内数

② 公益信託 山田徳郎奨学基金

- 目的 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する生徒に対して、奨学助成を行い、青少年の健全育成と社会有用の人材を育成する。(昭和63年から給付開始)
- 奨学生の資格
 - 岡谷市に居住し、長野県内の高等学校に在学する者
 - 学業、人物ともに優秀な者
 - 経済的理由により就学困難な者
- 給付方法及び金額

給付方法	年4回(6月・9月・12月・3月)に分けて給付
給付金額	月額15,000円
給付状況	平成30年度 3人 令和元年度 6人 令和2年度 3人 合計 12人
受託者	山田徳郎
受託者	みずほ信託銀行株式会社(東京都中央区八重洲1-2-1)

4. 生涯学習課

(1) 令和4年度 生涯学習基本方針

■ 『生涯学習スローガン』

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

おかや子育て憲章と第2期岡谷市教育大綱及び岡谷市学びの紡ぎ応援プラン(第6次岡谷市生涯学習推進計画)に掲げた教育理念のもと、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと、こころ』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

「岡谷のひとづくり」を推進するため、生涯学習分野におけるめざすひとづくりの姿「人間像」を、『歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり』とし、次の4つのポイントに重点的に取り組みます。



■ 「生涯学習 4つの重点」

1 生涯を通じた学びの推進

生涯学習に関する情報の発信より、市民の学習意欲の促進と、市民ニーズに応じた講座や時代の変化に応じた知識、技能を獲得する機会の充実に努めます。

また、生涯学習の指導者の発掘、確保に努めるとともに、学習グループや各種団体の活動を支援します。

2 青少年の健全育成

家庭や学校、地域の団体と連携し、青少年が自主的、主体的に地域活動に参加できるようになるために、多様な体験活動や団体活動の機会を提供します。

3 読書の推進

子どもから大人まで広く市民が読書に親しみの持てる環境を整えます。特に、子どもたちの読書習慣の定着を図るため、市立岡谷図書館と学校等施設との連携や、ボランティア団体などとの協働により、子どもの発達段階に応じた読書の機会提供と普及啓発に取り組みます。

4 家庭・地域の教育力向上

子どもたちが人間性豊かに育つことができるよう、家庭、学校、地域と連携して、保護者を応援するための学習講座の開催や、親同士が交流できる機会を提供し、家庭と地域の教育力向上の支援に努めます。

岡谷市学びの紡ぎ応援プラン基本目標キーワード
自ら学ぶ 地域で活かす 未来へ紡ぐ

令和4年度岡谷市教育委員会 生涯学習の重点項目

- ・ポストコロナ時代を見据えた新たな生涯学習活動の推進
- ・「おかや子育て憲章」の更なる普及啓発（おかや子育て憲章制定20周年記念事業開催）
- ・豊かな人生を紡ぐ“岡谷学”による地域人材の育成
- ・安全・安心で快適に利用できる公民館施設の環境整備（エアコン及び給湯設備の設置）
- ・子どもの読書習慣定着に向けた「第3次子ども読書活動推進計画」の推進
- ・美術考古館における地元ゆかりのある作家による特別企画展の開催
- ・地域総ぐるみによる文化財の適切な保存と積極的な活用

(2) 生涯学習推進・公民館

① 重点目標

- 1 学びの紡ぎ応援プラン（第6次岡谷市生涯学習推進計画）に基づき、生涯学習を推進する。
- 2 地域課題や教育課題を明確にするとともに、市民の生涯学習へのニーズを把握し、学習内容や運営についてアイデアに富んだ催し、学級、講座、講演会等を開催する。
- 3 社会環境の変化に対応し、学習情報・子育て情報の提供や相談事業を推進する。
- 4 学習グループの活動を支援し、学習成果を発表する機会や場の提供をするとともに、学んだ力の活かせるボランティア活動を支援する。
- 5 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止策を施しながら、新しい生活様式を踏まえた生涯学習館の管理・運営に努める。

② 令和4年度重点施策

- 1 制定から20周年を迎えた「おかや子育て憲章」の理念の再認識と更なる普及啓発
- 2 ポストコロナ時代を見据えた新たな生涯学習の推進
- 3 生涯学習活動センター、公民館、図書館、美術考古館及び文化施設や関係各課相互の連携強化

③ 岡谷市社会教育委員の会議

岡谷市社会教育委員の会議は、岡谷市教育委員会の行う社会教育行政に関する諮問機関として、広く各方面の見識と経験を反映させるため、社会教育法第15条及び岡谷市社会教育委員設置条例に基づき、平成9年4月に発足した。

※社会教育委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、学識経験のある者並びに一般公募の中から10人を教育委員会が委嘱し、任期は1期2年としている。社会教育委員の職務として、社会教育に関し教育長を通じ教育委員会に助言をするための社会教育に関する諸計画の立案や、会議を開いて教育委員会の諮問に応じて意見を述べることで、さらにそのために必要な研究調査を行う。また、教育委員会の会議に出席して社会教育に関し意見を述べることもできる。

岡谷市社会教育委員

(令和4年4月1日現在)

氏名	所属団体等	備考
◎ 谷口修治	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員、区長	平成29年度～
○ 宮坂美津章	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員	平成29年度～
花岡文子	公民館活動、地域活動	平成29年度～
清水雅彦	民生児童委員	平成29年度～
小池修次	放課後子どもの居場所づくり事業運営委員	平成31年度～
橋爪誠	岡谷市社会福祉協議会職員、地区社会福祉協議会副会長	令和3年度～
中島るみ子	元こどものくに館長	令和3年度～
濱元氣	ファブスペースはなれ代表	令和3年度～
小野圭子	ガールスカウト役員	令和3年度～
(新) 中澤俊喜	神明小学校校長(校長会代表)	令和4年度～

◎…会長 ○…副会長 任期＝1期2年 令和3年4月1日～令和5年3月31日

④ おかや子育て憲章理念の普及

制定から20年が経過した「おかや子育て憲章」の理念を普及すべく、おかや子育て憲章を具現化した冊子「成長樹（期）子育て実践ポイント」を、子育ての不安・悩み解消の参考にしてもらえるよう母子手帳交付時や、民生児童委員の乳児訪問の際に配布するなど、効果的な普及啓発に取り組んでいるほか、20周年記念講演や「成長樹（期）子育て実践ポイント」のリニューアルにも取り組む。

⑤ 市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）

市民の生涯学習活動をより一層推進するため、市職員が直接地域に出向いて担当する業務を説明しながら、市民との交流と市政への理解を深めるとともに、まちづくり全般にわたる推進と市職員の研修・資質向上の機会ともしている。令和4年度は8部門93講座を登録し、メニューにない講座については「リクエスト講座」として対応する体制をとっている。

⑥ 生涯学習人材バンク「おかやマナビスタッフ」活用事業

専門的な知識や技術、技能等を持つ市民に、講師又はボランティアとして登録・名簿管理し、講師等を依頼したい人と登録者を仲介する。また、ボランティア登録をした方については、活動する際に、「学びのおかやサポート事業」の一環として、ボランティア保険に加入し、サポートを行っている。

⑦ 人権教育

1 人権の尊重

人権は、生命、自由、平等、幸福追求などについて、すべての人間がその尊厳に基づいて持っている、侵すことのできない固有の権利です。人権が尊重されるためには、権利についての理解を深めるとともに、権利の行使に伴う責任を自覚し、お互いの人権を認め合いながら生活し、人権が共存する社会づくりを進めることが重要であることから、平成8年3月、岡谷市民憲章の理念に基づき「人権尊重都市宣言」を掲げ、岡谷市の基本理念とし、市民一人ひとりがさらなる人権意識の高揚とかけがえのない存在として尊重される差別のない社会づくりのため、基本目標に沿った人権教育を推進する。

2 啓発の推進

(1) あらゆる場における人権教育の推進

ア 学校人権教育

- ・ 偏見や差別を正しく見抜く力を持つことができる教育を行う。
- ・ 児童生徒の身近な偏見や差別をなくすために、開かれた学級やともに生きる仲間づくりに努める。
- ・ 人権にかかわる授業研究、教職員研修の充実を図る。
- ・ 人権担当教諭の指導者としての資質の向上を図る。
- ・ 社会科教材として、副読本「あけぼの」の配本助成を行う。

イ 社会人権教育（幼稚園・保育園、学校、地域、企業）

- ・ 幼稚園、保育園における保護者を対象とした人権にかかわる家庭教育学級を実施する。
- ・ 小学校のPTA、児童を対象とした人権にかかわる家庭教育学級、講演会を実施する。
- ・ 生涯学習館等における各種学級の機会を捉えた人権教育講座を開催する。

- ・地域における人権にかかわる自主学習活動への支援・奨励を行う。
- ・市民とあゆむまちづくり講座（職員出前講座）を活用する。
- ・企業担当者に対する人権学習支援・奨励、学習資料の提供を行う。
- ・企業担当者に対し人権教育指導者研修会への参加を奨励する。
- ・市職員研修における人権問題啓発用DVDの活用を促す。
- ・市新任職員に対する人権教育を実施する。

(2) 人権意識の啓発と教育活動の推進

- ・人権問題啓発映画・DVDの貸出し及びガイドブックの活用
- ・人権啓発リーフレットの活用

⑧ 生涯学習館・公民館の講座等（令和4年度）

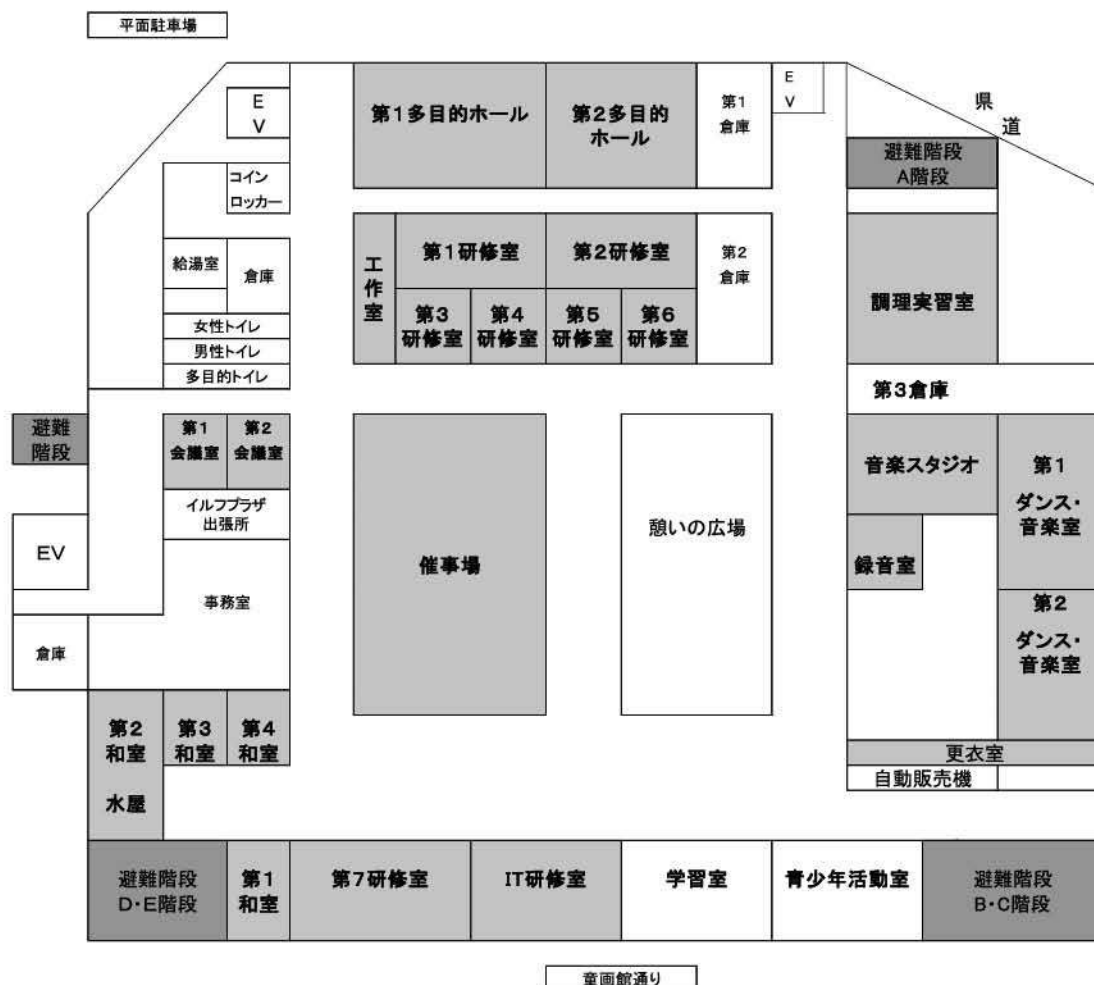
	事業名	事業内容	期間	備考
乳幼児の育成	輝く子育て支援学級	乳幼児を持つ父母が子育てについて学び、仲間づくりを行う。	5月 ～12月	公民館16回 生涯学習館16回
	保育園・幼稚園 家庭教育学級	保育園・幼稚園児を持つ父母・祖父母等が子どもの健全育成について学ぶ。	5月 ～3月	各園1回程度
児童の健全育成	小学校 家庭教育学級	小学生を持つ父母・祖父母等が子どもの健全育成について学ぶ。	4月 ～3月	各校1回程度
	子ども学級 (キッズクラブ)	小学3～6年生が自然体験等を行うなかで、学び、仲間づくりを行う。	6月 ～12月	生涯学習館8回 各公民館1回
	親子講座 (世代間交流講座)	家族と一緒に学ぶことで楽しさとともに家族の絆を深めるとともに、世代間の交流を通して、文化の伝承を図る。	7月 ～3月	生涯学習館1回
成人の学習	季節の教養講座	幅広い年齢層に、時宜に応じた魅力ある講座への参加を促すことにより、自発的な生涯学習活動の進展に資する。	4月 ～3月	生涯学習館4期
	生活講座等	生活に密着した知識や技術を学習し快適な生活づくりに役立てる。	随時	公民館 1～3回
	生涯学習大学	大学の先生や専門家等を招き、関心の高いテーマに対して、やや高度なレベルの内容について学ぶ。	9月 ～3月	生涯学習館 3回程度
	若者向け講座	コロナ禍でこもりがちな若い世代が、新しい仲間と出会い交流していく場を作る。	7月	生涯学習館 1回
	IT講座	就労意向や学びなおし意向の高いシニア層がPCを利用しより楽しく活動的な毎日が送れるようサポートする。	10月 ～3月	生涯学習館 3回

高齢者の学習	いちい学級	社会生活における高齢者の在り方、熟年を迎えての生きがいについて学習するとともに新たな時代感覚を磨き健康で好ましい人間関係を醸成する。	5月 ～12月	16回 生涯学習館 公民館
	“岡谷学”講座	岡谷の日本遺産や史跡、自然、産業等を学び、その学びを地域へ還元し、後世へ伝承する人づくりに取り組む。	8月 ～11月	9回程度 生涯学習館
読書活動	読書活動の推進	市立図書館から遠い地区の児童等が公民館図書室を利用することで読書の推進を図る。	通年	公民館
人権教育	人権学習等	人権感覚を磨くとともにあらゆる差別をなくす実践力を培う。	通年	各学級に 取り入れる
共催事業	共催事業	学習グループや活動団体等と共催事業を行うことにより市民参画の場と機会をつくり、学びの場を広げる。	通年	各館
学習成果の発表	ホリディスクエア事業	施設の活性化とともに学習グループ、各種活動団体に発表の場と市民交流の場を提供する。	通年	生涯学習館 動画配信予定
	ロビー展	各学習グループ、一般市民の学習の成果の発表の場を提供し学習意欲の向上を図る。	通年	生涯学習館 館内壁面展示
	文化祭	学習成果の発表の機会として作品展部門、上演部門に関する芸術文化の振興を図るとともに、市民の連携と融和を図る。	10月 ～12月	各館
ボランティア育成	生涯学習活動及びボランティア活性化推進と活用	市民参画型・ボランティア育成型の講座により新しい学習形式を創出し、参加型の学習手法を生かした講座作りを推進し活用を図る。	通年	生涯学習館
学習グループの育成	学習グループの育成	各種学級・講座から発足したグループを育成し、学習活動への参加を通じてグループ相互の交流を図る。	通年	各館
分館活動	分館活動育成	地域に密着した公民館として、各分館に対し活動への助言等を行いながら育成を図る。	通年	公民館
広報	広報活動	インターネット等も活用し、館の活動について広く市民に知らせる。	通年	各館

⑨ 施設

名 称	所在地 ・ 建物	開館年月日等
生涯学習館 (イルフプラザカルチャーセンター)	岡谷市中央町一丁目11番1号 イルフプラザ3階 3,705.76㎡	平成15年3月21日開館
岡谷市湊公民館	岡谷市湊三丁目8番6号 鉄筋コンクリート2階建 585.77㎡	昭和24年12月1日 湊村役場内にて開館 昭和55年1月4日 現在地にて開館
岡谷市川岸公民館	岡谷市川岸中三丁目1番29号 鉄筋コンクリート2階建 733.60㎡	昭和23年4月11日 村の家として使用してきたものを公民館として開館 昭和53年4月1日現在地にて開館
岡谷市長地公民館	岡谷市長地柴宮二丁目15番26号 鉄筋コンクリート2階建 812.91㎡	昭和24年12月 長地村役場内にて開館 昭和56年4月1日 現在地にて開館

生涯学習館(イルフプラザカルチャーセンター)案内図



⑩ 利用案内

1 生涯学習館

- (1) 開館時間 午前9時～午後9時30分
 (2) 休館日 毎月第2火曜日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
 (3) 使用料

使用区分		午前9時から午後9時30分まで1時間につき	
		非営利	営利
生涯学習館	第1研修室、第2研修室	160	480
	第3研修室、第4研修室	110	330
	第5研修室、第6研修室		
	第7研修室	270	810
	第1多目的ホール	420	1,260
	第2多目的ホール	270	810
	調理実習室	520	1,560
	第1和室	270	810
	第2和室	220	660
	第3和室 第4和室	160	480
	第1ダンス・音楽室	630	1,890
	第2ダンス・音楽室		
	音楽スタジオ	220	660
	工作室	160	480
	第1会議室、第2会議室	110	330
	IT研修室	270	810
催事場	890	2,670	
備考	1 冷房及び暖房の設備並びに調理実習室において各テーブルの電気、ガス及び水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。 2 催事場の半面を使用するときの使用料は、その使用料の2分の1の額とする。 3 営利とは、使用者が入場料若しくは受講料金を徴収する場合又は営利目的で使用する場合をいい、非営利とは、営利以外の使用をいう。		

2 公民館

- (1) 開館時間 午前8時30分～午後9時30分（土・日は午前8時30分～午後5時）
 (2) 休館日 国民の祝日に関する法律に規定する休日、
 年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
 (3) 使用料

	午前8時30分から午後9時30分まで1時間につき (円)
岡谷市湊公民館	実習室 160、会議室 270、学習室 320、和室 110、講堂 630

岡谷市川岸公民館	講義室 160、実習室 220、第一会議室 220、第二会議室 160、 学習室 320、和室 110、講堂 840
岡谷市長地公民館	講義室 220、実習室 270、第一会議室 270、第二会議室 320、 学習室 420、和室 160、講堂 890
備 考	<p>1 暖房の燃料を使用し、及び実習室を使用して料理のため電気、ガス又は水道を使用した場合は、上記使用料のほか実費相当額を徴収する。</p> <p>2 使用料の還付は以下のとおりとする。</p> <p>(1) 使用者の責めによらない理由で使用できなくなったとき。100分の100。</p> <p>(2) 使用期日 20 日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の100。</p> <p>(3) 使用期日 10 日前までに使用の取消又は変更を求める申出があったとき。100分の50。</p> <p>(4) 上記のほか、特別な理由があるとき。市長がその都度定める額。</p>

⑩ 利用状況 (令和3年度)

1 生涯学習館

	生涯学習館主催	学習団体	市役所関係	営利団体	非営利団体	その他	合計
件 数	256	1,414	101	855	1,069	149	3,844
人 数	3,782	9,990	673	8,295	8,225	2,010	32,975

2 湊公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件 数	72	245	28	13	4	362
人 数	769	2,126	303	409	44	3,651

3 川岸公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件 数	37	334	55	9	51	486
人 数	458	2,181	485	171	522	3,817

4 長地公民館

	公民館主催	学習団体	社会教育関係団体	市役所関係	その他	合計
件 数	57	742	39	5	512	1,355
人 数	736	8,560	411	78	4,313	14,098

(3) 青少年

① 重点目標

- 1 『おかや子育て憲章』の理念に基づき、「地域の子どもは地域で育てる」ため、子どもと親がともに成長できるよう子育て支援の推進を図る。
- 2 青少年育成関係団体や関係機関と連携・協働し、青少年が健全に成長するための環境づくりの向上に努める。

② 令和4年度重点施策

- 1 二十歳の祝賀式開催事業
- 2 青少年活動育成支援事業
- 3 環境浄化・青少年非行防止活動事業
- 4 塩嶺野外活動センター管理事業

③ 主な事業

1 子ども会育成会活動

- (1) 地域で子どもを育てる中心の組織の岡谷市子ども会育成連絡協議会と協力して、子どもの健全育成のための事業を進める。
- (2) 地区子ども会活動の推進を図るため、地域リーダー育成研修会を行い、指導者の養成に努め、子どもの自主性を図る活動を実施する。
- (3) 中高生ボランティアによる岡谷市リーダーズ倶楽部*を組織して各種事業を企画運営し、参加した小中学生を指導し、協力しながら野外体験活動等を実施する。

※令和4年度岡谷市リーダーズ倶楽部部員数 23名（うち高校生14名）

令和4年度の主な事業

事業名	事業内容	時期・場所（予定）
わんぱくアドベンチャー	年齢の異なる子どもたちが、市外の少年自然の家に宿泊しながら生活し、家庭や普段体験できない活動を通じて仲間づくりをする。	新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮して、開催時期等を検討中。
通学合宿	平日に学校が終わって自宅に帰るのではなく、野外活動施設で年齢の異なる子どもたちが一緒に生活体験をすることにより、仲間づくりや人とのふれあいを深める。	10月中旬 塩嶺野外活動センター
少年スポーツ大会	中学生が地区別対抗のスポーツ大会を通じて、地域の友達とかかわり、仲間意識を養う。	開催について検討中

岡谷市リーダーズ倶楽部活動	中学生・高校生のボランティアグループとして、野外体験活動、奉仕活動などを通じて、地域の小中学生のリーダーとしての自己研鑽、資質の向上を図る。	・「わんぱくアドベンチャー」、「通学合宿」、「クリスマス会」、「新スタッフ研修会」の企画運営 ・各地区行事への協力
地域リーダー育成研修会	“子どもの手による子ども会づくり”の実現に向けて、各地区において子どもたちが中心となって様々な行事が開催できるようにするため、地区子ども会育成会の育成者を対象に研修会を開催する。	6月15日～17日 イルフプラザカルチャーセンター
「子ども会だより」の発行	各地区の子ども会育成会活動の様子などを掲載し、市民に子ども会育成会活動について理解を深めてもらうことを目的として発行する。	令和5年3月 全戸配布

2 夏休み子ども交流事業

姉妹都市の東伊豆町と岡谷市の小学5・6年生が、自然体験や野外活動を通じて交流し、両市町の絆を深めるとともに、子どもたちの協調性や人間性を養う。

平成21年度より隔年で行き来している。

令和4年度は、岡谷市から東伊豆町を訪問する年であるが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせることにした。

3 岡谷市少年愛護センター

(1) 青少年の健全育成及び非行防止を図るため、教育委員会 生涯学習活動センターに設置。

(2) 市長から委嘱された85名の少年愛護委員が市街地等をパトロールして、少年の非行防止や環境浄化活動を行っている。

(3) 令和3年度の愛護パトロール活動状況

実施日数				従事した愛護委員人数				声かけした少年の延べ人数
午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	
3日	28日	45日	76日	9人	80人	127人	216人	53人

4 岡谷市青少年問題協議会

岡谷市青少年問題協議会条例に基づき、青少年の補導、育成、保護及び矯正に関する総合的施策の樹立につき必要な重要事項を調査審議することや、総合的施策の適切な実施を期するために必要な関係行政機関及び関係団体相互の連絡調整を図ることを目的として設置している。

「青少年の健全育成」という同じ目的で活動する関係行政機関や、青少年関係団体相互の情報共有や、課題協議の場とする。

○岡谷市青少年問題協議会委員名簿（任期：令和3年6月1日～令和5年5月31日）

(1) 関係行政機関の職員

氏名	団体名等	備考
上原 孝一	諏訪公共職業安定所岡谷出張所	所長
中島 優一	岡谷警察署 生活安全課	課長
早川 政宏	諏訪地域振興局	副局長
加藤 昌志	諏訪児童相談所	所長
岩本 博行	岡谷市教育委員会	教育長
清水 雅彦	岡谷市社会教育委員の会議	
林 秀昭	岡谷市子ども総合相談センター	センター長

(2) 学識経験者

氏名	団体名等	備考
塚原 真	岡谷市区長会	上浜区
竹村 安弘	岡谷地区保護司会	
今井 千枝	岡谷市民生児童委員協議会	
河西 稔	岡谷市社会福祉協議会	
五味 隆	小学校校長会	岡谷田中小学校
牛山 高彦	中学校校長会	岡谷北部中学校
茶城 啓二	高校校長代表	岡谷東高等学校
濱 佳和	小学校PTA連合会	小井川小学校
古畑 博之	中学校PTA連合会	岡谷南部中学校
原 秀和	高校PTA連合会	岡谷南高等学校
藤森 誠	岡谷市子ども会育成連絡協議会	
佐々木 るり子	岡谷市女性団体連絡協議会	ガールスカウト長野県第10団
鮎澤 要一	岡谷市少年愛護協議会	
宮坂 宏子	公益財団法人 岡谷市スポーツ協会	
中島 るみ子	岡谷市更生保護女性会	
両角 陽子	岡谷少年警察ボランティア協会	
中嶋 智	岡谷労務対策協議会	
丸山 英之	岡谷市保育園保護者会連合会	
川瀬 勝敏	児童養護施設 つつじが丘学園	

5 成人式開催事業

期 日： 令和4年1月9日（日）（*成人の日の前日、日曜日）

会 場： 岡谷市文化会館（カノラホール）

対 象： 平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた人で本人又は親等が
市内に在住する人

対 象 人 数	参 加 人 数	参 加 率
541 人	354 人	65.4%

6 二十歳の祝賀式開催事業

期 日： 令和5年1月8日（日）（*成人の日の前日、日曜日）

会 場： 岡谷市文化会館（カノラホール）

対 象： 平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人で本人又は親等が
市内に在住する人

7 岡谷市塩嶺野外活動センター

来館者が、自然の中での野外活動や宿泊活動を通じて、豊かな情操と心身の健全育成を図るための「生涯学習施設」として運営している。

また、キャンプ場やマレットゴルフコースなどは、市外、県外からの利用者も多く、自然に親しむことで心身のリフレッシュを図る「レクリエーション施設」としても利用されている。

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響でコロナ禍以前と比べて利用者は減少しているが、ソロキャンプなど野外活動が注目されている中で、今後一層の利用促進を図る。

【施設概要】

名 称	岡谷市塩嶺野外活動センター（開設期間：5月1日～10月31日）	
位 置	岡谷市 10016 番地 1	
概 要	センターハウス	着工：昭和56年2月 竣工：昭和56年7月
	シャワー棟	着工：平成3年5月1日 竣工：平成3年7月2日
構造及び 使用区分	センターハウス	構造 鉄筋コンクリート造り2階建 1階 事務室、ホール、広間、和室、管理人室、炊事室、物置、便所（男・女） 2階 広間1、和室2、物置、便所（男・女） シャワー棟 鉄筋コンクリート造り平屋建
	炊事場	構造 木造平屋建
	屋外便所	構造 木造平屋建2棟
	その他	キャンプ場、広場、マレットゴルフコース18ホール
	床面積	センターハウス
	炊事場	48.60㎡
	屋外便所	29.64㎡
	倉庫	32.40㎡

【使用料金体系】

区 分		市内高校生 以下	市外高校生 以下	市内 一般	市外 一般
センターハウス使用料	1人日帰り	無 料	220 円	320 円	520 円
	1人1泊	無 料	1,570 円	1,570 円	2,100 円
キャンプ場 使 用 料	日帰りキャンプ	1 日	520 円（10 人まで）※1		
	宿泊キャンプ	1 泊1 張	780 円※2		
	※1 日帰りキャンプで、10 人を超えて使用する場合は、10 人増すごとに 520 円を 加算する。 ※2 貸出用テントを使用する場合は、上記金額にそれぞれ 1 張 780 円を加算する。				
シーツ等使用実費	1 人	220 円			
シャワー使用実費	1 回	110 円			

(4) 図書館

① 重点目標

- 1 市民及び地域住民の読書活動の支援・推進
- 2 適切な資料の収集及び活用と情報の提供
- 3 誰もが利用しやすい図書館運営

② 令和4年度重点施策

- 1 コロナ禍に対応した読書活動の工夫
- 2 図書館活用の促進
- 3 第3次岡谷市子ども読書活動推進計画の推進
- 4 郷土資料及び視聴覚資料の充実
- 5 読書活動ボランティア団体、地元企業との協働

③ 施設

- 1 名称 市立岡谷図書館
- 2 所在地 岡谷市本町四丁目1番39号
- 3 開設 昭和20年4月1日（昭和54年9月8日現在地で開館）
- 4 建物 鉄筋コンクリート2階建一部地階
敷地面積 4,090.22㎡
建築面積 1,199.04㎡ 延床面積 1,942.71㎡

④ 利用案内

- 1 休館日
 - (1) 月曜日。ただし、この日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときを除く。
 - (2) 休日の翌日。ただし、この日が休日、土曜日又は日曜日に当たるときを除く。
 - (3) 年末、年始（12月28日から翌年1月3日まで）
 - (4) 特別整理期間（9月1日から10月31日までのうち10日間）
 - (5) 資料整理日（毎月最後の金曜日。ただし、この日が休日に当たるときは、その前日）
- 2 開館時間 午前10時～午後7時
- 3 館内閲覧 開架式（自由選択）
- 4 館外閲覧 図書（録音資料も含む）は10点以内、映像資料3点以内 貸出期間2週間
- 5 インターネットによるサービス
 - (1) 諏訪地方公共図書館情報ネットワーク“すわズラ〜”による本の検索及び予約
 - (2) 公式ツイッターによる情報発信

⑤ 蔵書冊数等

総蔵書冊数 234,081冊

分類別蔵書冊数、受入及び除籍冊数 ※ () 内の数字は寄贈数 (令和4年3月31日現在)

分類	蔵書冊数		令和3年度受入冊数		除籍冊数
	冊	構成比 %	冊	構成比 %	
0 総記	4,935	2.8	106 (8)	2.6	24
1 哲学	5,761	3.3	98 (9)	2.4	205
2 歴史	14,597	8.3	295 (11)	7.1	114
3 社会科学	20,723	11.8	479 (31)	11.6	61
4 自然科学	7,423	4.2	259 (19)	6.3	251
5 技術	7,295	4.2	236 (15)	5.7	257
6 産業	4,523	2.6	92 (6)	2.2	14
7 芸術	11,874	6.8	350 (16)	8.5	244
8 言語	1,820	1.0	49 (2)	1.2	1
9 文学	43,608	24.9	679 (77)	16.4	204
外国語	32	0.0	3 (3)	0.1	0
大活字	691	0.4	0 (0)	0.0	0
コミック	2,823	1.6	47 (22)	1.1	83
児童	49,354	28.1	1,438 (86)	34.8	512
小計	175,459	100.0	4,131 (305)	100.0	1,970
団体貸出用	4,068		1		166
公民館図書室	20,681		426		999
紙芝居	1,269		6		0
保育園・幼稚園 親子文庫	32,604		768		0
合計	234,081		5,332 (305)		3,135

再掲 (内書)	区分	蔵書冊数	令和3年度受入冊数	除籍冊数
	郷土	16,994 冊	240(158) 冊	10 冊
	点字	631 冊	0 冊	0 冊
	洋書	1,705 冊	3 冊	0 冊
	地区公民館図書室	蔵書冊数	令和3年度受入冊数	除籍冊数
	湊 公民館	6,925 冊	140 冊	315 冊
	川岸 "	5,732 冊	141 冊	511 冊
	長地 "	8,024 冊	145 冊	173 冊
	合計	20,681 冊	426 冊	999 冊

⑥ 利用状況(令和3年度)

1 館外貸出利用状況

区 分	貸出冊数		利用者別貸出冊数		登録者数	
		内児童図書	中学生以上	児 童		内児童
	冊	冊	冊	冊	人	人
本 館 計	179,071	72,499	146,793	32,278	31,996	1,540
個人貸出	159,426	66,473	127,148	32,278		
団体貸出	5,082	3,005	5,082			
相互貸借	14,563	3,021	14,563			
湊 公民館	1,698	1,689	813	885	529	59
川岸公民館	3,151	3,079	1,599	1,552	753	58
長地公民館	5,227	5,112	1,477	3,750	782	92
保育園幼稚 園親子文庫	19,791	19,791	3,409	16,382	—	—
合 計	208,938	102,170	154,091	54,847	34,060	1,749

※ 個人貸出の内、視聴覚資料利用数 5,026点

(内訳：ビデオ 37点、DVD 3,782点、カセット 68点、CD 1,139点)

※ 保育園幼稚園親子文庫：市内全保育園・幼稚園の親子文庫へ絵本を配本している。

2 団体貸出利用状況(本館)

区 分	回 数	貸出冊数	区 分	回 数	貸出冊数
学校・学級文庫	—	4,865 冊	工業振興課	2 回	14 冊
保育園・幼稚園(3園)	9 回	109 冊	国際交流センター	1 回	2 冊
読み聞かせボランティア 団体(2団体)	3 回	6 冊	つつじが丘学園	1 回	13 冊
イルフ童画館	2 回	10 冊	花田養護学校	1 回	7 冊
蚕糸博物館	5 回	23 冊	諏訪湖畔病院	3 回	24 冊
美術考古館	1 回	4 冊	リゼ岡谷	2 回	5 冊
			合 計		5,082 冊

・学校図書館との連携(岡谷図書館ポスト・教職員リクエスト)利用状況

①小学校 944冊(返却数:650冊、リクエスト:294冊) (単位:冊)

小学校	川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原	計
返却	34	33	33	234	36	16	264	650
リクエスト	6	14	40	112	36	22	64	294
計	40	47	73	346	72	38	328	944

②中学校 455冊(返却数:290冊、リクエスト:165冊) (単位:冊)

中学校	岡谷西部	岡谷北部	岡谷南部	岡谷東部	計
返却	120	60	11	99	290
リクエスト	120	6	3	36	165
計	240	66	14	135	455

・学級文庫「おかやとしょかんアネックス」利用状況

配架学級数 31

※令和4年3月1日から上の原小学校3～6年全学級へ拡充

・貸出冊数 3,720冊

(単位：冊)

小学校	川岸	神明	小井川	岡谷田中	湊	長地	上の原
アネックス	600	720	480	360	420	720	420

3 相互貸借内訳

図書館名	貸出	借受	図書館名	貸出	借受
諏訪市図書館	4,026冊	3,823冊	富士見町立図書館	1,921冊	3,061冊
信州風樹文庫	1,149冊	22冊	原村図書館	1,755冊	2,052冊
茅野市図書館	3,293冊	2,405冊	(諏訪地域以外)	62冊	94冊
下諏訪町立図書館	2,354冊	2,746冊	県内図書館		
			県外図書館	3冊	25冊
			合計	14,563冊	14,228冊

⑦ 令和4年度事業概要

事業・行事名	期間または回数	内容
おはなしの森	毎週土曜日	読書活動ボランティア・図書館職員による語り、絵本の読み聞かせ、紙芝居等
ちいさなおはなしの森	毎月第3火曜日	図書館職員による乳幼児向けの絵本の読み聞かせ、パネルシアター、手遊び等
日曜日のちいさなおはなしの森	6/26 8/28 10/23 2/26	読書活動ボランティア・図書館職員による語り、絵本の読み聞かせ、紙芝居等
夏休み特集おはなしの森	8/3	戦争の絵本の読み聞かせ、諏訪地方の伝説民話
こわ〜いおはなしの森	8/6	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
クリスマス特集おはなしの森	12/24	絵本の読み聞かせ、パネルシアター等
ぬいぐるみのおとまり会	11/19～11/20	お気に入りのぬいぐるみによる図書館宿泊、お話し会、図書館探検等
としょかん子ども読書まつり	10/29	「文化の日」に近い日曜日に、岡谷の子どもたちが本とふれあい、親しむ場を設ける
子ども工作教室(夏・冬休み)	7/30 2/25	図書館の本を教材とした工作等
としょかんキッズ・職場体験 (図書館職員体験)	随時	小学校4年生～高校生による図書館職員体験
ポポーキッズ(こども読書活動 ボランティア養成事業)	随時	読書活動ボランティア団体「おはなしだいすきポポーの木」による一般公募した児童及び生徒へ伝授する養成事業。としょかんキッズ連携事業。

ファーストブックプレゼント事業	毎月	9～10か月児健診時に絵本をプレゼント
ファーストチョイス（セカンドブック）事業	毎月・随時	3歳児健診時に引換券を配布し、オリジナル図書館利用カードにより本を借りる体験に繋げる
うち読でエコ読	通年	毎月第3日曜日（家庭の日）を「うち読でエコ読の日」として家庭でテレビ等を消して読書の時間をつくり、読書を通じて家族のコミュニケーションを図る取り組みの提唱
学校図書館との連携	随時	市内小中学校に「市立図書館ポスト」を設置し市立図書館で借りた本を学校図書館で返却できる物流ルート。学校教職員からのリクエストや、市内1・2年生の全学級に学級文庫として「おかやとしょかんアネックス」を設置し、児童・生徒が本を身近に感じられる環境の整備
はつらつ来（らい）ぶらり講座	随時	高齢者の図書館利用を促進するため、シニア世代の関心が高い図書コーナー設置や図書館利用講座等を開催
まちかど図書館	通年	市民から受けた寄贈本や、図書館のリサイクル図書を市内公共施設等に置き、いつでもどこでも本が身近にある読書によるまちづくりを推進
図書館 de 講座	4/29～5/26 5/28～6/23 5/28～6/23 6/25～7/28 7/30～8/25 8/27～9/29 8/27～9/29 8/27～9/29 8/27～9/29 10/1～10/27 10/29～11/23 2/25～3/30	各課との連携による特設コーナーの設置 ・2050年ゼロカーボンシティ宣言（環境課） ・食育月間（健康推進課） ・男女共同参画週間（地域創生推進課） ・岡谷市防災の日（危機管理室） ・道路ふれあい月間（土木課） ・水道週間・下水道の日（水道課） ・健康増進月間・食生活改善普及運動 （健康推進課） ・自殺予防週間（健康推進課） ・世界アルツハイマー月間（介護福祉課） ・里親月間・里親の日（子ども課） ・児童虐待防止推進月間（子ども課） ・自殺対策強化月間（健康推進課）

関係団体事業	(読書サークル協議会)		
	リサイクル本配布事業	9/25 (予定)	除籍本をリサイクルし、市民に提供
	(おはなしだいすきポポーの木)		
	読み聞かせ講座	R5. 1. 28 (土)	著名な絵本作家などによる講演会 ・講師 ささめや ゆき 先生

(5) 美術考古館

① 重点目標

- 1 美術作品及び考古資料等の展示及び案内の充実
- 2 ワークショップの開催等による学習活動の推進
- 3 学校との連携・利用促進
- 4 市民ギャラリー・交流ひろば等の利用促進
- 5 資料の収集・整理・保存・調査研究・活用
- 6 施設の適切な維持と管理
- 7 周辺文化施設や商店街等との連携

② 令和4年度重点施策

- 1 美術特別企画展 「生誕140年 宮坂巴堂展」
「暮らしを彩る小さな作品展」
「辰野清写真展」
- 2 考古企画展 「上向B遺跡速報展」
「岡屋考古館60周年関連展示」
「弥生関連展示」
- 3 アーティスト育成展
- 4 館長による体験的絵画教室及び魅力あるワークショップ
- 5 縄文時代復元家屋の活用
- 6 収蔵美術作品の公開展示
- 7 「岡谷市内小学校児童版画展」など学校と連携した企画展の開催
- 8 きつね祭り等の周辺文化施設や商店街と連携したイベントへの参加

③ 施設

市立岡谷美術考古館

所在地	岡谷市中央町一丁目9番8号
開館年月日	昭和45年11月3日
建物	鉄筋コンクリート3階建 1,238.85㎡
備考	昭和47年12月1日 登録博物館として県教育委員会登録 平成25年11月3日 現在地に移転・開館

④ 利用案内

- 1 休館日 水曜日、国民の祝日の翌日（ただし、この日が休日にあたるときは開館する）
年末年始（12月29日～1月3日）
- 2 開館時間 午前10時～午後6時
- 3 入館料 一般おとな（高校生以上） 370円 こども（小中学生） 160円
団体（10名以上）おとな 260円 団体こども 110円
ただし、特別企画展開催中は特別料金
共通入館料（美術考古館、イルフ童画館、蚕糸博物館、旧林家住宅、旧渡辺家住宅）

区分	2館共通券	3館共通券	5館共通券
一般	660円	920円	1,120円
高校生	610円	710円	920円
中学生	310円	510円	610円
小学生	310円	360円	410円

年間券（おとな） 1,050円

ただし、諏訪6市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料

⑤ 資料（令和4年4月1日現在）

1 美術関係資料

作家名	石膏	セメント	大理石	ブロンズ	木彫	テラコッタ	調製用年度	デッサン	日本画	油彩画	水彩画	水墨画	中国画	工芸	書	版画	複製画	造形資料	刀剣	その他	計	
武井直也	50	1	6	58		1		1		3											120	
武井 斌	12		1	12	1			1														27
小口節三	9			10	1	1																21
清水多嘉示				8				1														9
大和作内				2																		2
北村西望				1																		1
洞沢今朝夫					1																	1
高橋貞一郎								1		17												18
高橋靖夫								3		35												38
山田郁夫								3			18											21
宮原麗子								4		24												28
宮原むつ美										6												6
杉原元人									1													1
伝狩野芳崖									1													1
宮坂巴堂									1													1
岸竹堂									1													1
安藤耕斎									1													1
川崎春彦									1													1
花岡哲象									13													13
野村千春										129												129
田中隆夫										23												23
織田昇								1		46												47
志村一男										9												9
篠原昭登										2												2
中村一郎										2												2
西岡瑞穂										1												1
堀内唯生										29												29
松井 緑										1												1
辰野登恵子								1		3						10						14
宮坂昭吉										4												4
小平 鼎										12												12
東郷青児										1												1
早出守雄											30											30

2 考古関係資料

種 類	縄文時代	弥生時代	古墳時代以降	計
	点	点	点	点
土 器	1,706	759	2,543	5,008
土 製 品	1,136	95	579	1,810
石 器	16,043	465	33	16,541
金 属 器	0	9	853	862
レ プ リ カ	2	0	0	2
計	18,887	1,328	4,008	24,223

・八幡一郎関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数	種 類	点 数
著 書	96	歴 史 一 般	92	美 術	26
考 古	121	遺 跡 地 図	48	雑 誌 類	132
民 族	154	辞 典 類	119	そ の 他	120
民 俗	60	報 告 書	56	計	1,024

3 民俗関係資料

種 類	点 数	種 類	点 数
衣 ・ 食 ・ 住	920	民 俗 知 識	88
生 産 生 業	383	民 俗 ・ 芸 能 ・ 娯 楽 ・ 遊 戯	87
交 通 ・ 運 輸 ・ 通 信	59	人 の 一 生 (通 過 儀 礼)	18
交 易	78	年 中 行 事	10
社 会 生 活	48	そ の 他	45
信 仰	12	計	1,748

⑥ 利用状況 (令和3年度)

1 全入館者数 (開館日数 274日)

※令和3年4月1日～令和4年3月31日

個 人		団 体		年間券 (販売数)	共通券	減 免 割 引 入 館 者	小中学生 等 無 料 入 館 者	入 館 者 合 計	入 館 料 合 計
高校生 以 上	小中学生	高校生 以 上	小中学生						
人	人	人	人	人	人	人	人	人	円
1,652	64	24	70	391 (15)	281 (180)	983	3,970	7,435	972,310

⑦ 令和4年度 主要事業

事業名	事業概要	実施月日等
美術考古館 管理事業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術考古館の管理運営 ・美術考古関係発刊図書の販売・ミュージアムグッズの販売 ・岡谷美術考古館だよりの発刊 ・美術・考古資料の整理・保存・調査研究・活用 ・地元出身作家等の作品の収集 ・周辺文化施設や商店街等との連携 	年間
学習事業	<ul style="list-style-type: none"> ・体験学習スペースでの考古体験 ・美術・考古に気軽に触れるワークショップの開催 ・展示室見学の際の展示解説などの学習支援 ・縄文時代復元家屋の活用 	ワークショップは定員を 絞って開催
展示事業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術展示 <ul style="list-style-type: none"> 収蔵作品展Ⅰ「宮原麗子回顧展」 収蔵作品展Ⅱ ・交流ひろば展示 <ul style="list-style-type: none"> 「小さくてもいいじゃないかーみんなの0号作品展」 収蔵作家、収蔵作品紹介 ・考古展示 <ul style="list-style-type: none"> 縄文時代から平安時代までの通史展示 国重要文化財顔面把手付深鉢形土器・岡谷市指定文化財 壺を持つ妊婦土偶など ・アーティスト育成展示 	5月26日～8月7日 3月上旬～5月上旬 10月27日～12月25日 随時 年間 2月25日～3月26日
企画展等開催 事業	<ul style="list-style-type: none"> ・美術特別企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「生誕140年 宮坂巴堂展」 「暮らしを彩る小さな作品展」 「辰野清写真展」 ・考古企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「上向B遺跡出土展」 「弥生関連展示」 「岡屋考古館60周年関連展示」 ・美術企画展 <ul style="list-style-type: none"> 「岡谷市内小学校児童版画展」 	8月11日～10月23日 10月27日～12月25日 1月7日～3月5日 1月22日～2月19日

(6) 文化財

① 重点目標

国・長野県・岡谷市から指定された文化財の保護と活用

② 令和4年度重点施策

- 1 常時一般公開を行っている製糸関連文化施設である旧林家住宅について、来館者の安全性や良好な保存管理が危惧される箇所への応急修繕を引き続き行う。
- 2 個人住宅等小規模開発事業に先立つ遺跡の試掘、発掘調査による埋蔵文化財の保護と保存。
- 3 旧渡辺家住宅及び旧山一林組製糸事務所の管理事業。

③ 岡谷市文化財保護審議会委員

会 長 宮坂 正博 職務代理 熊澤 祥吉

(令和4年4月1日)

氏 名	就任年月日	任 期
宮坂 正博	令和 4. 4. 1	令和 6. 3. 31
熊澤 祥吉	令和 4. 4. 1	令和 6. 3. 31
武居 薫	令和 4. 4. 1	令和 6. 3. 31
宮坂 春夫	令和 4. 4. 1	令和 6. 3. 31
味澤 宏重	令和 4. 4. 1	令和 6. 3. 31
向山 伊保江	令和 4. 4. 1	令和 6. 3. 31

④ 施設

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧渡辺家住宅	岡谷市長地柴宮三丁目 8-40	平成 3. 9. 8

- 1 休館日 月・木・金曜日、11月4日から翌年の3月19日まで
- 2 入館料 ・一般高校生以上 320 円、小中学生 160 円、
高校生以上の団体（10人以上）220 円
小中学生 110 円。ただし、諏訪6市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料。
・共通入館券（旧渡辺家住宅、旧林家住宅、岡谷美術考古館、岡谷蚕糸博物館、イルフ童画館）
- 5館入館券 一般 1,120 円、高校生 920 円、
中学生 610 円、小学生 410 円
- 3館入館券 一般 920 円、高校生 710 円、
中学生 510 円、小学生 360 円
- 2館入館券 一般 660 円、高校生 610 円、
中学生 310 円、小学生 310 円

名 称	所 在 地	開 館 年 月 日
旧林家住宅	岡谷市御倉町 2-20	平成 6. 4. 21

- 1 休館日 水曜日、国民の祝日の翌日（ただし、この日が休日にあたる時は開館する）、年末年始（12月29日～1月3日）冬期間（11月4日から3月31日までの平日）
- 2 入館料 ・一般高校生以上 580 円、小中学生 270 円、
高校生以上の団体（10人以上）370 円
小中学生 110 円。ただし、諏訪6市町村在住又は在学の小中学生、市内在住又は在学の高校生は無料。
・共通入館券（旧渡辺家住宅に同じ）

⑤ 岡谷市内の指定・登録・認定等文化財

1 指定・登録文化財件数

	有形文化財								無形民俗文化財	有形民俗文化財	史跡	天然記念物	計
	仏像	木喰作品	石造物	絵画	建造物	古文書類	工芸	考古資料					
国指定文化財					1			1			1		3
国登録有形文化財					24								24
県指定文化財	2				1			1	1	1			6
市指定文化財	25	34	5	1	13	2	3	8			11	18	120

2 国指定文化財

No.	名称	所有者 管理者	所在地・遺構及び形式	指定年月日
1	国指定史跡 なしくぼ遺跡 梨久保遺跡	岡谷市教育委員会	長地梨久保二丁目 縄文時代	昭和 59. 1. 11
2	国指定重要文化財 がめんとつてつきふかばちがたどき 顔面把手付深鉢形土器	市立岡谷美術考古館	中央町一丁目 9-8 縄文時代	平成 元. 6. 12
3	国指定重要文化財 旧林家住宅 主屋	岡谷市教育委員会	御倉町 2-20 明治時代 木造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 219. 03 m ²	平成 14. 12. 26
	国指定重要文化財 旧林家住宅 離れ	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 269. 07 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 洋館	〃	御倉町 2-20 明治時代 木造、鉄板葺 建築面積 84. 46 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 うちぐらこくぐら 内蔵穀蔵及び味噌蔵	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 81. 14 m ²	〃
	国指定重要文化財 旧林家住宅 外蔵	〃	御倉町 2-20 明治時代 土蔵造 2 階建、棧瓦葺 建築面積 129. 62 m ²	〃
	附・板絵図 2 枚・平面図 (明治 41 年 5 月調製) 1 枚	〃	御倉町 2-20	〃

3 国登録有形文化財

No.	名称	所在地	所有者 管理者	構造及び形式	登録告示年月日
1	中央印刷社屋 (旧片倉組事務所)	川岸上一丁目 1-20	中央印刷 株式会社	木造2階建、銅板葺建築 面積 335 m ²	平成 8. 12. 26
2	片倉家住宅主屋 ^{おもや}	川岸上一丁目 21-6	片倉工業 株式会社	木造平屋建、茅葺 建築面積 215 m ²	平成 11. 7. 21
3	片倉家住宅西の蔵	〃	〃	土蔵造2階建、金属板葺 建築面積 25 m ²	〃
4	片倉家住宅味噌蔵	〃	〃	土蔵造2階建、金属板葺 建築面積 19 m ²	〃
5	片倉家住宅南の蔵	〃	〃	土蔵造2階建、金属板葺 建築面積 29 m ²	〃
6	片倉家住宅文庫蔵	〃	〃	土蔵造3階建、鉄板葺 建築面積 65 m ²	〃
7	今井家住宅主屋 ^{おもや}	今井 1832	個人	木造平屋建、鉄板(板葺) 建築面積 449. 98 m ²	平成 11. 10. 28
8	今井家住宅文庫蔵	〃	〃	木造土蔵造2階建、石葺 建築面積 33. 05 m ²	〃
9	今井家住宅米蔵	〃	〃	木造土蔵造2階建、石葺 建築面積 33. 05 m ²	〃
10	今井家住宅木蔵 ^{まぐら}	〃	〃	木造土蔵造2階建、鉄板葺 建築面積 46. 28 m ²	〃
11	今井家住宅板蔵	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺建築 面積 64. 46 m ²	〃
12	今井家住宅水車小屋	〃	〃	木造平屋建、 建築面積 7. 30 m ²	〃
13	今井家住宅表門	〃	〃	木造、銅板葺間口 5. 10m、 奥行 0. 8m	〃
14	今井家住宅中門	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺(土塀 付)間口 2. 05m、 奥行 0. 8m	〃
15	今井家住宅木小屋	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺建築 面積 39. 95 m ²	〃
16	今井家住宅井戸	〃	〃	石積深さ 6m、木造上屋鉄 板葺、建築面積 0. 74 m ²	〃
17	今井家住宅屋敷神 ^{やしきがみ}	〃	〃	木造平屋建、鉄板葺社殿 建築面積 1. 13 m ²	〃
18	旧岡谷上水道集水溝 ^{しゅうすいこう}	山手町 3-4071-口	(宗)十五社	石造り幅 4. 0m、 高さ 3. 0m、奥行 19. 0m	平成 15. 4. 8
19	旧山一林組製糸事務所	中央町 1-13-17	岡谷市教 育委員会	木造2階建、瓦葺 建築面積 316 m ²	平成 17. 2. 28
20	旧山一林組製糸守衛所	〃	〃	木造平屋建、亜鉛メッキ鋼 板葺 建築面積 14 m ²	〃

21	旧岡谷市役所庁舎	幸町 8-1	岡谷市	鉄筋コンクリート造 2 階 建瓦葺 建築面積 792 m ²	〃
22	小口家別邸 「雀龍庵」主屋	銀座 2-4-3	個人	木造 2 階建切妻瓦葺建築 面積 231 m ²	平成 23. 10. 28
23	小口家別邸 「雀龍庵」土蔵	〃	〃	木造 2 階建切妻瓦葺建築 面積 66. 10 m ²	〃
24	日本聖公会中部教区 岡谷聖バルナバ教会	本町 4-4840-2	日本聖公会 中部教区	木造平屋一部 2 階建金属板 葺建築面積 121 m ²	平成 31. 3. 29

4 長野県指定長野県宝

No.	名称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	旧渡辺家住宅	長地柴宮三丁目 8-40	岡谷市教育委員会	平成 5. 8. 12
2	木造阿弥陀如来坐像	長地柴宮三丁目 3-22	平福寺	平成 8. 9. 9
3	木造大日如来坐像 (胎蔵界)	本町二丁目 6-43	照光寺	平成 17. 9. 26
4	信州の特色ある縄文土器 (19 点)			
①	榎垣外遺跡 顔面把手付深鉢形土器	岡谷市中央町 1-9-8	市立岡谷美術考古館	平成 30. 9. 27
②	目切遺跡 顔面把手付深鉢形土器	〃	〃	〃
③	梨久保遺跡 顔面装飾付鉢形土器	〃	〃	〃
④	目切遺跡 顔面装飾付釣手土器	〃	〃	〃
⑤	海戸遺跡 釣手土器	〃	〃	〃
⑥	花上寺遺跡 有孔鏝付土器	〃	〃	〃
⑦	目切遺跡 抽象絵画文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑧	海戸遺跡 褶曲文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑨	海戸遺跡 X字状把手付深鉢形土器	〃	〃	〃
⑩	梨久保遺跡 抽象絵画文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑪	梨久保遺跡 抽象絵画文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑫	梨久保遺跡 抽象絵画文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑬	目切遺跡 櫛形文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑭	目切遺跡 櫛形文深鉢形土器	〃	〃	〃

⑮	花上寺遺跡 裝飾絵画文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑯	梨久保遺跡 裝飾絵画文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑰	梨久保遺跡 裝飾絵画文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑱	花上寺遺跡 楡形文深鉢形土器	〃	〃	〃
⑲	目切遺跡 楡形文深鉢形土器	〃	〃	〃

5 長野県指定有形民俗文化財（蚕糸資料コレクション昭和41年3月17日県宝指定）

種類	種	点	種類	種	点	種類	種	点	種類	種	点
繰糸器械類	18	21	生糸検査用器具	27	27	その他の器具	27	27	印・版木類	3	66
揚返器具	7	8	計量器類	22	53	鑑札類	13	13			
繰糸器具部品	54	204	荷造器具	7	8	標本類	14	15	計	192	442

市立岡谷蚕糸博物館所蔵

6 長野県指定無形民俗文化財

No.	名称	所在地	保存団体の住所及び名称	指定年月日
1	諏訪大社の御柱祭り	岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村	諏訪市大字中洲宮山1 諏訪大社上社内 諏訪郡下諏訪町 5828 諏訪大社下社内 諏訪大社式年造営御柱大祭保存会	平成 6. 8. 15

7 岡谷市指定有形文化財

(1) 仏像

No.	名称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造大日如来坐像（金剛界）	正徳3年（1713年）	本町二丁目6-43	照光寺	昭和 51. 3. 15
2	厨子入木造千手観音・不動明王・多聞天立像	不明	〃	〃	〃
3	木造弘法大師坐像	〃	〃	〃	〃
4	木造仁王立像（阿・吽）	〃	〃	〃	〃
5	木造聖観音立像	〃	川岸西二丁目6	新倉区	〃
6	木造毘沙門天立像	室町時代	川岸西二丁目7	〃	〃
7	木造十一面観音坐像	永正3年（1506年）	湊四丁目15-22	龍光山観音院	〃
8	木造大日如来坐像（金剛界）	不明	長地小萩一丁目19-9	真秀寺	〃
9	木造不動明王坐像	〃	〃	〃	〃

10	木造大日如来坐像 (金剛界)	〃	長地柴宮三丁目 3-22	平福寺	〃
11	木造十一面観音立像	〃	〃	〃	〃
12	木造聖観音坐像	江戸初期	今井上の原 38-1	今井観音堂	昭和 60. 6. 4
13	木造興教大師坐像	室町時代	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
14	木造大日如来坐像	〃	東銀座一丁目 14-2	小井川区	〃
15	木造阿弥陀如来立像	江戸初期	堀ノ内二丁目 7-22	広円寺	〃
16	木造寶頭盧尊者坐像	室町時代	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
17	木造阿弥陀如来坐像	〃	川岸上二丁目 6-6	真福寺	〃
18	木造十一面観音坐像	江戸初期	川岸東四丁目 16-5	昌福寺	〃
19	木造日光菩薩立像	室町時代	長地柴宮三丁目 3-22	平福寺	〃
20	木造月光菩薩立像	〃	〃	〃	〃
21	木造清涼大師坐像	江戸前期	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	〃
22	石造佉羅陀山地蔵菩薩坐像	文政 10 年 (1827 年)	本町二丁目 6-43	照光寺	昭和 61. 9. 4
23	石造釈迦三尊仏	慶応 4 年 (1868 年)	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	平成元. 6. 22
24	石造西国三十三所観音	慶応 4 年 (1868 年)	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	平成元. 6. 22
25	木造馬鳴菩薩坐像 附 馬鳴大菩薩尊像 板下画料領収書 1 枚	昭和 9 年 (1934 年)	本町二丁目 6-43	照光寺	平成 23. 5. 9

(2) 木喰作品

No.	名称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	木造吉祥天女坐像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	昭和 43. 4. 1
2	木造大黒天坐像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	昭和 43. 4. 1
3	木造阿弥陀如来坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	—	個人	〃
4	木造西宮大神宮恵比須坐像	〃	—	個人	〃
5	木造地藏菩薩立像	享和 2 年頃 (1802 年)	—	個人	〃
6	木造南無大師遍照金剛坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	—	個人	〃
7	木造文珠菩薩坐像	文化 3 年頃 (1806 年)	中央町一丁目 9-8	個人 市立岡谷美術考古館	〃

8	木造南無大師遍照金剛坐像 <small>なむだいにんじょうこんごう</small>	享和2年 (1802年)	—	個人	〃
9	米寿の軸 <small>べいじゆ</small>	文化2年 (1805年)	—	個人	〃
10	丸心の軸 <small>まるしん</small>	文化3年頃 (1806年)	—	個人	〃
11	年徳の軸 <small>ねんとく</small>	文化2年 (1805年)	—	個人	〃
12	御廻国中御宿控帳 <small>ごかいこくちゆうおんやどひかえちよう</small>	文政年間	—	個人	〃
13	木造拝滝不動明王坐像 <small>はいたきふどうみょうおう</small>	文化3年頃 (1806年)	長地鎮二丁目 19-18	中屋区 市立岡谷美術考古館	〃
14	木造拝滝不動尊坐像 <small>はいたきふどうそん</small>	享和2年 (1802年)	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
15	木造薬師如来坐像	文化3年 (1806年)	中央町二丁目 13-8	上浜区	〃
16	大日如来軸	文化4年 (1807年)	本町二丁目 6-43	照光寺	昭和51.3.15
17	木造大日如来坐像	文化3年 (1806年)	—	個人	〃
18	名号軸 <small>みょうごう</small>	文化3年 (1806年)	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術考古館	昭和51.3.15
19	年徳軸 <small>ねんとく</small>	文化4年 (1807年)	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術考古館	〃
20	大峯三社大権現軸 <small>おおみねさんしゃだいごんげん</small>	享和2年 (1802年)	—	個人	〃
21	九字の宝号軸 <small>くじ ほうごう</small>	文化4年 (1807年)	—	個人	〃
22	諸仏の軸 <small>しよぶつ</small>	〃	—	個人	〃
23	御獄座王大権現軸 <small>おんたけざ おうだいごんげん</small>	享和2年 (1802年)	—	個人	〃
24	不動明王付属文書不動尊供殿勅化帳 <small>ふどうみょうおう ぶどうそんくうでんけんげちよう</small>	天保2年 (1831年)	—	個人	〃
25	五智如来軸 <small>ごちにょらい</small>	文化4年 (1807年)	—	個人	〃
26	三社大権現軸 <small>さんしゃだいごんげん</small>	文化4年 (1807年)	—	個人	〃
27	名号軸 <small>みょうごう</small>	文化4年 (1807年)	—	個人	〃
28	通力自在不動明王石碑 <small>つうりきじざいふどうみょうおうせきひ</small>	享和元年 (1801年)	山下町二丁目11	間下区	〃
29	通力自在不動明王石碑 付属文書 通力自在不動明王石碑 建立扣 <small>つうりきじざいふどうみょうおうせきひ つうりきじざいふどうみょうおうせきひ こんりゅうひかえ</small>	〃	—	個人	〃
30	三点具足阿字軸 <small>さんそくあじ</small>	文化4年 (1807年)	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術考古館	〃
31	諸神の軸 <small>しよしん</small>	〃	—	個人	〃

32	木造寶頭盧尊者像	〃	長地梨久保二丁目 8-32	中村区	〃
33	寶頭盧尊者像付属文書 寶頭盧尊者建立入用帳	〃	〃	〃	〃
34	五点阿字軸	〃	本町二丁目 6-43	照光寺	〃

(3) 石造物

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	宗平寺跡の板碑	不明	加茂町四丁目	小井川区	昭和 42. 3. 6
2	永田徳本の藍塔	不明	—	個人	昭和 42. 3. 6
3	沢の石幢	承応 4 年 (1655 年)	川岸西一丁目 (新倉・沢)	新倉区	平成元. 6. 22
4	尼堂墓地の石幢	寛文 4 年 (1664 年)	長地柴宮一丁目 19	東堀区	〃
5	花岡公園の石灯籠	元治元年 (1864 年)	湊一丁目	花岡区	平成元. 7. 13

(4) 絵画

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	十六善神図幅	室町時代	長地小萩一丁目 19-9	真秀寺	昭和 55. 5. 9

(5) 建造物

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	駒沢諏訪社本殿	川岸東四丁目 15-22	駒沢区神社委員会	平成 3. 12. 3
2	小口薬師堂本堂	銀座二丁目 15-1	小口区	〃
3	広円寺本堂	堀ノ内二丁目 7	広円寺	平成 14. 2. 25
4	今井十五社本殿	神明町四丁目 2-1	今井区	平成 15. 2. 21
5	今井十五社舞屋	〃	〃	〃
6	今井十五社境内社津島社本殿	〃	〃	〃
7	小井川賀茂神社本殿	加茂町三丁目 6-8	小井川賀茂神社	〃
8	照光寺本堂	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
9	東堀正八幡宮本殿	長地柴宮一丁目 4-13	東堀正八幡宮	〃
10	東堀正八幡宮拝殿	〃	〃	〃

11	東堀正八幡宮舞屋 ^{まいや}	〃	〃	〃
12	小坂観音院観音堂 附 棟札・ 華鬘・厨子・格天井 ^{むなみだ}	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	平成 16. 3. 30
13	照光寺蚕霊供養塔 附 棟札1 枚 蚕霊供養塔関 係資料 41 点 ^{さんれいこうとう}	本町二丁目 6-43	照光寺	平成 23. 5. 9

(6) 古文書類

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	昌福寺の武田勝頼安堵状 ^{たけだかつよりあんどうじょう}	川岸東四丁目 16-5	昌福寺	平成 5. 2. 25
2	高島藩 寛文五年宗門御改帳・ 宗門五人組帳・人別帳 ^{にんべつちょう}	—	個人	平成 10. 5. 1

(7) 工芸

No.	名 称	製作年代	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	小田井の鉦鼓 ^{しょうこ}	文化 4 年 (1807 年)	湊三丁目 6-9	湊第五町内会	平成 7. 3. 15
2	新倉薬師堂の鉦鼓 ^{しょうこ}	寛延 2 年 (1749 年)	川岸中二丁目 3332	新倉区	〃
3	小坂観音院観音堂の 鰐口 ^{わにくち}	明応 5 年 (1496 年)	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	平成 16. 3. 30

(8) 史跡

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	コウモリ塚古墳	長地鎮 6444-2	個人	昭和 42. 3. 6
2	三沢一里塚	川岸上三丁目	三沢区	〃
3	花岡城跡	湊一丁目 5	岡谷市	〃
4	高尾城跡	川岸三沢(高尾山)	三沢区	〃
5	スクモ塚古墳	長地源二丁目 3	個人	昭和 46. 4. 15
6	広畑遺跡	川岸上四丁目 9~10 (高尾山麓)	岡谷市	昭和 49. 2. 9
7	岡屋遺跡 ^{おかのや}	岡谷区 4 7 4 0 - イ - 4	(宗) 十五社	昭和 53. 10. 6
8	唐櫃石古墳 ^{からうといし}	長地横川字丸山 5811-1	個人	昭和 54. 7. 6
9	姥ヶ懐古墳 ^{うばがふところ}	長地横川字丸山 5448-1	個人	昭和 55. 5. 9

10	よこかわざん 横川山の割り石と泣き石伝説	横川山 10016-1 番地	東堀区と旧平野村 の 10 ヶ区	平成 14. 5. 2
11	川岸天竜河畔 諏訪明神入諏伝説の地	川岸上一丁目 113-1	三沢区	平成 16. 3. 30

(9) 天然記念物

No.	名称	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	小坂観音院 柏 槨の大樹	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	昭和 42. 3. 6
2	神の木	長地御所二丁目 5	東堀区	〃
3	昌福寺の枝垂 桜の大樹	川岸東四丁目 16-5	昌福寺	〃
4	出早雄小萩神社の社叢	長地出早二丁目 2-22	中屋・中村・横川区	昭和 49. 10. 18
5	小口賀茂神社のアオナシ	銀座一丁目 5	小口区	昭和 59. 12. 6
6	今井家のカツラ	今井 1832	個人	〃
7	毘沙門堂のスギ	川岸西二丁目 7	新倉区	〃
8	駒沢諏訪社のサワラ	川岸東四丁目 15-22	駒沢区	〃
9	小坂観音院寺叢	湊四丁目 15-22	龍光山観音院	〃
10	小坂観音院ブッポウソウ 繁殖地	湊四丁目 15-22	〃	〃
11	小坂中村地籍のシダレザクラ	湊四丁目 11	小坂・有賀・花岡・藤森 の姓代表	平成 2. 4. 10
12	船魂社のシダレザクラ	湊三丁目 3	湊第五町内会	〃
13	鎮社のサワラ	長地鎮二丁目 19-18	中屋区	〃
14	駒沢諏訪社のケンポナシ	川岸東四丁目 15-22	駒沢区	平成 5. 2. 25
15	小井川賀茂神社のハリギリ	加茂町三丁目 6-8	小井川賀茂神社	〃
16	育恩堂のシダレザクラ	山手町一丁目 3-7	育恩堂教会	平成 8. 2. 26
17	今井家のカキノキ	今井 1250	個人	平成 17. 2. 24
18	岡谷唐櫃石古墳ヒカリゴケ	長地横川字丸山 5811-1	個人	平成 20. 10. 3

(10) 考古資料

No.	名称	点数	所在地	所有者 管理者	指定年月日
1	岡谷丸山遺跡出土 矢柄研磨器	2	中央町一丁目 9-8	市立岡谷美術考古館	平成 16. 3. 30
2	目切遺跡出土 壺を持つ妊婦土偶	1	〃	〃	〃
3	ひろはた 広畑遺跡出土 土偶	1	〃	〃	〃

4	花上寺遺跡出土 土偶	1	〃	〃	〃
5	梨久保遺跡出土 コハク・ヒスイ製装身具	8	〃	〃	〃
6	橋原遺跡出土 炭化種子類	一括	〃	〃	〃
7	榎垣外遺跡片間町地区 12号住居址出土品	64	〃	〃	平成 20. 10. 3
8	梨久保遺跡 3・4号住居址 出土土器	28	〃	〃	平成 21. 3. 2

8 経済産業省認定近代化産業遺産群

No.	名称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	旧林家住宅	御倉町 2-20	岡谷市教育委員会	平成 19. 11. 30
2	旧片倉組事務所	川岸上一丁目 1-20	中央印刷株式会社	〃
3	旧山一林組製糸事務所・ 守衛所	中央町一丁目 13-17	岡谷市教育委員会	〃
4	旧岡谷市役所庁舎	幸町 8- 1	岡谷市	〃
5	旧山上宮坂製糸所事務所・ 工場棟・再繰工場棟・居宅	加茂町三丁目 2-41	個人	〃
6	丸山タンク	中央町 1-10	岡谷総郷	〃
7	丸十繭倉庫	本町二丁目 5-8	株式会社 サイトラマ	〃
8	旧岡谷上水道集水溝	山手町 3-4071 口	(宗) 十五社	〃
9	蚕霊供養塔	本町二丁目 6-43	照光寺	〃
10	鶴峯公園	川岸上 3-13	岡谷市	〃
11	成田公園	成田町 1-7	岡谷市	〃
12	丸中宮坂製糸所繭倉庫	東銀座二丁目 13-23	株式会社宮坂製糸所	〃
13	市立岡谷蚕糸博物館 所蔵資料	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
14	旧蚕糸試験場所蔵機械等	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	〃
15	新增沢工業株式会社 所蔵機械 (横フライス盤)	加茂町一丁目 2-5	新增沢工業株式会社	〃

9 一般社団法人日本機械学会認定 機械遺産 岡谷蚕糸博物館の繰糸機群

No.	機械名称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	フランス式繰糸機	郷田一丁目 4-8	市立岡谷蚕糸博物館	平成 23. 8. 7

2	諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
3	^{よんじょうぐ} 4条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
4	^{ろくじょうぐ} 6条繰り諏訪式繰糸機	〃	〃	〃
5	イタリア式多条繰糸機	〃	〃	〃
6	^{みのりかわ} 御法川式多条繰糸機	〃	〃	〃
7	織田式多条繰糸機	〃	〃	〃
8	増澤式多条繰糸機	〃	〃	〃

10 世界遺産暫定一覧表候補の文化資産

名 称	所在地	提案者	区分
旧林家住宅外4件	御倉町2-20 外	長野県・岡谷市	カテゴリーⅡ 平成20.9.26

11 文化庁認定日本遺産 星降る中部高地の縄文世界 構成文化財

No.	名 称	所在地	所有者 管理者	認定年月日
1	^{かいど} 海戸遺跡出土品	中央町一丁目9-8	市立岡谷美術考古館	平成30.5.24
2	^{えのきがいと} 榎垣外遺跡出土品	〃	〃	〃
3	^{めきり} 目切遺跡出土品	〃	〃	〃
4	^{かじょうじ} 花上寺遺跡出土土偶	〃	〃	〃
5	^{しみずだ} 清水田遺跡黒曜石原石	〃	〃	〃
6	^{なしくぼ} 梨久保遺跡と出土品	長地梨久保二丁目 中央町一丁目9-8	岡谷市教育委員会 市立岡谷美術考古館	〃
7	広畑遺跡と出土土偶	川岸上四丁目 (高尾山麓) 中央町一丁目9-8	岡谷市 市立岡谷美術考古館	〃

5. スポーツ振興課

(1) 令和4年度 スポーツ振興基本方針

■ 『スポーツスローガン』

親しみ、挑戦し続ける、たくましい心と体のひとづくり

岡谷市教育大綱の教育理念のもと、はつらつ岡谷スポーツプラン（第2次岡谷市スポーツ推進計画）に基づき、生涯にわたりスポーツに親しみ、すべての市民が「する」「みる」「ささえる」ことで多様な形でスポーツに関わり、スポーツを通して心と体を養い、はつらつとした暮らしを送ることができるように、次の4つのポイントに重点的に取り組みます。



■ 「スポーツ 4つの重点」

1 市民ひとり1スポーツの実現

生涯にわたって運動・スポーツに取り組めるように、スポーツ団体やスポーツ推進委員などと連携しながら、幅広い年齢層の市民や障がい者が楽しく参加できる各種教室、大会などの多様なスポーツ機会の充実を図り、健康を志向したスポーツ活動を推進します。

2 競技力の向上

全国大会などの誘致や競技力向上のための教室、大会を開催します。また、全国大会で活躍できる選手の育成を支援するとともに、スポーツ指導者の養成を推進します。

3 子どものスポーツ機会の充実

学校体育の活動の充実をはじめ、子どもたちの成長期に合わせた体力向上プログラムを充実し、基礎体力の向上を目指します。また、子どもたちがスポーツを始めるきっかけづくりとなるように、多様なスポーツ教室を提供します。

4 スポーツ環境の整備・充実

市民一人ひとりが安全で快適なスポーツ活動を行えるように、スポーツ施設の長寿命化を計画的に進め、安全・安心な環境を整備します。

はつらつ岡谷スポーツプラン基本理念

スポーツに親しみ 夢と感動が生まれるまち

《日常に溶け込む「する」「みる」「ささえる」スポーツ》

令和4年度岡谷市教育委員会 スポーツの重点項目

- ・市民のライフスタイルに応じた自分に合った「するスポーツ」の推進
- ・「おかやキッズ運動大好き事業」による子どもの体力、運動能力の向上
- ・コロナ禍における働き盛り世代の運動、スポーツ習慣化促進
- ・トップアスリートとの交流を通じたスポーツ機運の醸成
- ・スポーツ施設の長寿命化に向けた安全、安心な環境整備
(市民水泳プール大規模改修)

(2) スポーツ施設

① 市営岡谷球場

岡谷市神明町一丁目1番1号 電話 22-2893

昭和24.8 建設、総面積 37,917㎡ (グラウンド 15,141㎡、両翼 92m、センター 122m)

○主な改修工事等 (概ね100万円以上)

S44 スタンド改修、S54 バックスクリーン設置、S61 夜間照明装置設置、H13 スタンド防水工事、

H15 フェンス、サブスタンド改修、H16 グラウンド整備、バックネット、バックスクリーン、スコアボード、放送設備改修、

H17 駐車場等舗装、H18 災害復旧工事、H23 防球ネット設置、H25 法面等災害復旧工事、H29 法面補修工事

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分		使 用 料		付 属 設 備	
専用使用	入場料を徴収する場合	1時間 7,880円		照明施設	記者席
	入場料を徴収しない場合	全面使用	1時間 1,260円	管理事務室	トイレ
		半面使用	1時間 630円	会議室	電光掲示板
夜間照明	使用した電気料の実費相当額		器材室	放送設備	
電光掲示板	1式1回 2,100円		更衣室		
放送施設	1式1回 2,100円		役員室		
野球用具	1件1回 110円		審判席		

② 岡谷市営庭球場

岡谷市南宮三丁目9554番地1 電話 080-5143-9597

昭和60.11 建設、総面積 8,779.7㎡、コート12面 (砂入人工芝コート6面、クレイコート6面)

○主な改修工事等 (概ね100万円以上)

H4 観覧席設置、H8 夜間照明装置設置、H13 庭球場整備、H17.3 砂入人工芝コート2面改修、

H17.6 砂入人工芝コート4面改修、H26 人工芝修繕、H27 トイレ洋式化工事

使用時間 午前8時30分～午後9時30分 休場日 12月29日～翌年1月3日

区 分		使 用 料		付 属 設 備	
		一 般	小中学生		
専用使用	コート1面使用	1時間 780円		照明施設	ネット庫
個人使用	1人2時間	220円	110円	管理棟	放送設備
	回数券(11枚綴り)	2,200円	1,100円	本部席棟	
	通年使用券	11,000円	4,400円	更衣室	
夜間照明	使用した電気料の実費相当額		トイレ		

③ 岡谷市民湖畔広場

岡谷市湖畔四丁目10020番地11先

昭和61.8 建設、総面積 18,260㎡

○主な改修工事等 (概ね100万円以上)

H14 改修、H26 移動式バックネット更新

使用時間 午前5時～午後7時30分 休場日 無し

区 分		使 用 料		付 属 設 備	
専用使用	全面使用	1時間 840円		物置	
	半面使用	1時間 420円		バックネット	
体育用具	1件1回 110円				

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

岡谷市川岸上三丁目1945番地14

昭和55.10 建設、平成9.3 改修、総面積 11,286.55㎡

○主な改修工事等 (概ね100万円以上)

H9 電気設備工事、土木工事

使用時間 午前5時～午後9時30分 休場日 無し

区 分		使 用 料		付 属 設 備	
専用使用	全面使用	1時間 940円		物置	
	半面使用	1時間 470円		バックネット	
夜間照明	使用した電気料の実費相当額		照明施設		
体育用具	1件1回 110円		トイレ		

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

岡谷市4769番地14 電話 24-5210

平成5.3 着工、平成6.9 竣工、建設費 27億6,349万円、総面積 148,724.84㎡

○主な改修工事等（概ね100万円以上）

H12 外壁防水工事、H15 冷凍機エンジン修繕（5台）、H16 冷凍機エンジン修繕（5台）、H16 目地等補修工事、

H25 非常用放送設備修繕、冷却塔鉄骨及び据置台修繕、H30 受変電設備改修、R2 照明制御システム機器改修工事

開場期間：11月20日から2月20日まで（条例使用期間）

使用時間（個人）午前6時～午後9時（専用）午前6時～午後11時 休場日 無し

主施設	国際公認400mパイピングリンク、観覧席（1,000席）
	選手控室（プレハブ平屋建 123.84㎡/H13.8）
	管理棟（鉄筋コンクリート造2階建 1,921.69㎡） 1階：事務室、ホール、休憩室、ロッカー室、更衣室、貸靴室、乾燥室、トイレ、機械室、倉庫、作業員控室、救護室、厨房、選手控室 2階：研究室、ミーティングルーム、トレーニング室、計測室、リラックス&ケアルーム、トイレ、検診室、ロビー、更衣室、シャワー室、機械室
	放送記録棟（鉄筋コンクリート造2階建 150㎡） 1階：倉庫 2階：放送室、記録室、役員室、トイレ
	機械棟（鉄筋コンクリート造平屋建 633㎡） 機械室（冷凍機10基）、電気室、氷上整備車庫、控室

区 分	個人使用料			
	一 般	高 校 生	中学生以下	
専用使用	1時間 26,720円			
滑走券	1回券（共通券）	1,070円	860円	430円
	回数券（6枚綴）	5,350円	4,300円	2,150円
	シーズン券	26,750円	21,500円	10,750円
入場券	1回券（共通券）	220円		
	回数券（6枚綴）	1,100円		
	シーズン券	5,500円		
コインロッカー	1回 100円			
貸靴	1回 530円			

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	使用料
大体育館	1時間 440円
小体育館	1時間 220円
格技室	1時間 270円
校庭	1時間 440円
照明施設	使用した電気料の実費相当額

⑦ 岡谷市民総合体育館

岡谷市南宮三丁目2番1号 電話 22-8800

東体育館：昭和49.7 着工、昭和50.3 竣工、延床面積 4,322.47㎡

西体育館：平成9.12 着工、平成11.3 竣工、建設費 11億5,963万円、延床面積 4,617.52㎡

○主な改修工事等（概ね100万円以上）

H7 東体育館床面改修、東体育館屋根防水改修、東体育館屋内防御ネット設置、H8 東体育館自動火災報知設備改修、

東体育館電気設備改修、H11 東体育館改修、H14 非常用予備発電機修繕、H15 防火扉、防火シャッター設置、

H15 東体育館暖房機修繕、H17 トレーニング室床、天井、壁改修、H18 ソーラーシステム等撤去、

H19 東体育館アスベスト飛散防止工事、H24 屋根・外壁改修、床の張替、管理棟の耐震工事、

R2 防火扉、防火シャッター修繕、R3 トイレ洗面台自動水栓改修18基

使用時間 午前9時～午後9時30分

休館日：第2、第4木曜日（この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日に当たるときは翌日）、

12月29日から翌年1月3日まで（その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合）

主施設	西体育館 (スワンドーム)	体育室 (42m×38m=1,596㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 8面、ポッチャ 8面、バレーボール 3面、 バスケットボール 2面、テニス 2面、卓球 24面、体操 各種
		ランニングコース、事務室、会議室、ミーティングルーム、大会運営室、医務室、 応接室、男女ロッカールーム、トイレ、観覧席 (824席)、ロールバック移動席 (792席)
	東体育館	体育室 (38m×30m=1,140㎡) エースドッジボール 2面、バドミントン 6面、ポッチャ 6面、バレーボール 2面、 バスケットボール 2面、テニス 1面、卓球 20面、フットサル2面、体操 各種
		柔道場 1面、剣道場 1面、弓道場 6人立、トレーニング室、幼児体育室、会議室、 クラブ室、応接室、男女更衣室、トイレ、器具室、観覧席 (360席)

区 分			使用料 (2時間)
専用使用	西体育館 (スワンドーム)	入場料等を徴収しない場合	体育に使用する場合 3,840円 その他の場合 7,680円
		入場料等を徴収する場合	体育に使用する場合 7,680円 その他の場合 15,360円
		営利、営業を目的として使用する場合 57,600円	
		東体育館	入場料等を徴収しない場合
	入場料等を徴収する場合		体育に使用する場合 6,480円 その他の場合 12,960円
	営利、営業を目的として使用する場合 48,600円		
	柔道場、剣道場、弓道場 1,080円		
	第1会議室、第2会議室、第3会議室 440円		
	移動式バスケットゴール 1台1回 110円		
	電光掲示板 1式1回 1,050円		
フロアシート 1式1回 520円			
音響設備 1式1回 520円			
体育用具 1セット1回 110円			

区 分		使用料	
		一 般	小中学生
個人使用	1人2時間	220円	110円
	回数券(11枚綴り)	2,200円	1,100円

⑧ 岡谷市民水泳プール

岡谷市南宮三丁目2番1号 電話 23-6820

昭和55.9 着工、昭和56.3 竣工、延床面積 2,940.8㎡(1階 2,233.72㎡、2階 707.08㎡)

○主な改修工事等(概ね100万円以上)

H9 屋内プール暖房設備改修、H9 屋内水泳プール屋根防水工事、H9 腰洗槽設置、H10 電気設備改修、
 H10 非常放送等設備改修、H11 照明器具取替工事、H12 屋内プール内部防水等改修、H12 循環送水管等修繕、
 H12 屋内プール改修、H12 ソーラーシステム熱交換器等取替工事、H13 屋内プール外壁等改修、
 H14 屋内プール手摺設置工事、H15 屋内プールトイレ増設工事、H15 幼児用変形プール改修、
 H16 ソーラーシステム廃止、プールサイド・更衣室床等の改修、ハッチサッシ改修、H16 ろ過機制御盤改修、
 H16 屋内プールボイラー取替工事、H18 屋内プール耐震改修、H20 屋内プールシャワー室改修、
 H22 屋内プール内部改修、サッシ改修、H22 屋内プール外壁断熱改修、太陽光発電装置設置、H23 ろ過機ろ材入替、
 H25 給湯配管改修、暖房ボイラー入替、H27 屋内プール地下貯蔵タンク改修、H29 屋内プール水昇温ボイラー修繕、
 H29 競泳用計時全自動装置更新、R2 プール劣化調査、R3 大規模改修工事実施設計

使用時間 7月～8月 午前9時～午後8時30分

9月～6月 午後1時～午後8時30分

休館日：毎週木曜日(この日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は翌日)、

12月29日から翌年1月3日まで(その他、岡谷市教育委員会が必要と認める場合)

岡谷市民屋外水泳プールは、平成21年8月31日をもって閉鎖した。

主施設	25m競泳プール 25m×19m (水深115cm～125cm、9コース、日本水泳連盟公認)
	幼児プール 7m×12m (水深40cm～43cm)
	徒歩プール 12m×10m (水深60cm～63cm)
	スライダープール (水深70cm～80cm)
	幼児用変形プール (水深70cm)

	区 分	一 般	小中学生
専用使用	1コース使用	1時間	2,100円
個人使用	1人1回	470円	270円
	回数券(11枚綴り)	4,700円	2,700円

⑨ 岡谷市やまびこアリーナ

岡谷市4769番地14 電話 24-2494

平成6.6.30 竣工、建設費 約17億円

総面積 148,724.84㎡、床面積 5,120.15㎡(1階 3,763.94㎡、2階 1,356.21㎡)、リンク面積1,745㎡

平成8.12.26 建物等を(株)やまびこスケートの森から取得(約16億4,000万円)し、管理を開始

(岡谷市やまびこアリーナ管理規則による)

○主な改修工事等(概ね100万円以上)

H27 駐車場整備工事、H28 得点板表示システム設置工事、H31 防火シャッター修繕工事

H21～R4 床面改修工事(不陸状況により予備費で随時実施)

主施設	国際公認リンク(30m×60m)、マルチビジョン表示システム
	1階:スケートリンク、事務室、ホール、ラウンジ、貸靴室、売店、ゲストルーム、医務室、スタッフルーム、選手控室、採暖室、ロッカー室、観覧席(400席)、トイレ、機械室、器具庫、氷上整備車 2階:CPUルーム、フィットネススタジオ、ミーティングルーム、更衣室、観覧席(400席)、トイレ、ランニングコース、電気室

⑩ 岡谷市営陸上競技場

岡谷市長地柴宮一丁目9番13号(岡谷東部中学校校庭)

昭和42.10 認定

総面積 13,521㎡

日本陸上競技連盟第4種公認300mトラック(H29.10.10～R4.10.9)、付属設備 物置設備 物置

⑪ 岡谷射撃場

岡谷市神明町一丁目1番1号

昭和37.4 建設、昭和62 全面改修

総面積 6,445㎡、エアライフル、スモールポアライフル(バツフル式)兼古式鉄砲 10射台

岡谷市営射撃場は平成20年度で廃止し、平成21年度から長野県ライフル射撃協会へ無償貸付している。

(3) 令和4年度スポーツ事業

① 岡谷市・岡谷市教育委員会主催事業

・各区対抗体育大会

事業名	会場
軟式野球競技	市営岡谷球場
ソフトテニス競技	市営庭球場
卓球競技	市民総合体育館
バドミントン競技	市民総合体育館
マレットゴルフ競技	湖畔公園マレットゴルフ場
ソフトバレーボール競技	市民総合体育館
ソフトボール競技	湖畔広場
エースドッジボール競技	市民総合体育館
ボウリング競技	スポーツ岡谷
総合体育大会(綱引競技、表彰式等)	市民総合体育館

・夏季スポーツ祭

事業名	会場
夏季スポーツ祭(軟式野球)	市営岡谷球場
夏季スポーツ祭(ソフトテニス)	市営庭球場
夏季スポーツ祭(卓球)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(バドミントン)	市民総合体育館
夏季スポーツ祭(柔道)	市民総合体育館柔道場
夏季スポーツ祭(剣道)	市民総合体育館剣道場
夏季スポーツ祭(弓道)	市民総合体育館弓道場

・市民スポーツ普及大会

事業名	会場
学童軟式野球選手権春季大会(兼第42回全日本学童軟式野球大会)	市営岡谷球場
第41回県学童軟式野球選手権大会夏季大会	市営岡谷球場
学童秋季少年野球大会	市営岡谷球場
第57回岡谷市ママさんバレーボール大会	市民総合体育館ほか
家庭婦人バレーボールリーグ戦	市民総合体育館ほか
岡谷市民春季陸上競技大会	市営陸上競技場
第76回岡谷市民陸上競技選手権大会	市営陸上競技場
第44回岡谷市民元旦マラソン	市民総合体育館
第24回岡谷市民インドアソフトテニス大会	市民総合体育館
第48回岡谷市民テニス大会(シングルス)	市営庭球場
第48回岡谷市民テニス大会(ダブルス)	市営庭球場
第50回岡谷市民卓球選手権大会	市民総合体育館
第53回岡谷市民バスケットボール大会(中学生の部)	市民総合体育館
第53回岡谷市民バスケットボール大会(一般の部)	市民総合体育館
市民夜間ソフトボールリーグ戦	岡谷市勤労青少年ホーム
岡谷市民ソフトボール大会(男子・女子・壮年)	川岸スポーツ広場
第47回岡谷市民スケート大会	やまびこ国際スケートセンター
岡谷市民スキー大会	未定
第68回岡谷市民水泳競技大会	市民屋内水泳プール
第52回岡谷市民登山	日向山(山梨県)
岡谷夏季フットサルリーグ戦	市民総合体育館
早起き野球リーグ戦	湖畔広場ほか
早起き野球トーナメント戦	湖畔広場
第33回エースドッジボール市民大会春季大会	市民総合体育館
第32回岡谷市エースドッジボールジュニア大会	市民総合体育館
第33回エースドッジボール市民大会秋季大会	市民総合体育館
第30回岡谷市内小学校エースドッジボール大会	市民総合体育館
富岡市エースドッジボール交流大会	市民総合体育館(来岡)
第34回エースドッジボール市民選手権大会	市民総合体育館
女子小学生ソフトボール大会	川岸スポーツ広場
第34回夏季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第16回岡谷市民綱引大会	市民総合体育館
第28回岡谷市民カーリング大会	やまびこアイスアリーナ

・競技力向上事業

事業名	会場
第18回諏訪郡市中学生ソフトテニス大会	市営庭球場
第31回長野県市町村対抗駅伝競走大会	松本市松本平広域公園陸上競技場
第17回長野県市町村対抗小学生駅伝競走大会	松本市松本平広域公園陸上競技場
第73回諏訪地方陸上競技選手権大会	茅野市運動公園陸上競技場
第50回南信少年柔剣道大会(柔道)	市民総合体育館
第50回南信少年柔剣道大会(剣道)	市民総合体育館
第91回南信卓球選手権大会	市民総合体育館
第72回諏訪地方スケート大会	茅野市運動公園国際スケートセンター
第42回諏訪郡市男女バスケットボール選手権大会	市民総合体育館

・長野県エースドッジボール協会主催大会

事業名	会場
長野県エースドッジボール上伊那地区予選会	伊那市体育館
第32回長野県エースドッジボール大会	市民総合体育館

② 岡谷市スポーツ協会支援関連事業

・市民スポーツ普及事業(加盟団体主催大会等)

事業名	会場
第67回岡谷チャンピオンズリーグ	市営岡谷球場
第45回東日本軟式野球大会予選	市営岡谷球場
第11回全日本少年春季軟式野球大会予選	市営岡谷球場
第37回全日本少年軟式野球大会予選	市営岡谷球場
社会保険軟式野球大会	市営岡谷球場
第2回小学生バレーボール錬成会	市民総合体育館
第48回諏訪地方高校新人バレーボール選手権大会	市民総合体育館
諏訪地方小学生バレーボール交流大会	市民総合体育館
市内小中学生陸上競技記録会(前期)	湖畔広場
市内小中学生陸上競技記録会(後期)	湖畔広場
第62回県ソフトテニス岡谷大会	市営庭球場
第3回岡谷市チーム対抗ソフトテニス大会	市営庭球場
第34回岡谷市ソフトテニス選手権大会	市営庭球場
第44回岡谷市家庭婦人ソフトテニス大会	市営庭球場
協会早起き夏季ソフトテニス大会	市営庭球場
2022年度岡谷ジュニア春季選手権大会	市営庭球場
2022年度岡谷市テニス協会杯トーナメント大会	市営庭球場
第27回岡谷オープンミックステニス大会	市営庭球場
2022年度テニス感謝祭	市営庭球場
第41回岡谷ジュニアオープンテニス大会	市営庭球場
第51回長野県岡谷テニス大会(S)	市営庭球場
第51回長野県岡谷テニス大会(混)	市営庭球場
甲府・岡谷親睦卓球大会	市民総合体育館
夏季スーパーカップ卓球大会	市民総合体育館
第20回岡谷オープンラジボール卓球大会	市民総合体育館
春季スーパーカップ卓球大会	市民総合体育館
第16回岡谷カップバスケットボール大会(中学男子)	市民総合体育館
第13回岡谷カップバスケットボール大会(中学女子)	市民総合体育館
ミニバスケットボールリーグ大会(7月)	市民総合体育館
ミニバスケットボールリーグサマー大会	市民総合体育館
第32回長野日報杯ソフトボール大会	市民総合体育館
岡谷市民女子秋季ソフトボール大会	市民総合体育館
諏訪地区シニア大会・第37回女子大会	市民総合体育館
第70回県下弓道岡谷大会	市民総合体育館
第35回春季岡谷屋内選手権水泳競技大会	市民屋内水泳プール
第11回秋季岡谷屋内選手権水泳競技大会	市民屋内水泳プール
空手道すわっ子大会	市民総合体育館
ガールズサッカー交流会	湖畔広場
岡谷サッカーフェスティバル	湖畔広場
合気会:諏訪郡市合同大会	市民総合体育館
第38回岡谷市各地区対抗ゴルフ大会	レイクヒルCC
第16回春の市民ゴルフ大会	レイクヒルCC
第40回岡谷市民ゴルフ大会	レイクヒルCC
第93回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷
第94回岡谷市民ボウリング大会	スポーツ岡谷

事業名	会場
第14回長野日報社杯エースドッジボール大会	市民総合体育館
第33回エースドッジボール市民大会春	市民総合体育館
第33回エースドッジボール市民大会秋	市民総合体育館
第33回春季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第30回市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第4回湖畔市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第30回会長杯マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第34回秋季市民マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第30回市民マレットゴルフ選手権大会	湖畔公園マレットゴルフ場
第30回岡谷市長杯マレットゴルフ大会	湖畔公園マレットゴルフ場
創立28周年記念ダンスパーティー	市民総合体育館
協会合同パーティー	市民総合体育館
親睦ダンスパーティー	市民総合体育館
市民新聞社杯第24回岡谷7人制ラグビー大会	岡エグラウンド
第12回長野日報タグラグビー交流会	岡エグラウンド
第26回岡谷市長杯争奪長野県ジュニアアイスホッケー大会	やまびこアイスアリーナ
第10回岡谷市民新聞社杯争奪親善ジュニアアイスホッケー大会	やまびこアイスアリーナ
長野県綱引選手権大会	市民総合体育館
岡谷FDの会主催クリスマスパーティー	市民総合体育館
創立21周年岡谷FDの会主催パーティー	市民総合体育館
第4回岡谷市親子バドミントン大会	市民総合体育館
第6回春季バドミントン大会	市民総合体育館
第5回スワンカップバドミントン大会	市民総合体育館
第5回岡谷市バドミントン団体戦大会	市民総合体育館
第6回岡谷市バドミントン連盟杯	市民総合体育館
第5回岡谷市オープンバドミントン大会	市民総合体育館

③ スポーツ少年団事業

事業名	会場
軟式野球春季交流A大会	湖畔広場
軟式野球春季交流B大会	湖畔広場
市長杯軟式野球交流大会	湖畔広場
議長杯軟式野球交流大会	湖畔広場
ライオンズ杯軟式野球交流大会	湖畔広場
秋季軟式野球4年生交流大会	湖畔広場
軟式野球秋季大会	市営岡谷球場
硬式野球開催軟式イベント交流大会	市営岡谷球場
剣道交流大会	市民総合体育館
ソフトテニス研修大会	市営庭球場、市民総合体育館
シルク杯バレーボール大会	市民総合体育館
バレーボール交流大会	市民総合体育館
インドアソフトテニス交流岡谷大会	市民総合体育館
全団交流駅伝大会	湖畔広場周辺

④ その他スポーツ大会

・市関連その他事業

事業名	会場
第21回岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会(3種目3大会)	市民総合体育館ほか
塩嶺王城パークラインマラソン	塩嶺王城パークライン
諏訪湖マラソン	諏訪湖周
県縦断駅伝競走	長野県内
諏訪湖剣道大会	市民総合体育館
諏訪地方ヘルspbレーボール大会(諏訪地方スポーツ推進委員連絡協議会)	市民総合体育館
やまびこカップスピードスケート競技会	やまびこ国際スケートセンター

(4) スポーツ関係団体等

① 岡谷市スポーツ推進委員

(委員長：有賀 裕信 副委員長：田中 仁之、今井 美恵子)

氏名	就任年月日	任期	得意種目
有賀 裕信	昭和52. 11. 1	令和 6. 3. 31	柔道、レクリエーション
小口 道代	平成16. 4. 1	令和 6. 3. 31	レクリエーション、ニュースポーツ
古畑 正文	平成24. 4. 1	令和 6. 3. 31	バレーボール、トレッキング
花岡 ひとみ	平成24. 4. 1	令和 6. 3. 31	ソフトテニス
今井 美恵子	平成26. 4. 1	令和 6. 3. 31	エースドッジボール
田中 仁之	平成26. 4. 1	令和 6. 3. 31	ソフトテニス
柴田 晴美	平成26. 4. 1	令和 6. 3. 31	バレーボール、ソフトバレーボール
赤池 高	平成28. 4. 1	令和 6. 3. 31	陸上競技
金原 圭介	平成30. 4. 1	令和 6. 3. 31	サッカー
林 一	平成31. 4. 1	令和 6. 3. 31	野球
小口 智弘	令和 2. 4. 1	令和 6. 3. 31	ウォーキング
向山 浩一	令和 2. 4. 1	令和 6. 3. 31	バレーボール
市川 久司	令和 4. 4. 1	令和 6. 3. 31	合気道、スキー

② スポーツ団体

名称	代表者氏名	構成団体	備考
公益財団法人岡谷市スポーツ協会	武井 富美男	45団体	競技団体32、区体協10、地区体協3
岡谷市スポーツ少年団	宇治 浩	11団体	野球5、剣道1、バレーボール2、ソフトテニス1、ソフトボール2

(5) 令和4年度スポーツ教室

① スポーツ教室

○少年スポーツ教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員	※開催状況
バスケットボール	小3～小6	5～8月	岡谷田中小学校	8回	30人	
バレーボール	小1～小6	6～7月	岡谷田中小学校	5回	30人	
テニス	小2～中3	5～7月	市営庭球場	8回	30人	
剣道	小1～中3	5～7月	市民総合体育館	8回	20人	
水泳	小1～小4	5月	市民水泳プール	7回	20人	中止
		6月		7回	20人	中止
ソフトテニス	小4～中3	7～8月	市営庭球場	8回	40人	
パドミントン	小4～中3	9～10月	市民総合体育館	8回	30人	
新体操	小1～中3	11～12月	市民総合体育館	5回	30人	
フットサル	小1～小6	1～3月	市民総合体育館	8回	30人	
多目的スポーツ体験教室	小3～小6	5～6月	市民総合体育館	5回	20人	
計				77回	300人	

※新型コロナウイルス感染拡大防止による中止 (6月1日現在)

○女性スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
ヨガ	8～10月	市民総合体育館	8回	20人	
キックボクシングエクササイズ	10～12月	市民総合体育館	8回	20人	
計			16回	40人	

○一般スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
ゴルフ	5～7月	みどり湖ゴルフセンター	10回	22人	

○市民全般スポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
柔道	未定	市民総合体育館	8回	30人	
卓球	9～11月	市民総合体育館	8回	30人	
ソフトバレーボール	11～1月	市民総合体育館	8回	40人	
計			24回	100人	

○託児付きスポーツ教室

教室名	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
ママスポ広場 ヨガ	1～3月	市民総合体育館	8回	20人	

② おかや小学生体育塾

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
前期（2クラス）	小1～小3	5～8月	湊小学校ほか	各10回	各25人	
後期（2クラス）	小1～小6	10～2月		各10回	各25人	
計				40回	100人	

③ ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
ジュニアアスリートのためのパフォーマンスアップ教室	小4～小6	11～2月	岡谷田中小学校ほか	12回	20人	

④ おかやファミリースポーツプログラム

教室名	対象(親子)	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
親子でバスケット体験	小1～小6	6月19日	市民総合体育館	1回	30組	
親子でナイター野球体験	小1～小6	8月6日	市営岡谷球場	1回	30組	
親子でサッカー体験	年長～小6	10月16日	湖畔広場	1回	50組	
親子で卓球体験	小1～小6	2月12日	市民総合体育館	1回	50組	
計				4回	180組	

⑤ スケート教室

○多種目スケート教室

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
スケート教室	小1～一般	10～11月	やまびこアイスアリーナ	4回	50人	
アイスホッケー教室	小1～中3	12月	やまびこアイスアリーナ	2回	30人	
カーリング教室	市民全般	11～1月	やまびこアイスアリーナ	3回	40人	
計				9回	120人	

○おかやスピードスケートトータルサポートクラブ

教室名	対象	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
初心者～上級者コース	小1～小6	6～2月	やまびこ国際スケートセンターほか	30回	50人	
アスリートコース	小3～中3	7～2月		50回	20人	
計				80回	50人	

○親子で氷上運動会

教室名	対象(親子)	開催期間	会場	回数	定員	開催状況
親子で氷上運動会	年少～小3	11月上旬	やまびこアイスアリーナ	1回	50組	

(6) スポーツ施設の月別利用状況（令和3年度）

① 市営岡谷球場

区 分	専用使用		照明施設			放送設備	用 具
	全 面	半 面	野 球	ソフトボール			
				全 面	半 面		
4月	4.0 h	0.0 h	4.0 h	0.0 h	0.0 h	0 件	0 件
5月	196.0	0.0	26.0	0.0	0.0	10	0
6月	51.0	8.0	18.0	0.0	0.0	0	0
7月	47.0	0.0	16.0	0.0	0.0	2	0
8月	29.0	0.0	10.0	0.0	0.0	4	0
9月	30.0	0.0	8.0	0.0	0.0	0	0
10月	89.0	10.0	22.0	0.0	0.0	4	0
11月	58.0	0.0	6.0	9.0	0.0	0	1
12月	13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4	0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
3年度	517.0	18.0	110.0	9.0	0.0	24	1
2年度	427.0	16.0	93.0	15.0	0.0	2	0
増減	90.0	2.0	17.0	▲ 6.0	0.0	22	1

② 岡谷市営庭球場

区 分	専用使用	個人使用			通年使用	
		小中学生	一 般	市内小中(無料)	小中学生	一 般
4月	361.0 h	55 人	349 人	189 人	0 件	24 件
5月	494.0	76	378	212	1	54
6月	638.0	32	322	154	1	72
7月	569.0	66	291	186	0	7
8月	167.0	53	240	116	0	1
9月	237.0	66	242	66	0	1
10月	439.0	79	307	131	1	2
11月	348.0	79	276	118	1	0
12月	228.0	11	124	42	0	0
1月	0.0	14	87	31	0	0
2月	0.0	0	0	0	0	0
3月	0.0	23	201	87	0	1
3年度	3,481.0	554	2,817	1,332	4	162
2年度	2,131.0	303	3,079	1,350	12	151
増減	1,350.0	251	▲ 262	▲ 18	▲ 8	11

③ 岡谷市民湖畔広場

区 分	専用使用		用 具
	全 面	半 面	
4月	33.0 h	3.0 h	0 件
5月	28.0	46.0	0
6月	11.0	38.0	0
7月	59.0	43.0	0
8月	19.0	3.0	0
9月	14.0	16.0	0
10月	13.0	32.0	0
11月	48.0	15.0	0
12月	8.0	8.0	0
1月	0.0	0.0	0
2月	0.0	0.0	0
3月	4.0	33.0	0
3年度	237.0	237.0	0
2年度	165.0	256.0	0
増減	72.0	▲ 19.0	0

④ 岡谷市民川岸スポーツ広場

区 分	専用使用		照明施設			用 具
	全 面	半 面	ソフト全面	ソフト半面	サッカー	
4月	20.0	21.0	0.0	6.0	0.0	0
5月	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	0
6月	18.0	17.0	0.0	6.0	0.0	0
7月	29.0	13.0	0.0	0.0	0.0	0
8月	22.0	11.0	2.0	4.0	0.0	0
9月	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
10月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
11月	10.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0
12月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
1月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
2月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
3月	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0
3年度	104.0	76.0	12.0	16.0	0.0	0
2年度	129.0	147.0	39.5	17.0	4.0	2
増減	▲ 25.0	▲ 71.0	▲ 27.5	▲ 1.0	▲ 4.0	▲ 2.0

⑤ 岡谷市やまびこ国際スケートセンター（屋外400mリンク）

区 分	開場日数	一般	高校生	中学生 以 下	学校授業		入場者	大 会 合宿等	計
					市内	市外			
11月	8	165	70	409	240	0	286	755	1,925
12月	30	765	271	1,486	1,148	0	783	1,452	5,905
1月	26	768	185	1,094	308	0	551	446	3,352
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3年度	64	1,698	526	2,989	1,696	0	1,620	2,653	11,182
2年度	83	2,640	854	5,015	3,238	159	2,626	3,506	18,038
増減	▲ 19	▲ 942	▲ 328	▲ 2,026	▲ 1,542	▲ 159	▲ 1,006	▲ 853	▲ 6,856

⑥ 岡谷市学校体育施設

区 分	体育館		校 庭	
	専用使用	照明施設	専用使用	照明施設
小学校	4,428.0 h	4,421.0 h	3,845.0 h	208.0 h
神明小	519.0	519.0	534.0	52.0
小井川小	564.0	564.0	583.0	10.0
岡谷田中小	1,224.0	1,217.0	584.0	—
湊小	330.0	330.0	521.0	—
川岸小	761.0	761.0	411.0	—
長地小	694.0	694.0	553.0	146.0
上の原小	336.0	336.0	659.0	—
中学校	3,382.0 h	3,382.0 h	0.0 h	—
岡谷北部中	674.0	674.0	0.0	—
岡谷南部中	1,410.0	1,410.0	0.0	—
岡谷東部中	425.0	425.0	0.0	—
岡谷西部中	873.0	873.0	0.0	—
3年度	7,810.0	7,803.0	3,845.0	208.0
2年度	7,461.0	7,461.0	4,241.0	350.0
増減	349.0	342.0	▲ 396.0	▲ 142.0

⑦ 岡谷市民総合体育館

区 分	専用使用		個人使用				回数券使用			R3 人数合計	R2 人数合計	増減
	件数	人数	小中学生	一般	無料	合計	小中学生	一般	合計			
バレーボール	142	3,255	17	147	33	197	0	0	0	3,452	4,013	▲ 561
ソフトバレーボール	330	3,389	12	141	20	173	0	0	0	3,562	4,076	▲ 514
バスケットボール	488	6,975	260	1,148	695	2,103	0	0	0	9,078	10,321	▲ 1,243
バドミントン	725	6,512	151	1,858	279	2,288	1	0	1	8,801	11,258	▲ 2,457
エースドッジボール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
卓球	962	12,049	31	470	262	763	0	0	0	12,812	10,197	2,615
テニス	4	51	0	13	0	13	0	0	0	64	271	▲ 207
ソフトテニス	40	678	1	43	22	66	0	0	0	744	1,462	▲ 718
ヨガ	41	200	0	0	0	0	0	0	0	200	293	▲ 93
新体操	55	978	0	0	0	0	0	0	0	978	1,351	▲ 373
太極拳	41	155	0	0	1	1	0	0	0	156	134	22
体操	106	1,729	0	0	2	2	0	0	0	1,731	1,525	206
吹き矢	17	99	0	0	3	3	0	0	0	102	90	12
ダンス	502	5,076	5	69	48	122	0	0	0	5,198	5,192	6
エアロビクス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ピラティス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
インディアカ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
柔道	1	50	0	9	1	10	0	0	0	60	56	4
剣道	100	2,523	0	14	10	24	0	0	0	2,547	5,341	▲ 2,794
空手	59	607	10	14	11	35	0	0	0	642	1,193	▲ 551
合気道	0	0	0	2	0	2	0	0	0	2	32	▲ 30
弓道	303	5,058	0	204	12	216	0	0	0	5,274	4,293	981
トレーニング	21	209	32	3,615	66	3,713	2	4,145	4,147	8,069	8,633	▲ 564
綱引き	16	480	0	0	0	0	0	0	0	480	0	480
フットサル	131	2,777	2	39	1	42	0	0	0	2,819	3,024	▲ 205
大会	102	22,788	0	0	0	0	0	0	0	22,788	14,442	8,346
その他	473	11,791	0	0	1,123	1,123	0	0	0	12,914	11,426	1,488
幼児体育室	0	0	0	0	289	289	0	0	0	289	223	66
3年度	4,659	87,429	521	7,786	2,878	11,185	3	4,145	4,148	102,762		
2年度	4,749	80,546	644	9,835	3,781	14,260	7	4,033	4,040	98,846		
増減	▲ 90	6,883	▲ 123	▲ 2,049	▲ 903	▲ 3,075	▲ 4	112	108	3,916		

⑧ 岡谷市民水泳プール

区 分	開場日数	コース 専用使用	個人使用				回数券	
			小中学生	一般	市内小中 学生(無料)	その他 無料減免	小中学生	一般
	日	h	人	人	人	人	件	件
4月	26	251.0	16	121	29	19	0	20
5月	27	310.0	26	160	63	24	1	29
6月	26	266.0	42	138	104	26	1	28
7月	28	230.0	337	608	765	37	5	30
8月	22	181.0	305	655	466	32	1	22
9月	16	184.0	20	104	48	14	0	14
10月	27	321.0	11	140	20	32	0	23
11月	26	240.0	9	122	10	32	0	28
12月	19	237.0	7	58	7	24	1	15
1月	20	190.0	1	81	9	15	0	18
2月	0	2.0	0	0	0	0	0	0
3月	21	133.0	13	91	25	23	0	15
3年度	258	2,545.0	787	2,278	1,546	278	9	242
2年度	256	2,423.0	574	2,054	717	319	5	216
増減	2	122.0	213	224	829	▲ 41	4	26

※参考：令和3年度 無料個人利用者数

施設名	利用者数	備考
岡谷市民総合体育館	2,878人	市内小中学生、幼児体育室等
岡谷市宮庭球場	1,332人	市内小中学生
岡谷市民水泳プール	1,546人	市内小中学生
岡谷市やまびこ国際スケートセンター	885人	市内中学生以下
岡谷市やまびこアイスアリーナ	680人	市内中学生以下
合計	7,321人	

姉妹都市

マウント・プレザント市（アメリカ合衆国ミシガン州）
富岡市（群馬県）
玉野市（岡山県）
東伊豆町（静岡県賀茂郡）

昭和40年6月提携
昭和47年10月提携
昭和55年10月提携
昭和60年3月提携

○市章

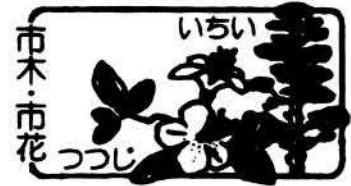


市章（昭和11年5月9日制定）

線の太さは直径の1/10、上下円弧は同形、中心水平の位置に線の太さの1/2の間隔を置く。上半円は岡、下半円は谷を表し、上下半円が協力円満な市の発展を表現しています。

○市木・市花

（昭和51年7月1日指定）



令和4年度 岡谷市教育要覧 （-2022-）

編集 岡谷市教育委員会
及び発行 岡谷市幸町8番1号
TEL(0266) 23-4811
FAX(0226) 24-2755

表紙
「友達との絆」
小井川小学校6年生
名取 鉄生さんの作品